

今後の文化振興施策の具体的な方向性を定めた「三重県文化振興計画（仮称）」に基づき、文化の力で心豊かに活力ある三重の実現に向け、施策を着実に推進していきます。県総合博物館（MieMu）や齋宮歴史博物館、県総合文化センターでは、開館周年記念にあわせて、子どもから大人まで楽しめる企画展や連携イベントを開催するとともに、県立美術館においては、子どもたちが著名な美術作品にふれる機会を創出するため、収蔵作品の充実を進めるなど、県民の皆さんが文化にふれ親しむ機会を提供します。また、齋宮を核とした文化観光の取組により、齋宮の賑わいを創出します。

1 県立文化施設を中核とした文化観光の取組

（新）文化観光推進事業 【82,000千円】

県立文化施設が三重の文化の拠点となり、多様で豊かな歴史・文化資産の価値を高めるとともに、訪れる人がより体感できる仕組みを県観光部や関係市町、DMO等と連携して構築します。

- ・齋宮を核とした文化観光：認知度向上、誘客推進、史跡公園内における周遊の仕組みの構築、新たな体験コンテンツの造成
- ・文化観光の横展開：新たな文化体験ルート（津と伊賀地域を結ぶルート）の構築



発掘調査体験



古代衣装体験



食文化体験

2 子どもたちの豊かな感性や創造性を育む取組

（一部新）文化交流機能強化事業 【13,149千円】

文化活動の次世代を担う子どもたちを主役として県立文化施設の周年事業に関連したイベントを実施するとともに、各文化施設間の連携イベントを一体的に情報発信します。

- ・ジュニア管弦楽団や児童合唱団等が共演する、子どもたちによる子どもたちのためのコンサートを開催



ジュニア管弦楽団

（一部新）三重県文化振興基金積立金 【30,012千円】

子どもたちが著名な美術作品にふれる機会を創出するため、収蔵品の充実に向けた基金の積立を実施します。

3 県立文化施設の開館周年記念の取組（展覧会の名称は仮称）

県総合博物館 開館10周年記念！

（一部新）総合博物館展示等事業
【63,002千円】

『パール 海の宝石、神秘の輝き』
『刀剣 三重の刀とその刀工』
『金曜ロードショーとジブリ展』
等の子どもから大人まで楽しめる企画展を開催します。



「金曜ロードショーとジブリ展」
©Studio Ghibli

県立美術館

（一部新）美術館展示等事業
【62,519千円】

『シュルレアリスムと日本』『果てなきスペイン美術一拓かれる表現の地平』等の展示を行うとともに、開館周年を迎える文化施設との連携イベントを開催します。



カレーニョ
『聖アンナ、聖ヨアキム、洗礼者ヨハネのいる聖母子』
（長崎県美術館蔵）

齋宮歴史博物館 開館35周年記念！

（一部新）齋宮歴史博物館展示・普及事業
【12,232千円】

『源氏物語と齋宮一王朝のきらめき 光る君の栄華一』
『齋宮・常設展示室「齋王の食事」』『中世の齋宮とその時代背景』等の齋宮の魅力伝える展示を行います。



源氏物語図屏風

県総合文化センター 開館30周年記念！

（一部新）文化会館事業
【68,926千円】

県民参加型のオペラ『カルメン』『佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団』など、多彩で魅力的な文化芸術公演を開催します。



佐渡裕さん
©Takashi Iijima

生涯学習センター費
【9,701千円】

スピードスケート金メダリスト小平奈緒さんにお話いただくなど、学びにつながる事業を展開していきます。



小平奈緒さん

（一部新）図書館管理運営費
【199,497千円】

図書資料の充実を図るとともに、県総合文化センター等の開館周年にあわせ、記念事業等を開催します。

今後の文化行政のあり方に関する 県民意識調査報告書

令和6年1月
三重県

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の内容	1
3.	調査の設計	1
4.	回収の状況	2
5.	報告書の見方	2
II	調査結果	3
(1)	回答者の属性について	3
(2)	文化についての意識や活動について	5
(3)	文化的環境について	32
(4)	県立の文化施設について	43
(5)	三重県の文化について	51
(6)	文化・芸術に関する情報の入手について	57
(7)	今後の県の文化行政のあり方について	68
(8)	その他	83
III	調査票	86

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、今後の文化行政を進めていくうえでの基礎資料とするため、県民の皆さんの文化についての意識や活動等について把握することを目的とする。

2. 調査の内容

- (1) 回答者の属性について
年齢、職業、居住地域
- (2) 文化についての意識や活動について
- (3) 文化的環境について
- (4) 県立の文化施設について
- (5) 三重県の文化について
- (6) 文化・芸術に関する情報の入手について
- (7) 今後の県の文化行政のあり方について
- (8) その他

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：三重県内全域
- (2) 調査対象：三重県在住の満 18 歳以上の個人
- (3) 標本数：5,000 人
- (4) 抽出方法：選挙人名簿から無作為抽出法により抽出
- (5) 調査方法：郵送方式および Web 回答方式
- (6) 調査時期：令和 5 年 10 月 13 日（金）～10 月 27 日（金）

4. 回収の状況

調査手法	配布数	不到着	実質配布数	回収数(内訳)	回収数(全件) (率)
郵送	5,000人	37件	4,963件	1,795件	2,427件 (48.9%)
Web				632件	

【地域別配布・回収結果】

地区名	配布数	不到着	実質配布数	回収数	回収率
北勢地域	2,332	19	2,313	1,109	47.9%
中南勢地域	1,345	11	1,334	709	53.1%
伊賀地域	461	3	458	224	48.9%
伊勢志摩地域	668	4	664	289	43.5%
東紀州地域	194	0	194	90	46.4%
不明	—	0	0	6	—
合計	5,000	37	4,963	2,427	48.9%

※北勢地域（桑名市、いなべ市、四日市市、鈴鹿市、亀山市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町）
 中南勢地域（津市、松阪市、多気町、明和町、大台町）
 伊賀地域（伊賀市、名張市）
 伊勢志摩地域（伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町）
 東紀州地域（尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町）

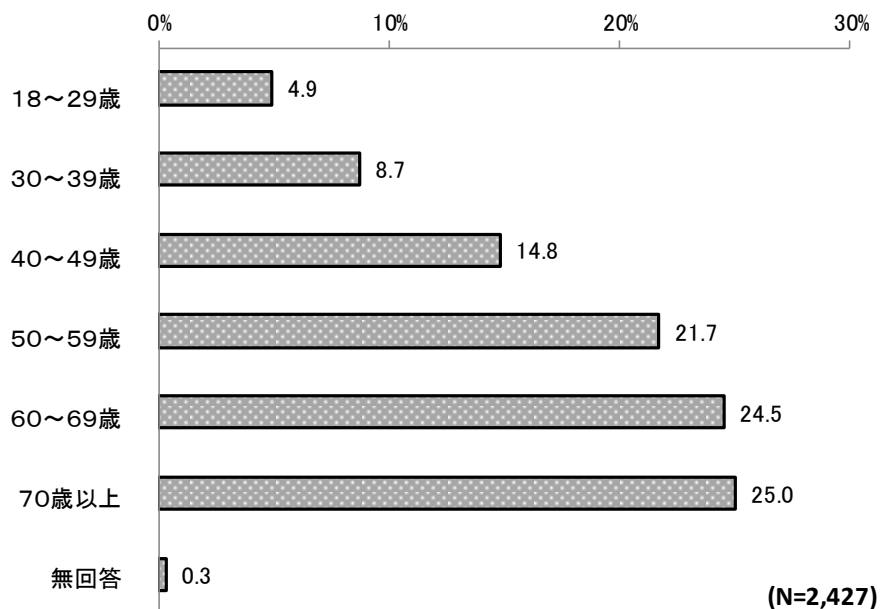
5. 報告書の見方

- ① 集計結果は、小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがある。複数回答を求めた設問は、回答者に対する割合を示しているため、合計値は100%を超える。
- ② 文中に示す「N」は、各設問の回答者数である。
- ③ 本文中の結果は百分率（%）で表しているが、比較などの場合はポイントという表現を用いている。

Ⅱ 調査結果

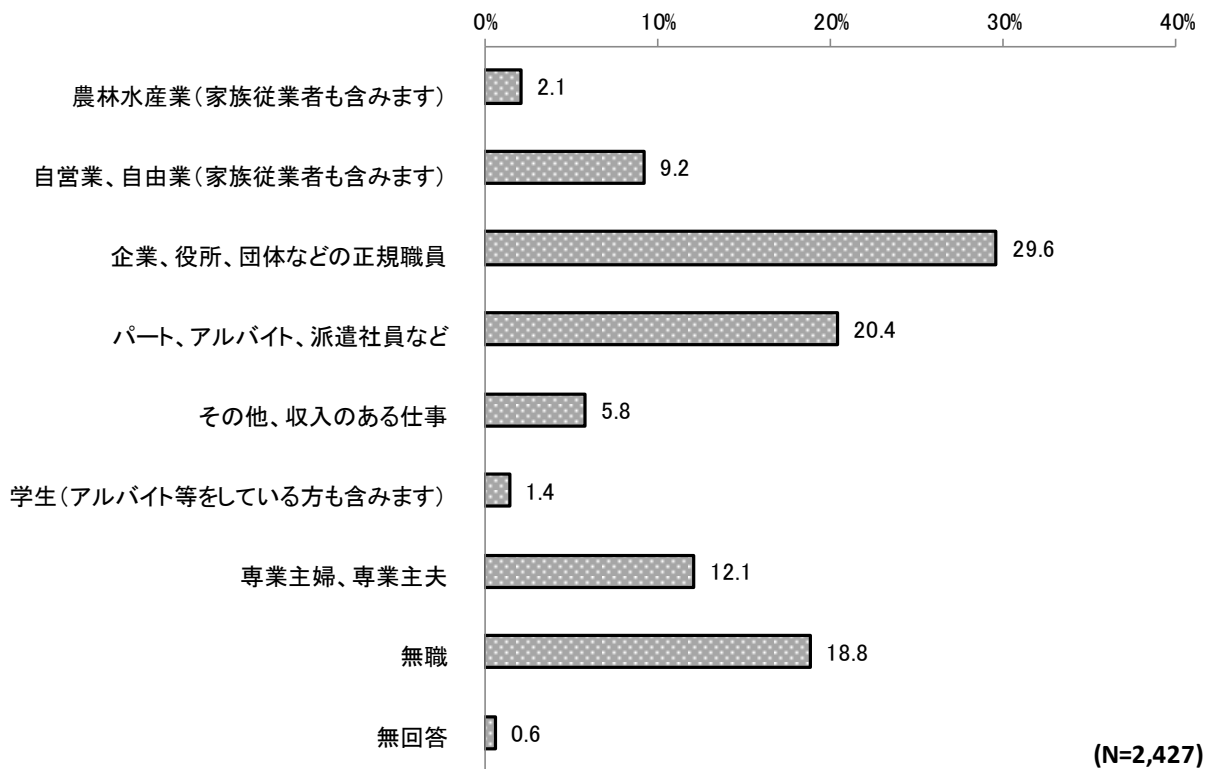
(1) 回答者の属性について

問1 あなたの満年齢は次のうちどれですか。(○は1つ)



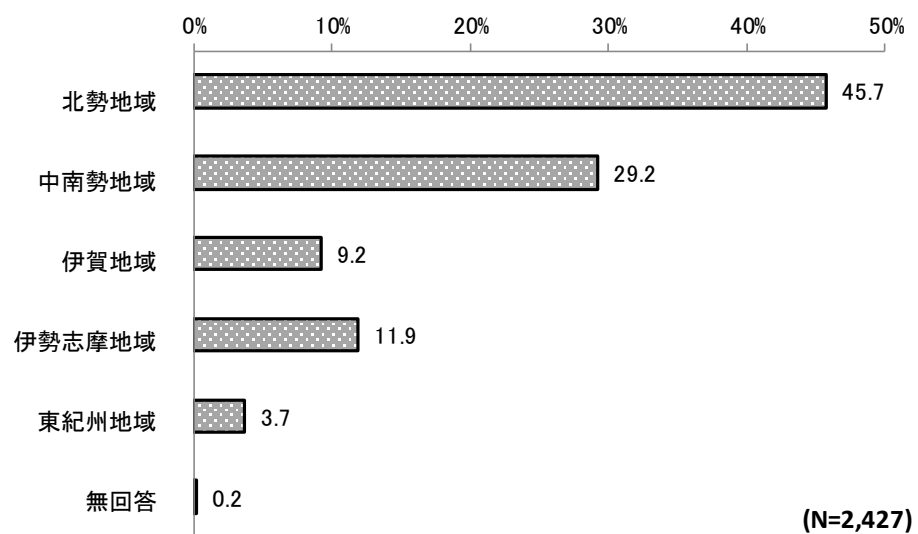
回答者の年齢は、「70歳以上」が25.0%と最も多く、次いで「60～69歳」が24.5%、「50～59歳」が21.7%となっている。

問2 あなたの主なご職業は次のうちどれですか。(〇は1つ)



回答者の職業は、「企業、役所、団体などの正規職員」が29.6%と最も多く、次いで「パート、アルバイト、派遣社員など」が20.4%、「無職」が18.8%となっている。

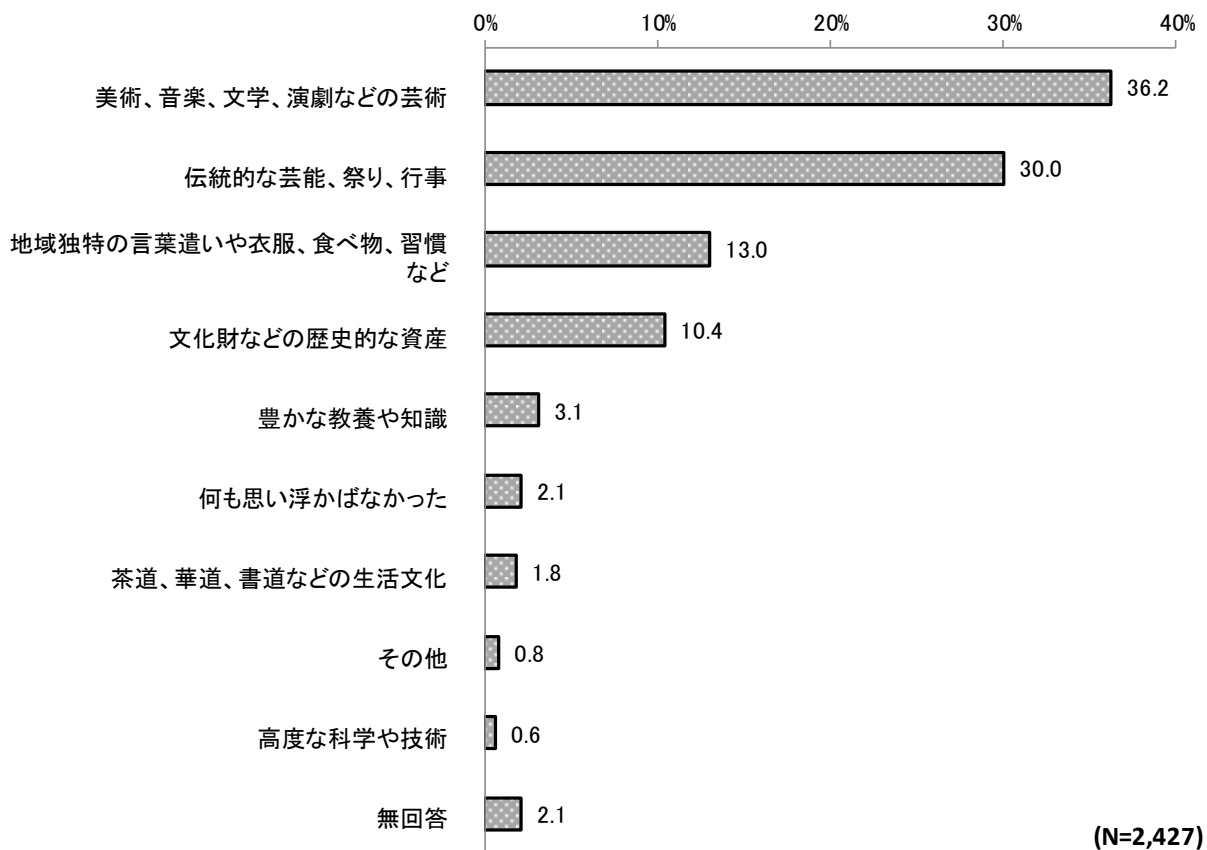
問3 あなたが住んでいる地域は次のうちのどの地域ですか。(〇は1つ)



回答者の居住地は、「北勢地域」が45.7%と最も多く、次いで「中南勢地域」が29.2%、「伊勢志摩地域」が11.9%となっている。

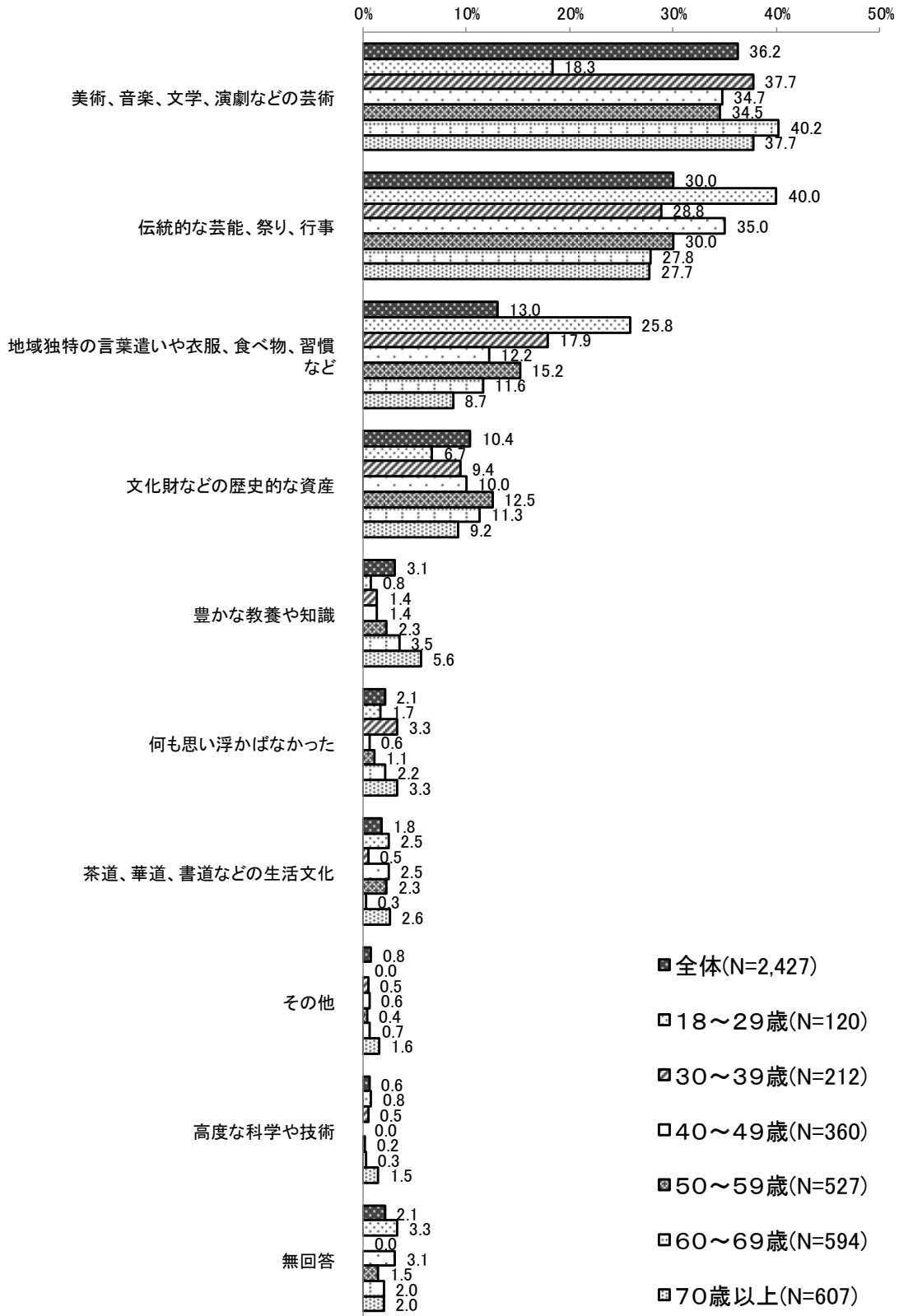
(2) 文化についての意識や活動について

問4 あなたは、「文化」という言葉を聞いて、まず、何を思い浮かべますか。次のうち、思い浮かべたものに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)



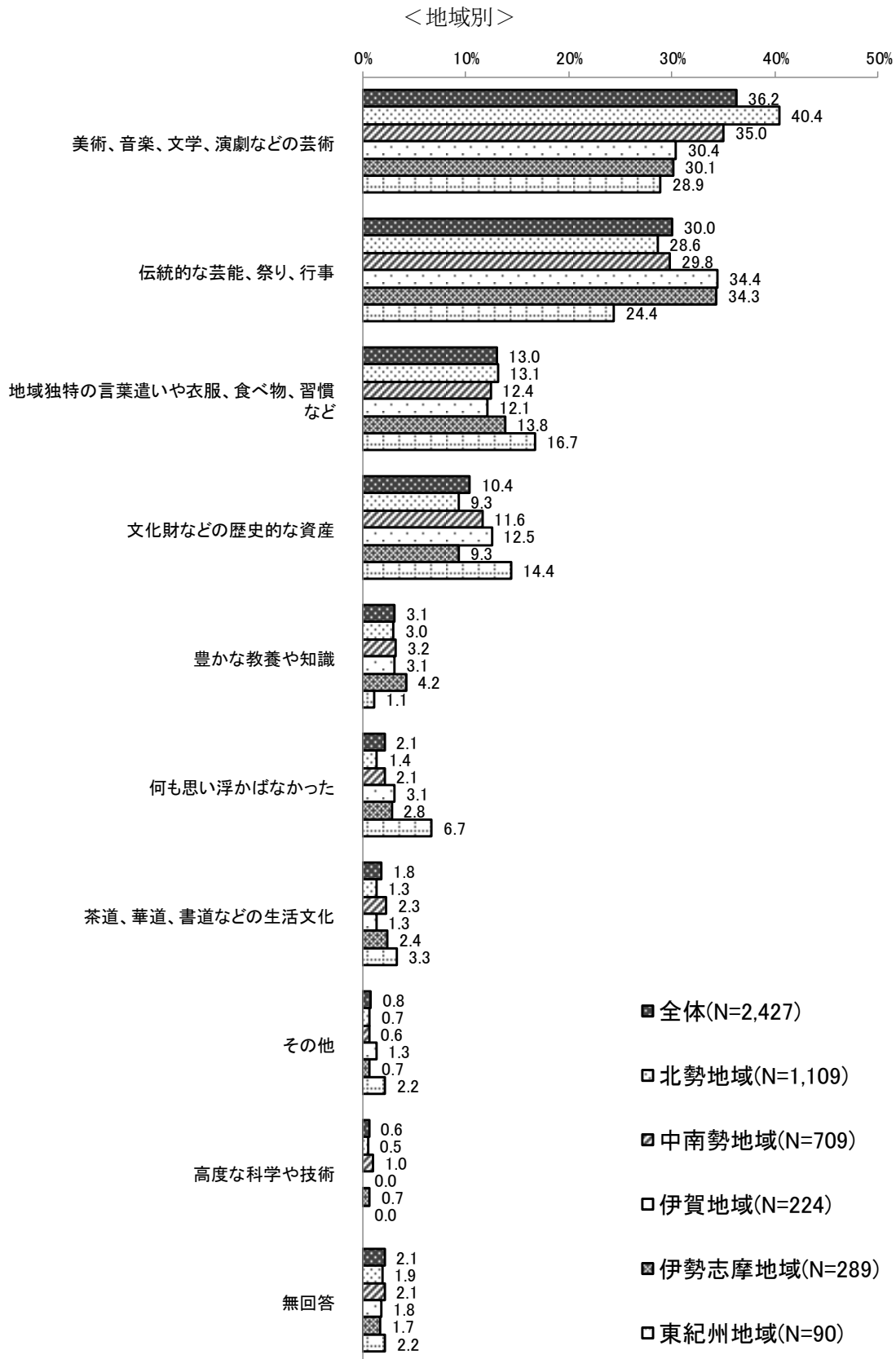
「文化」という言葉を聞いて何を思い浮かべるかでは、「美術、音楽、文学、演劇などの芸術」が36.2%と最も多く、次いで「伝統的な芸能、祭り、行事」が30.0%、「地域独特の言葉遣いや衣服、食べ物、習慣など」が13.0%となっている。一方、「何も思い浮かばなかった」は2.1%と少数となっている。

<年齢別>



年齢別にみると、18~29歳および40~49歳では、「伝統的な芸能、祭り、行事」が最も多く、その他の年代では「美術、音楽、文学、演劇などの芸術」が最も多くなっている。

また、「地域独特の言葉遣いや衣服、食べ物、習慣など」は18~29歳で2割を超えている。



地域別にみると、北勢地域、中南勢地域および東紀州地域では、「美術、音楽、文学、演劇などの芸術」が最も多く、北勢地域では4割台、東紀州地域では2割台と地域によって差が見られる。また、伊賀地域および伊勢志摩地域では「伝統的な芸能、祭り、行事」が最も多くなっている。

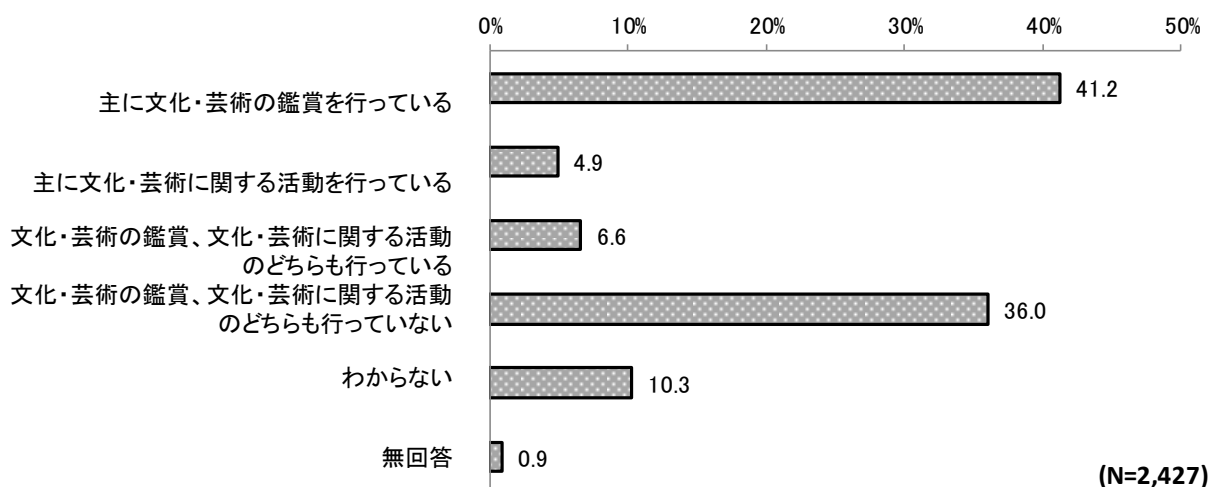
問5～問12では文化・芸術（芸術、生活文化、伝統的な芸能、祭り、文化財等）について、「文化・芸術の鑑賞」と「文化・芸術に関する活動」の2つに分類して質問します。

この意識調査では、2つの意味を以下のとおりとします。

「文化・芸術の鑑賞」・・・文化・芸術作品などを観たり聴いたりして、その良さを味わうこと。

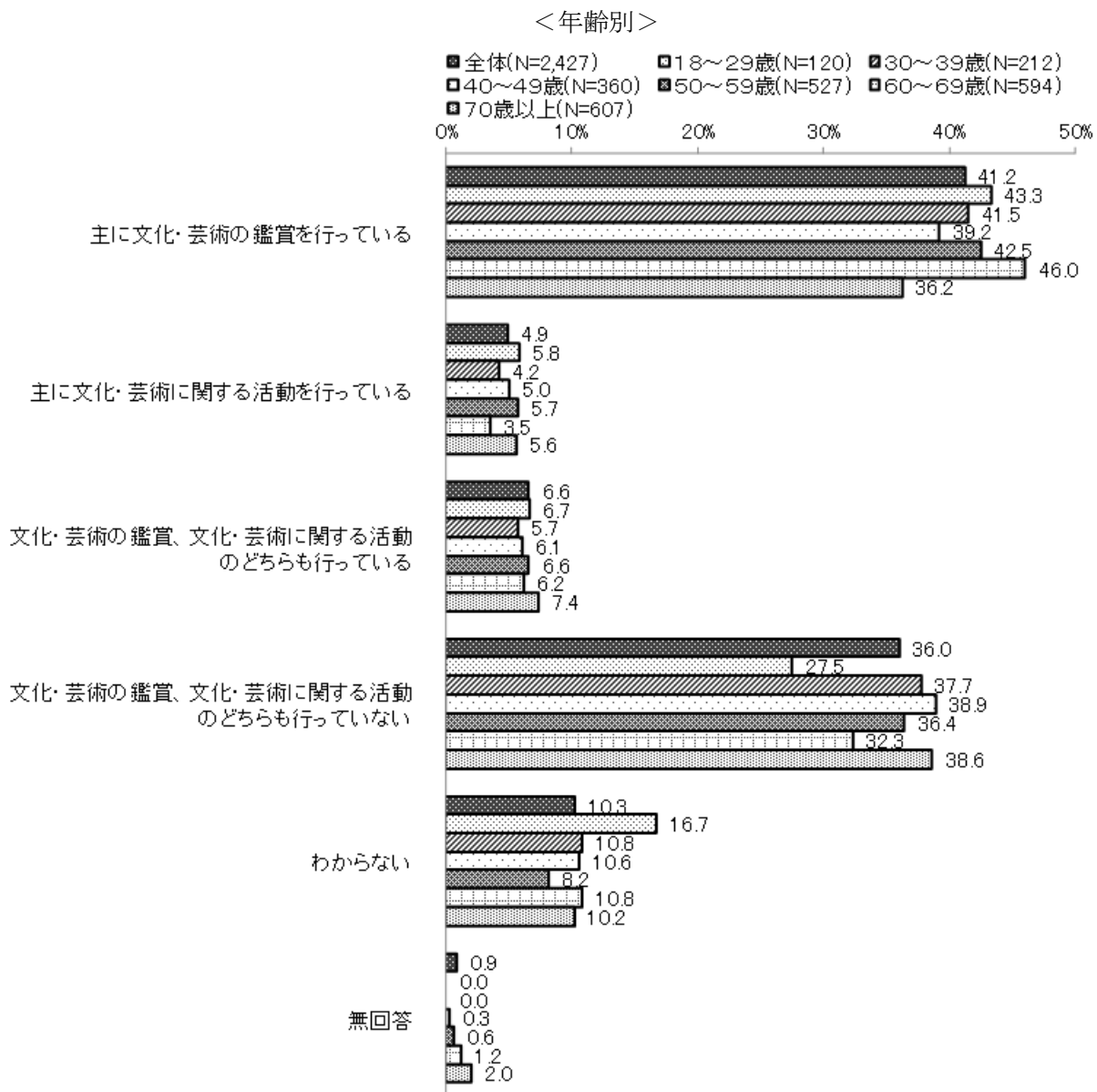
「文化・芸術に関する活動」・・・文化・芸術などに関して、主体的に創作、体験、発表、学習などの活動を行うこと。（ボランティアとして活動することも含みます。）

問5 あなたが日常生活で文化・芸術にふれ親しむ方法として、最も近いものは次のうちどれですか。（〇は1つ）



日常生活で文化・芸術にふれ親しむ方法では、「主に文化・芸術の鑑賞を行っている」が41.2%と最も多く、次いで「鑑賞、活動のどちらも行っていない」が36.0%、「わからない」が10.3%となっている。

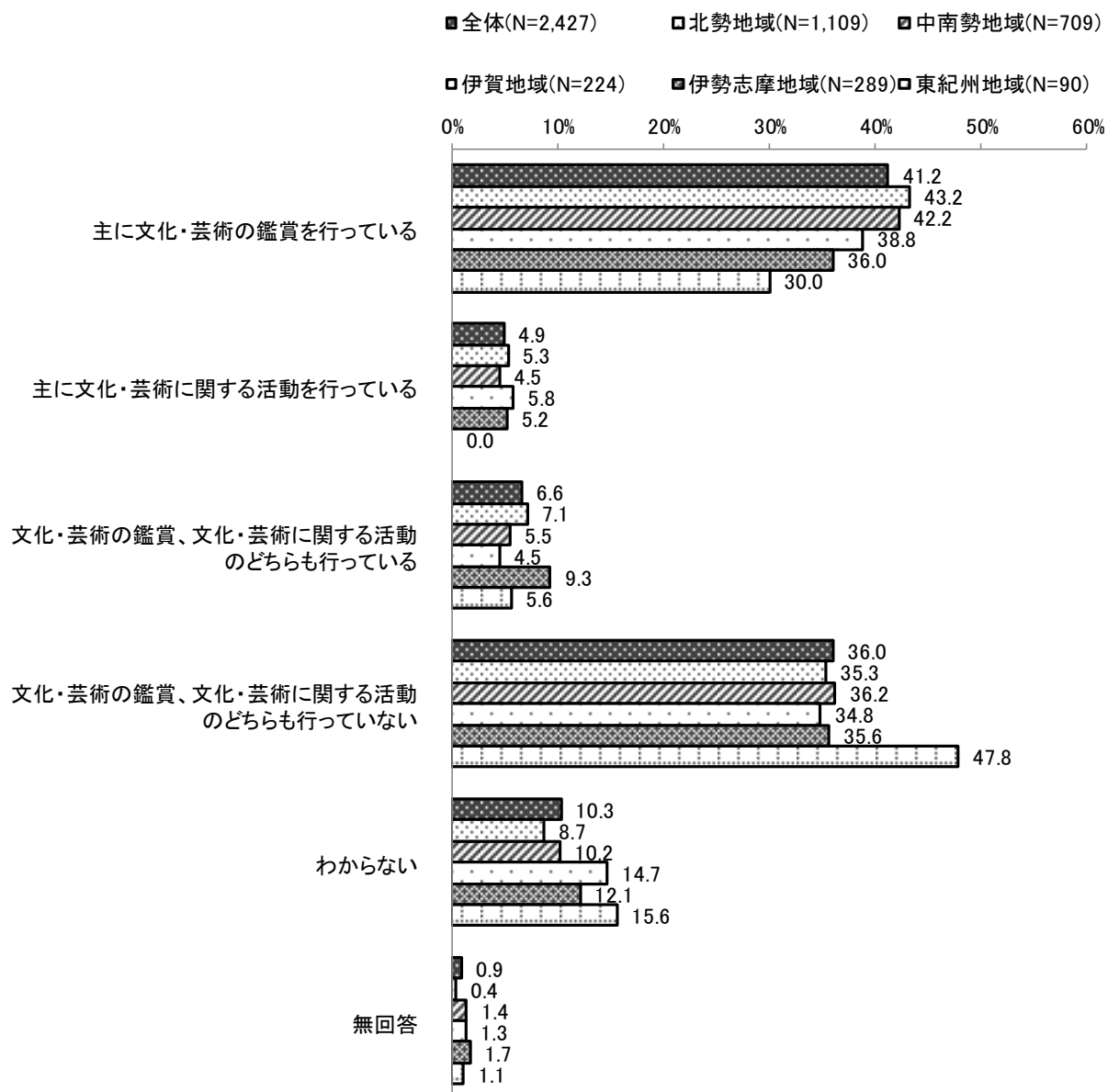
「主に文化・芸術の鑑賞を行っている」と「鑑賞、活動のどちらも行っている」を合わせた『鑑賞』している割合は47.8%、「主に文化・芸術に関する活動を行っている」と「鑑賞、活動のどちらも行っている」を合わせた『活動』している割合は11.5%となっている。



年齢別にみると、『鑑賞』している割合は、60~69歳が52.2%と最も多く唯一5割を超えている。また、『活動』している割合は70歳以上が13.0%と最も多くなっている。

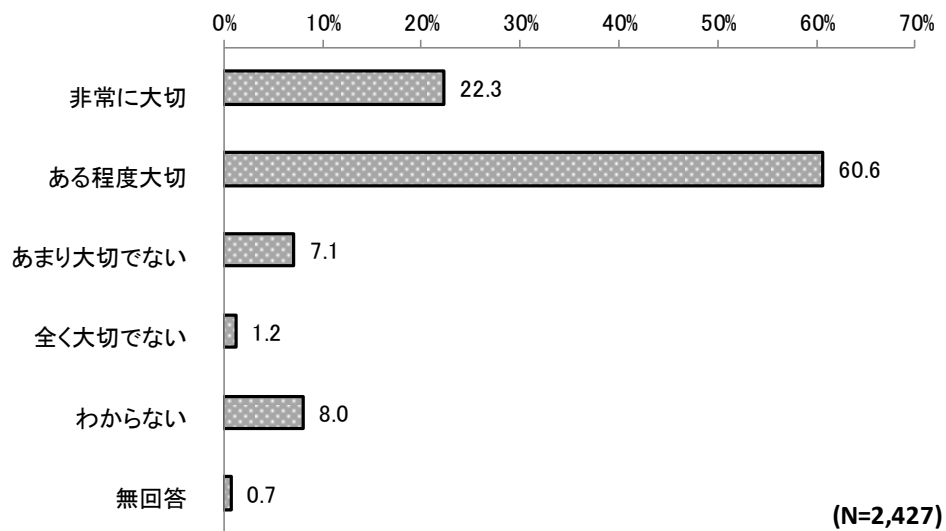
また、「文化・芸術の鑑賞、文化・芸術に関する活動のどちらも行っていない」は18~29歳を除く全ての年代で3割を超えている。

<地域別>



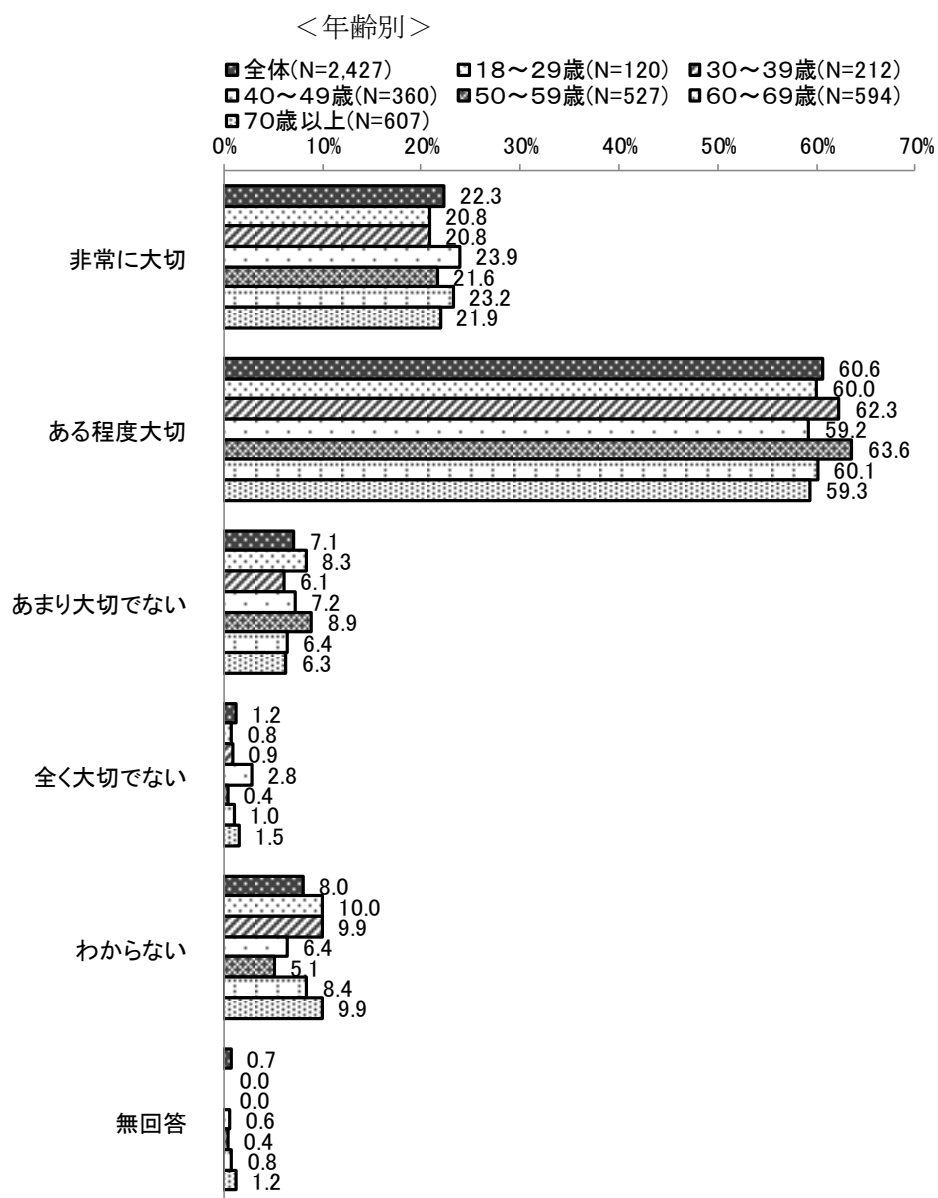
地域別にみると、『鑑賞』している割合は、北勢地域が50.3%と最も多く唯一5割を超えている。また、『活動』している割合は伊勢志摩地域が14.5%と最も多くなっている。一方、東紀州地域では「鑑賞、活動のどちらも行っていない」が47.8%と他の地域に比べ多くなっている。

問6 あなたは、日常生活の中で、文化・芸術を鑑賞したり、文化・芸術に関する活動を行ったりすることについて、どのように思いますか。(○は1つ)



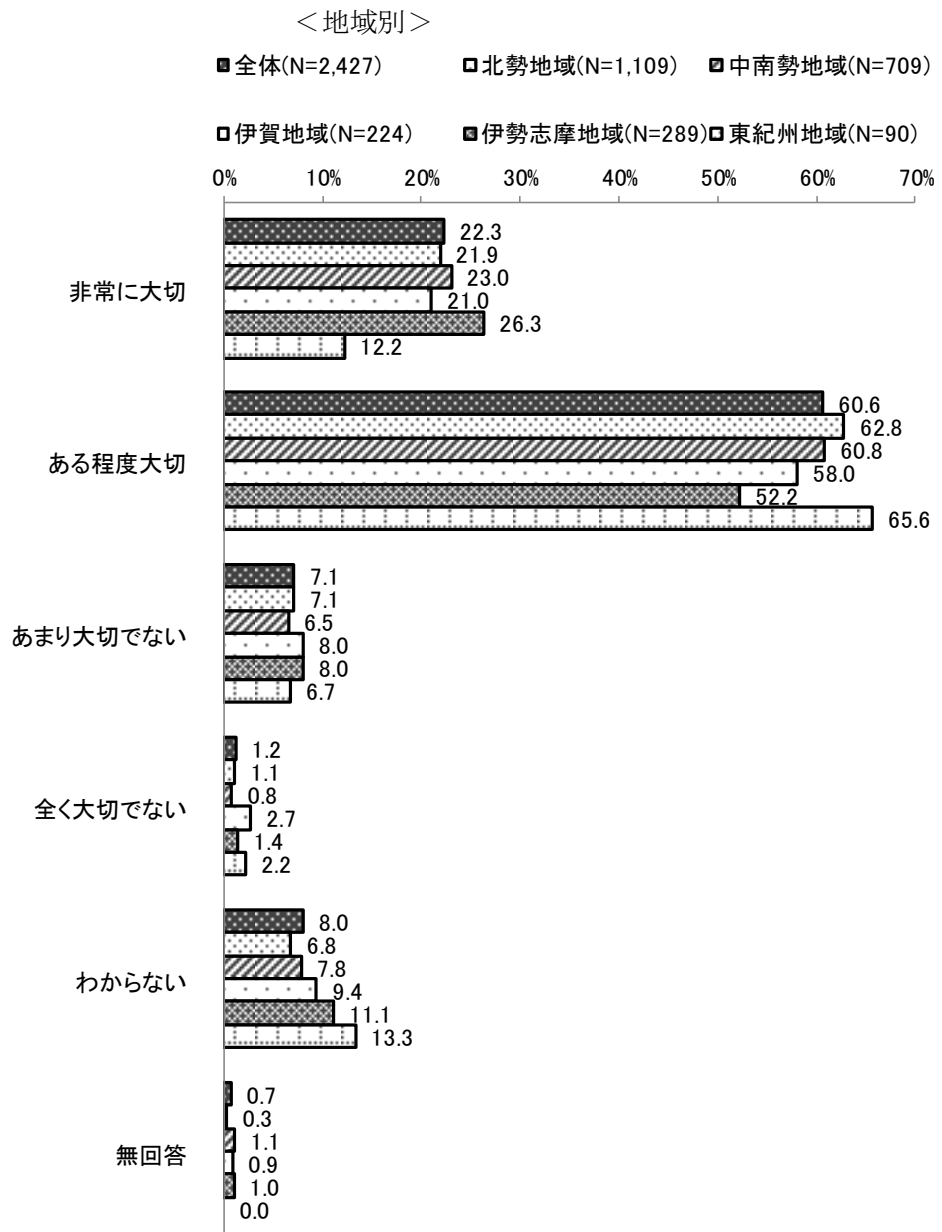
日常生活の中で文化・芸術を鑑賞、活動を行うことについてどう思うかでは、「ある程度大切」が60.6%と最も多く、次いで「非常に大切」が22.3%、「わからない」が8.0%となっている。

また、「非常に大切」と「ある程度大切」を合わせた『大切』に思う割合は82.9%となっている。



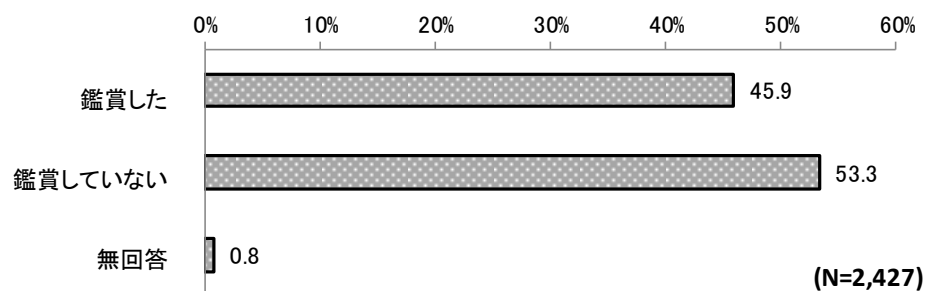
年齢別にみると、全ての年代で「ある程度大切」が最も多く 5 割を超えている。

また、「あまり大切でない」と「全く大切でない」を合わせた『大切でない』と思う割合は全ての年代で 1 割以下となっている。

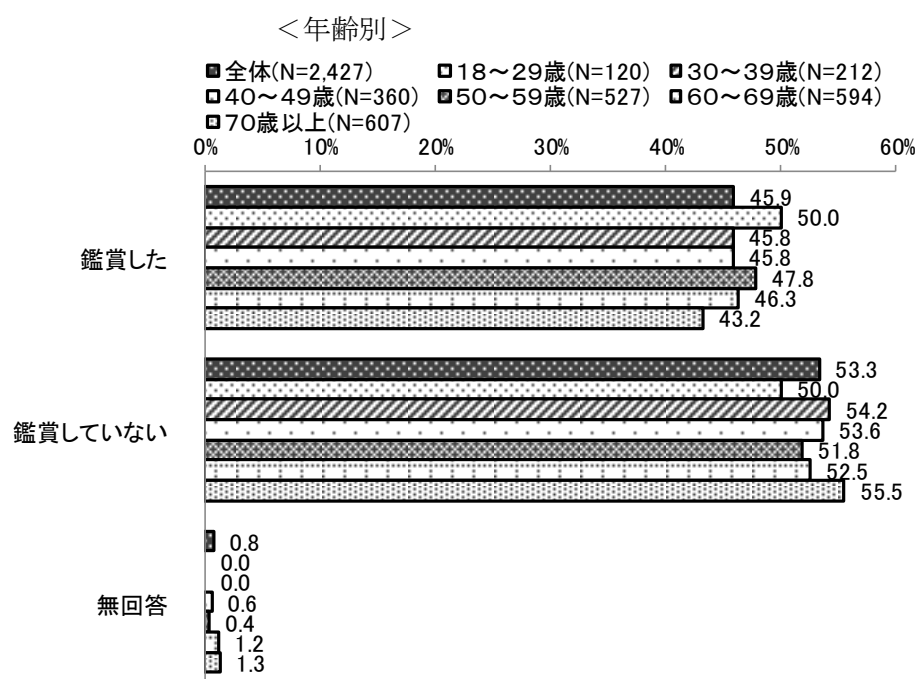


地域別にみると、全ての地域で「ある程度大切」が最も多く5割を超えている。
 また、東紀州地域では「非常に大切」が12.2%と他の地域に比べ少なくなっている。

問7 昨年1年間にホールや劇場、美術館や博物館などで、直接鑑賞された文化・芸術はありますか。
(〇は1つ)

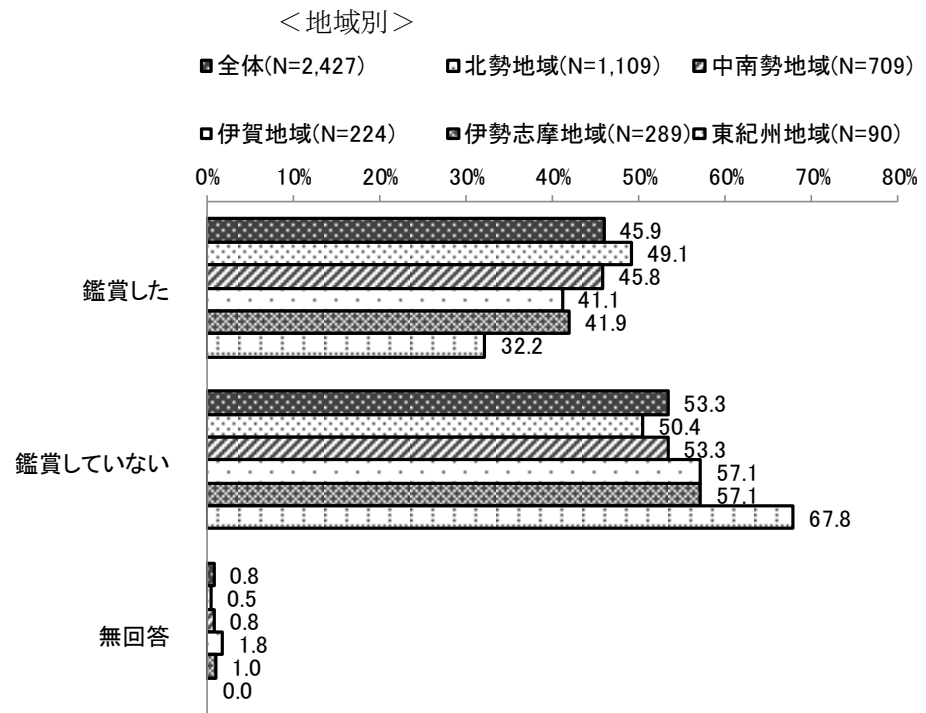


昨年1年間にホールや劇場、美術館や博物館などで、直接鑑賞された文化・芸術はあるかでは、「鑑賞した」が45.9%、「鑑賞していない」が53.3%となり、「鑑賞していない」が上回った。



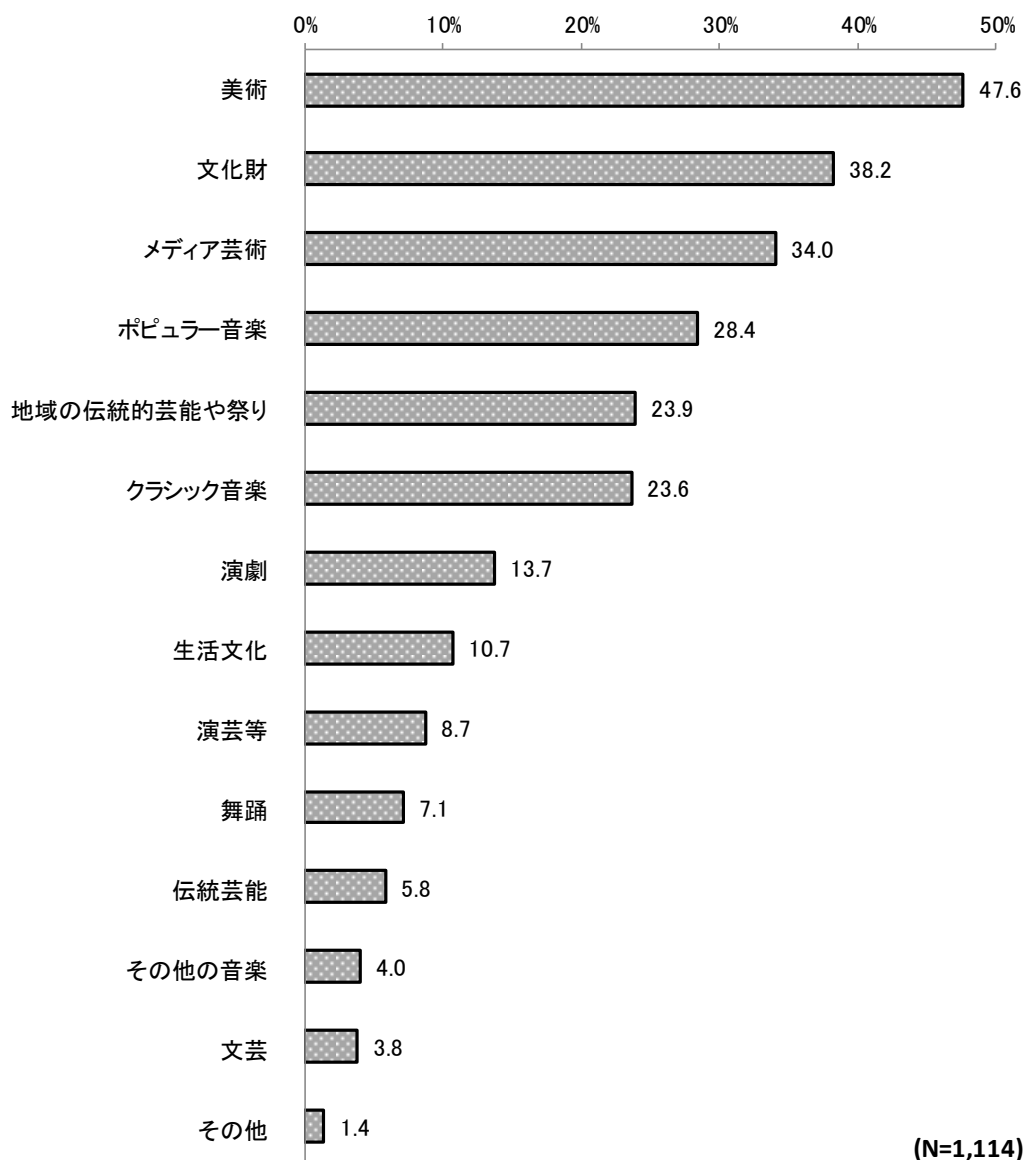
年齢別にみると、「鑑賞した」は18~29歳が50.0%と最も多く、「鑑賞していない」は70歳以上が55.5%と最も多くなっている。

18~29歳を除く全ての年代で「鑑賞していない」が5割を超えている。また、18~29歳では「鑑賞した」および「鑑賞していない」が同率となっている。



地域別にみると、「鑑賞した」は北勢地域が49.1%と最も多くなっている。一方、「鑑賞していない」は全ての地域で5割を超えており、東紀州地域が67.8%と最も多くなっている。

問8 問7で「1. 鑑賞した」と回答された方に伺います。直接鑑賞された文化・芸術の種類は何ですか。
 (〇はいくつでも)



※各項目の詳細は下記に記す。

美術（絵画、版画、彫刻、写真 など）、文化財（建造物、遺跡 など）、メディア芸術（映画、アニメ、コンピューターグラフィック など）、ポピュラー音楽（ロック、ポップス、ジャズ など）、クラシック音楽（オーケストラ、合唱、吹奏楽 など）、演劇（ミュージカル、人形劇 など）、生活文化（茶道、華道、書道 など）、演芸等（落語、漫才、講談 など）、舞踊（バレエ、ダンス、日本舞踊 など）、伝統芸能（歌舞伎、能、狂言 など）、その他の音楽（長唄、箏曲など日本の伝統音楽、外国の民謡音楽 など）、文芸（短歌、俳句、詩 など）

直接鑑賞された文化・芸術の種類では、「美術」が47.6%と最も多く、次いで「文化財」が38.2%、「メディア芸術」が34.0%となっている。

(単位:%)

<年齢別>	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18～29歳 (N=60)	美術/ポピュラー音楽 41.7		メディア芸術 40.0	文化財 31.7	演劇 23.3
30～39歳 (N=97)	メディア芸術 46.4	文化財 39.2	美術 37.1	クラシック音楽 22.7	演劇/地域の伝統的 芸能や祭り 20.6
40～49歳 (N=165)	美術 48.5	文化財 39.4	メディア芸術 37.0	ポピュラー音楽 29.7	地域の伝統的 芸能や祭り 26.7
50～59歳 (N=252)	美術 48.4	文化財 42.5	メディア芸術 37.7	ポピュラー音楽 35.7	地域の伝統的 芸能や祭り 23.4
60～69歳 (N=275)	美術 47.6	文化財 39.3	メディア芸術 36.0	ポピュラー音楽 32.0	地域の伝統的 芸能や祭り 23.6
70歳以上 (N=262)	美術 51.1	クラシック音楽 32.4	文化財 32.4	地域の伝統的 芸能や祭り 24.8	メディア芸術 20.6

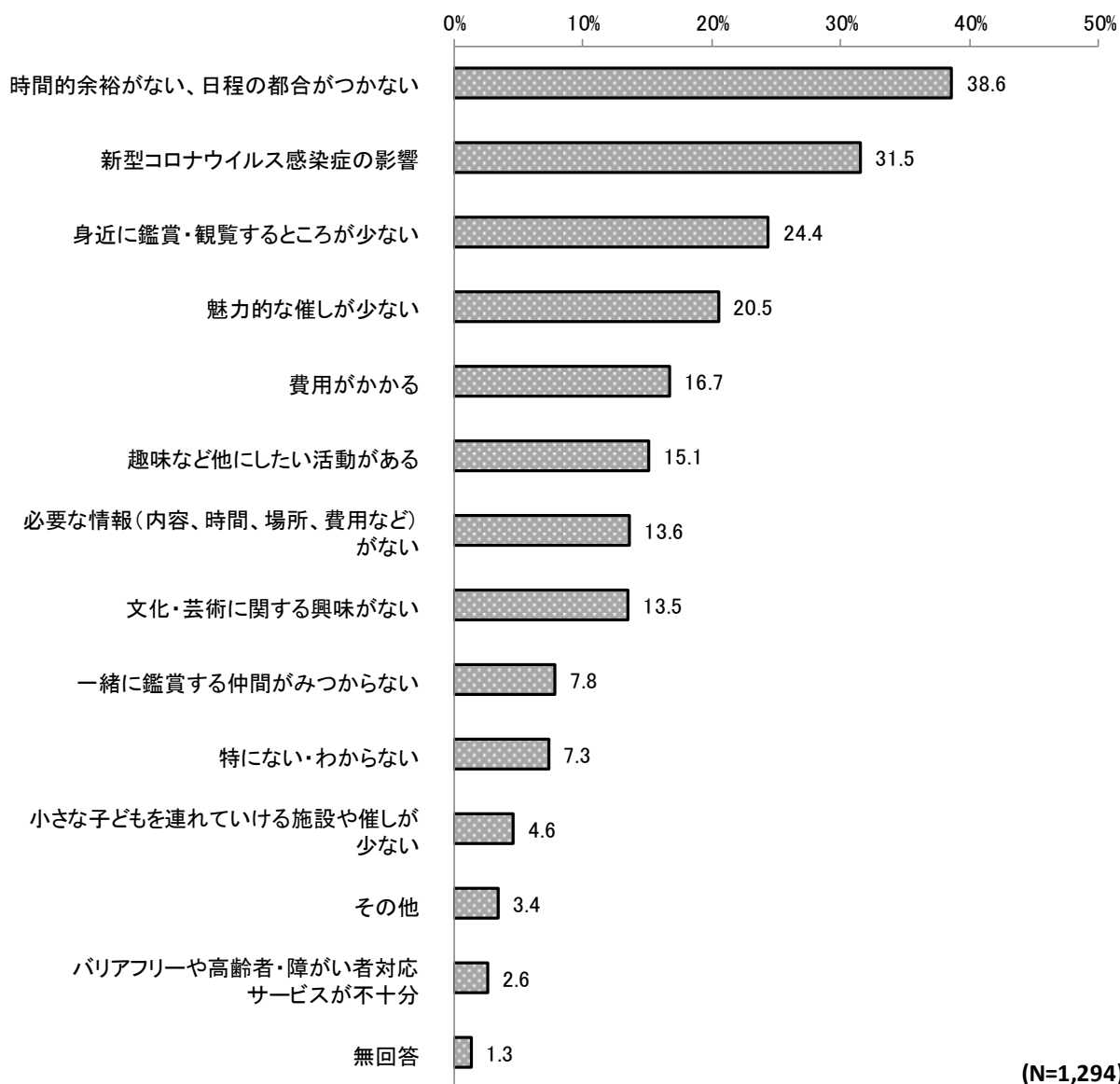
上位5項目を年齢別にみると、40歳以上の年代では「美術」が最も多くなっているが、18～29歳では「美術」および「ポピュラー音楽」、30～39歳では「メディア芸術」が最も多くなっている。また、70歳以上では「クラシック音楽」が第2位と続いている。

(単位:%)

<地域別>	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
北勢地域 (N=544)	美術 47.4	文化財 38.4	メディア芸術 35.3	ポピュラー音楽 28.5	クラシック音楽 23.0
中南勢地域 (N=325)	美術 48.9	文化財 36.0	メディア芸術 32.6	ポピュラー音楽 29.2	クラシック音楽 26.2
伊賀地域 (N=92)	美術 47.8	文化財 41.3	メディア芸術 32.6	地域の伝統的 芸能や祭り 28.3	クラシック音楽 26.1
伊勢志摩地域 (N=121)	美術 43.0	文化財 42.1	メディア芸術 36.4	ポピュラー音楽/地域の伝統的 芸能や祭り 29.8	
東紀州地域 (N=29)	美術 51.7	地域の伝統的 芸能や祭り 34.5	ポピュラー音楽 31.0	生活文化 27.6	文化財 24.1

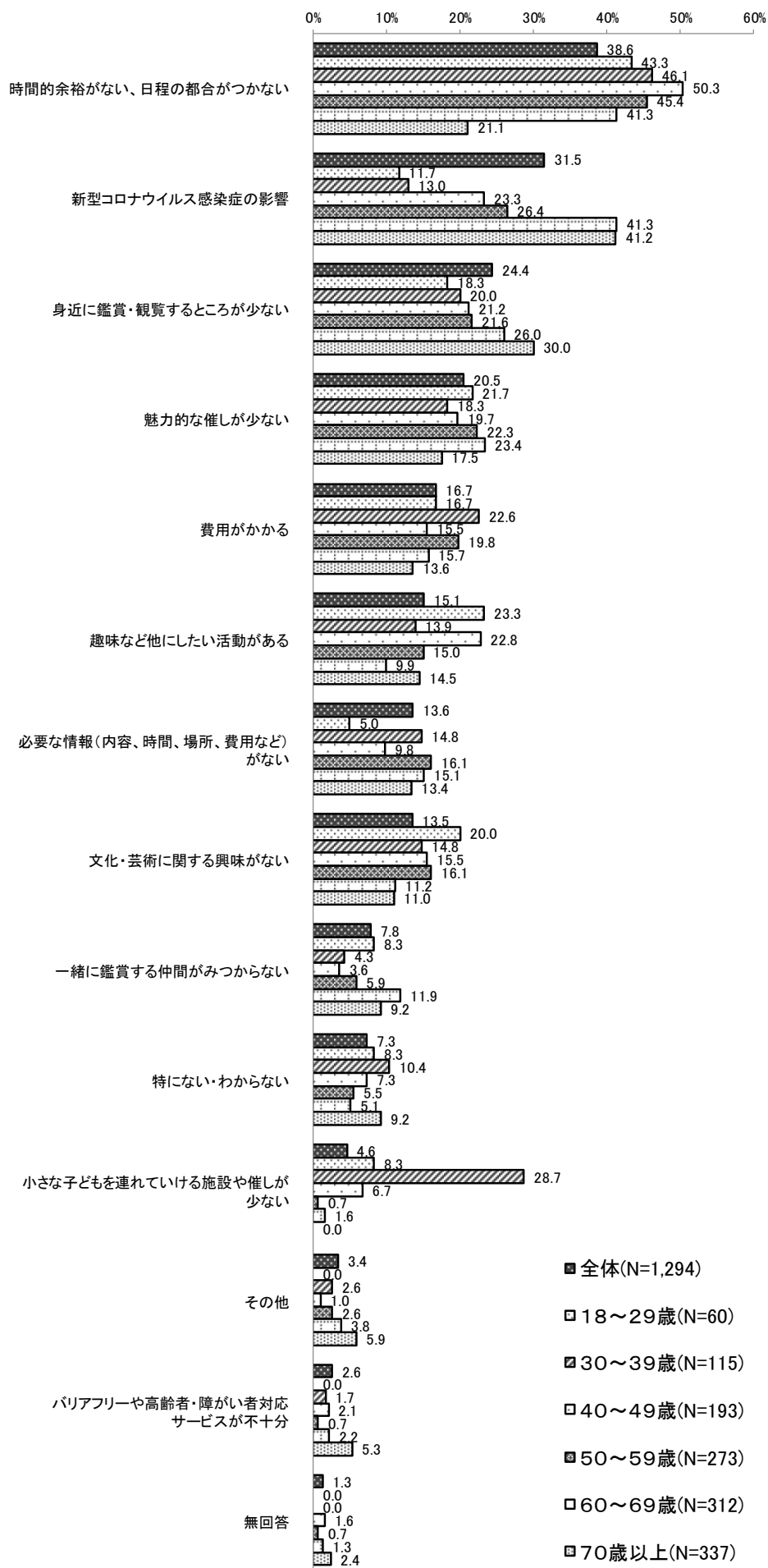
上位5項目を地域別にみると、全ての地域で「美術」が最も多く、次いで東紀州地域を除く全ての地域で「文化財」が第2位となっている。一方、東紀州地域では「地域の伝統的芸能や祭り」が第2位となっている。

問9 問7で「2. 鑑賞していない」と回答された方に伺います。その主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



直接文化・芸術を鑑賞していない主な理由では、「時間的余裕がない、日程の都合がつかない」が38.6%と最も多く、次いで「新型コロナウイルス感染症の影響」が31.5%、「身近に鑑賞・観覧するところが少ない」が24.4%となっている。

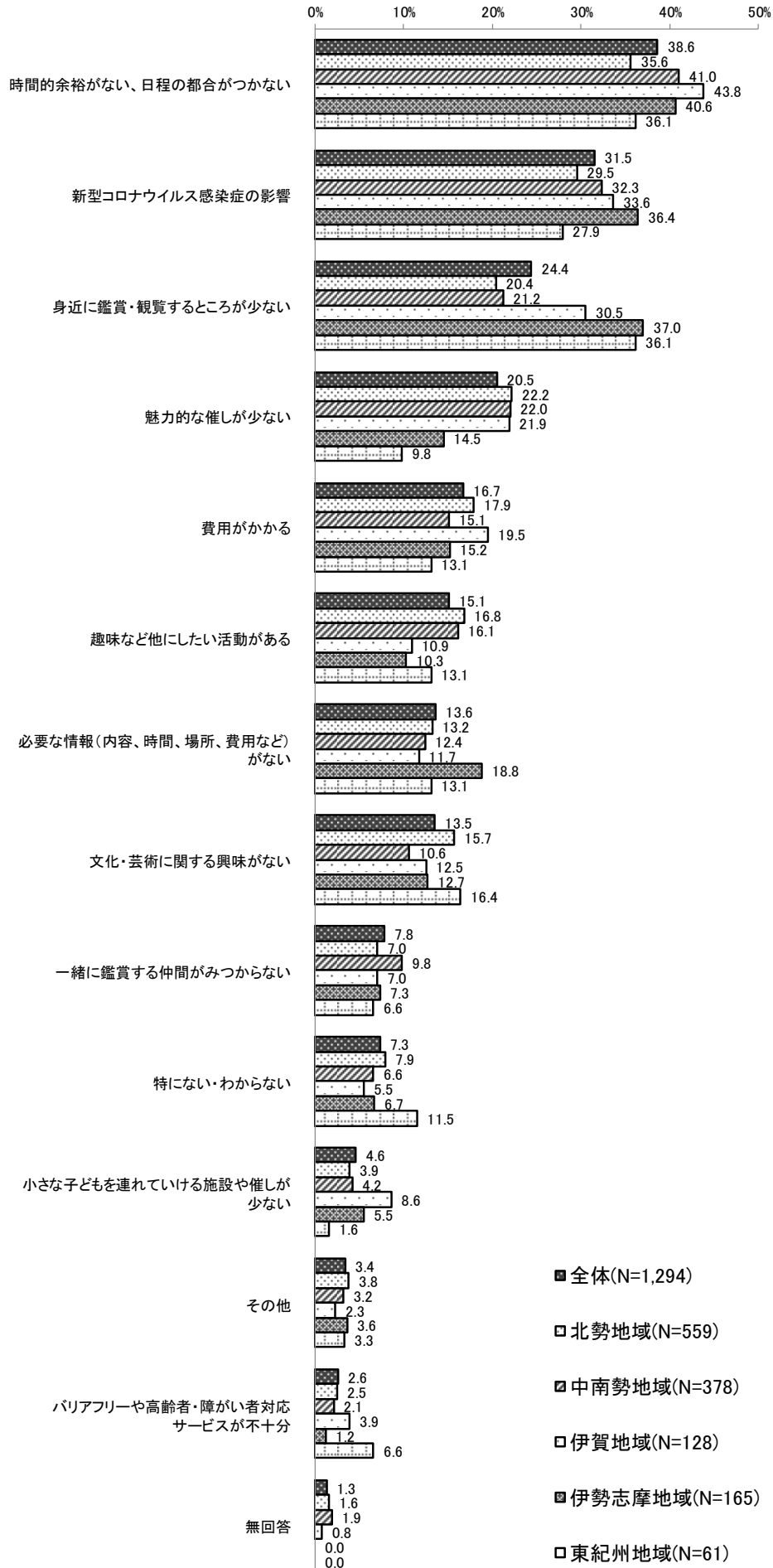
<年齢別>



年齢別にみると、69歳以下では「時間的余裕がない、日程の都合がつかない」が最も多くなっている。また、60～69歳では「新型コロナウイルスの影響」も同率で最も多くなっている。一方、70歳以上では「新型コロナウイルスの影響」が最も多くなっている。

30～39歳では、「小さな子どもを連れていける施設や催しが少ない」が28.7%と他の年代に比べ20ポイント以上多くなっている。

<地域別>

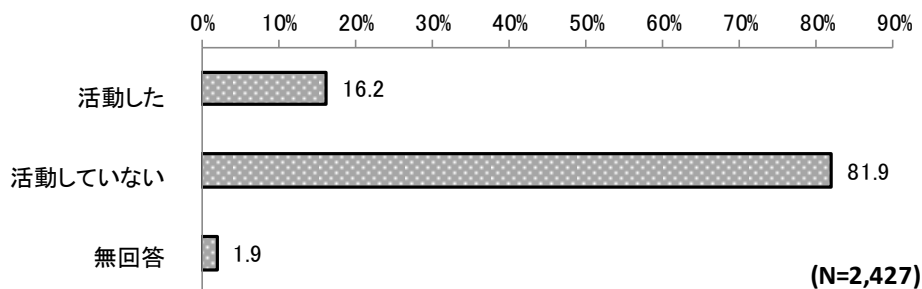


地域別にみると、全ての地域で「時間的余裕がない、日程の都合がつかない」が最も多くなっている。
また、東紀州地域では「身近に鑑賞・観覧するところが少ない」も同率で最も多くなっている。

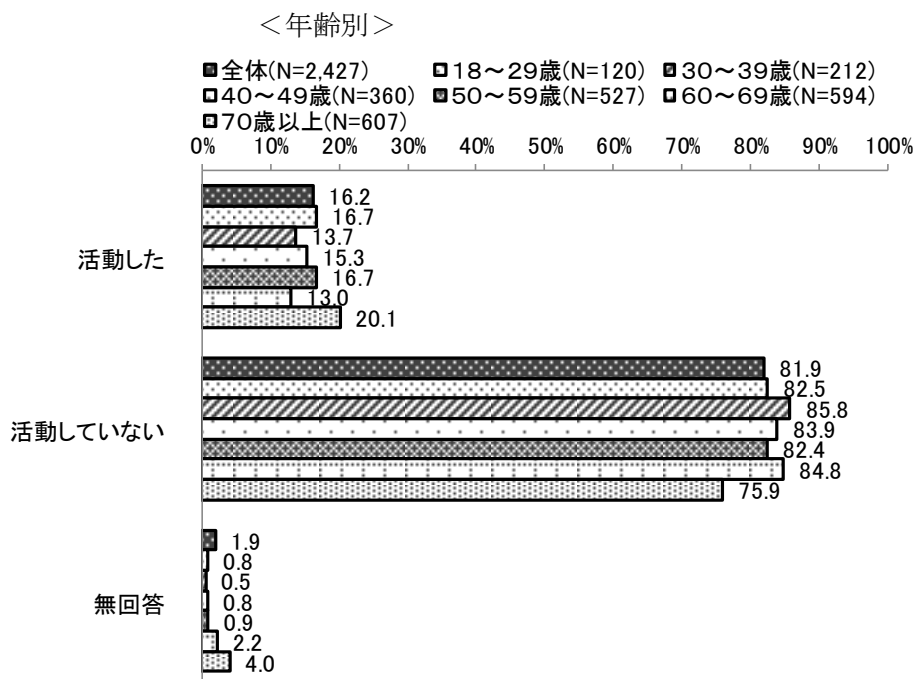
「身近に鑑賞・観覧するところが少ない」は、伊賀地域、伊勢志摩地域および東紀州地域で3割を超えている。

問10 昨年1年間に文化・芸術に関する活動を行いましたか。(○は1つ)

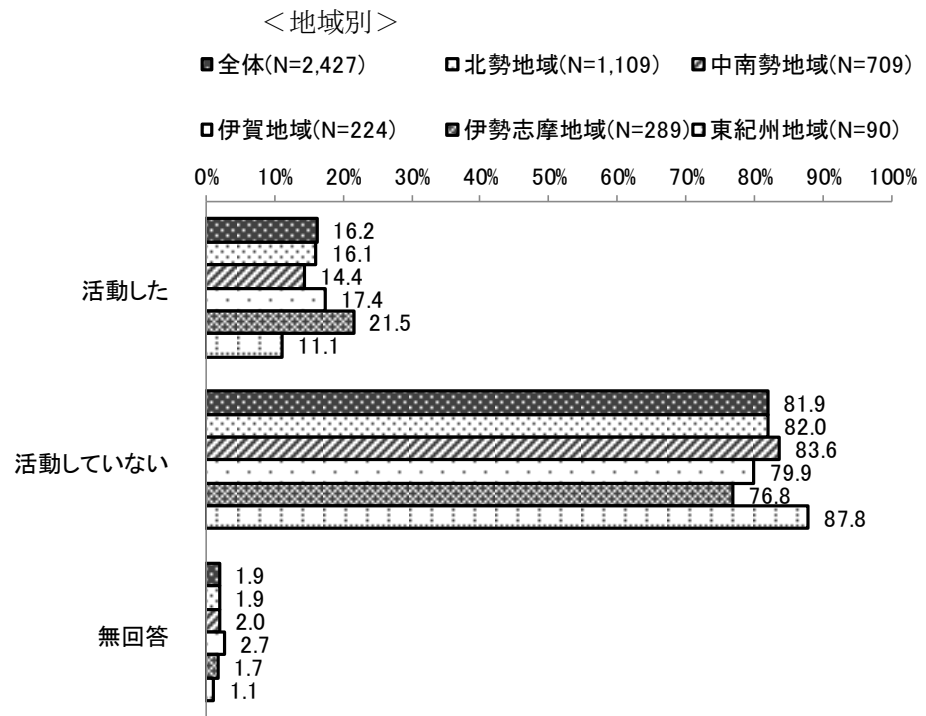
※「文化・芸術に関する活動」・・・文化・芸術などに関して、主体的に創作、体験、発表、学習などの活動をする事。(ボランティアとして活動することも含まれます。)



昨年1年間に文化・芸術に関する活動を行ったかでは、「活動した」が16.2%、「活動していない」が81.9%となり、「活動していない」が大きく上回った。

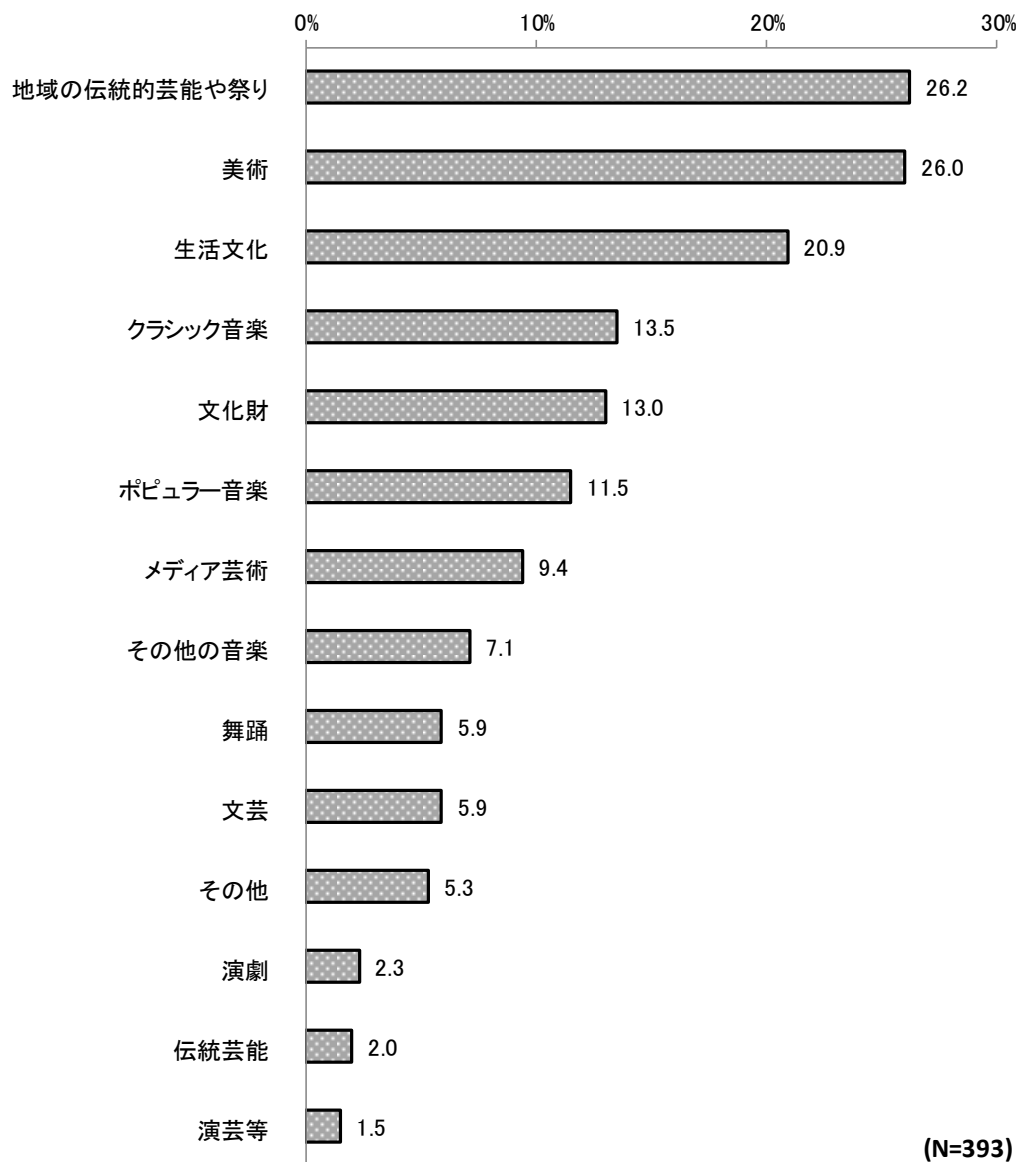


年齢別にみると、「活動した」は70歳以上が20.1%と最も多くなっている。一方、「活動していない」は30～39歳が85.8%と最も多く、69歳以下では8割を超えている。



地域別にみると、「活動した」は伊勢志摩地域が21.5%と最も多くなっている。一方、「活動していない」は東紀州地域が87.8%と最も多くなっている。

問11 問10で「1. 活動した」と回答された方に伺います。どのような種類の活動を行いましたか。
 (〇はいくつでも)



活動した文化・芸術の種類では、「地域の伝統的芸能や祭り」が26.2%と最も多く、次いで「美術」が26.0%、「生活文化」が20.9%となっている。

(単位：%)

<年齢別>	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18～29歳 (N=20)	クラシック音楽 30.0	メディア芸術 25.0	美術 20.0	生活文化 15.0	ポピュラー音楽/演劇/伝統芸能/地域の伝統的芸能や祭り/文化財/その他 5.0
30～39歳 (N=29)	美術 31.0	メディア芸術 20.7	クラシック音楽/ポピュラー音楽/地域の伝統的芸能や祭り/文化財 17.2		
40～49歳 (N=55)	クラシック音楽/美術/地域の伝統的芸能や祭り 21.8		ポピュラー音楽 20.0	メディア芸術 12.7	
50～59歳 (N=88)	地域の伝統的 芸能や祭り 29.5	生活文化 26.1	美術 25.0	文化財 14.8	クラシック音楽 11.4
60～69歳 (N=77)	地域の伝統的 芸能や祭り 37.7	生活文化 23.4	美術 16.9	ポピュラー音楽 14.3	クラシック音楽 10.4
70歳以上 (N=122)	美術 33.6	地域の伝統的 芸能や祭り 24.6	生活文化 23.0	文化財 17.2	その他の音楽 10.7

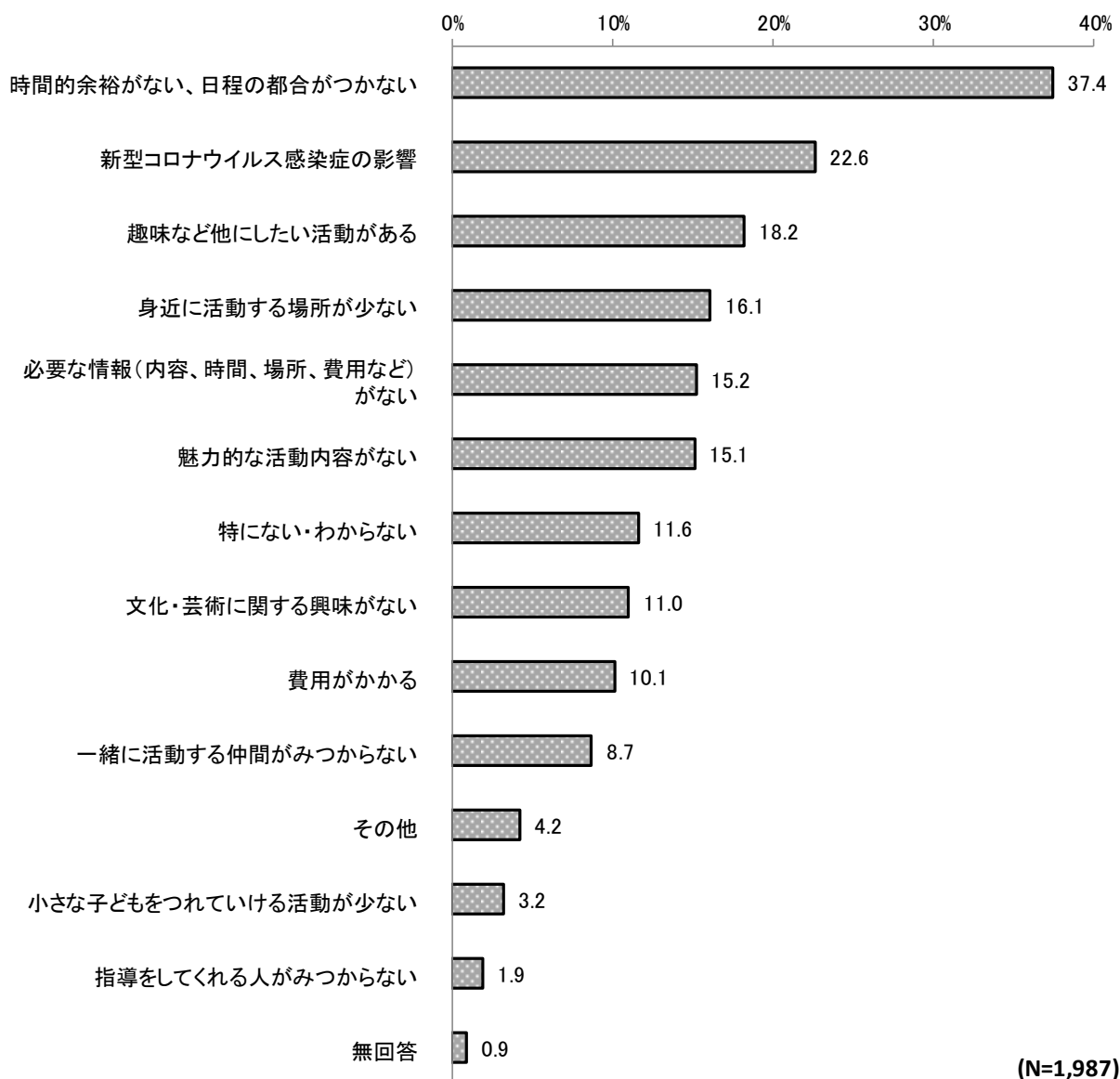
上位5項目を年齢別にみると、18～29歳では「クラシック音楽」、30～39歳および70歳以上では「美術」、50～59歳では「地域の伝統的芸能や祭り」が最も多くなっている。また、40～49歳では「クラシック音楽」、「美術」および「地域の伝統的芸能や祭り」が同率で最も多くなっている。

(単位：%)

<地域別>	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
北勢地域 (N=179)	美術 24.6	地域の伝統的 芸能や祭り 24.0	生活文化 19.6	クラシック音楽 15.1	ポピュラー音楽 11.7
中南勢地域 (N=102)	美術 25.5	地域の伝統的 芸能や祭り 24.5	生活文化 22.5	クラシック音楽 20.6	文化財 14.7
伊賀地域 (N=39)	地域の伝統的 芸能や祭り 30.8	美術 25.6	文化財 20.5	生活文化 15.4	その他 10.3
伊勢志摩地域 (N=62)	地域の伝統的 芸能や祭り 35.5	美術 25.8	生活文化 21.0	文化財 19.4	ポピュラー音楽 16.1
東紀州地域 (N=10)	美術/生活文化 50.0		クラシック音楽/その他の音楽/文芸/地域の伝統的 芸能や祭り/文化財 10.0		

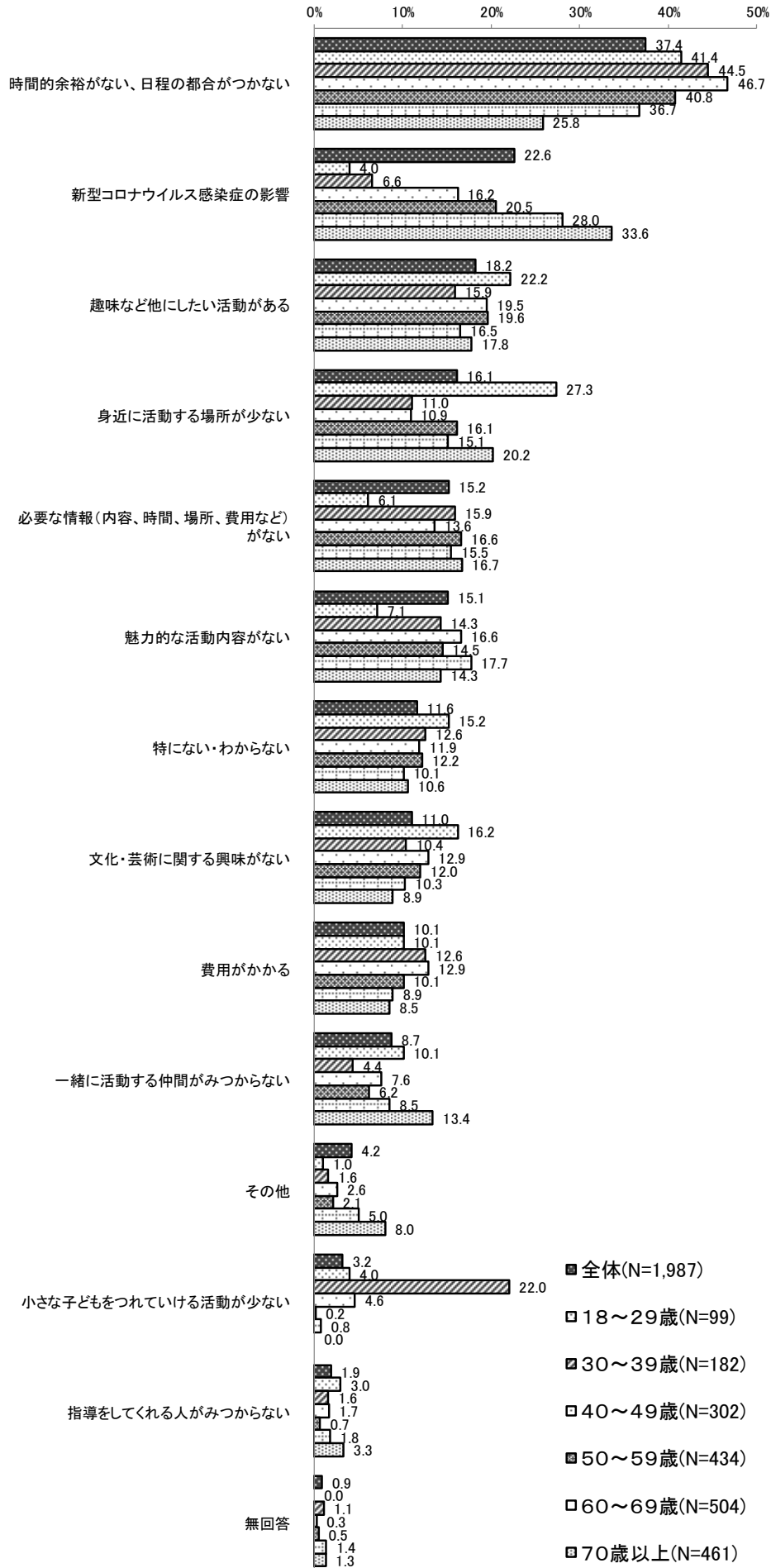
上位5項目を地域別にみると、北勢地域、中南勢地域および東紀州地域では「美術」が最も多く、東紀州地域では「生活文化」も同率で最も多くなっている。また、伊賀地域および伊勢志摩地域では、「地域の伝統的芸能や祭り」が最も多くなっている。

問12 問10で「2. 活動していない」と回答された方に伺います。その主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



活動していない主な理由では、「時間的余裕がない、日程の都合がつかない」が 37.4%と最も多く、次いで「新型コロナウイルス感染症の影響」が 22.6%、「趣味など他にしたい活動がある」が 18.2%となっている

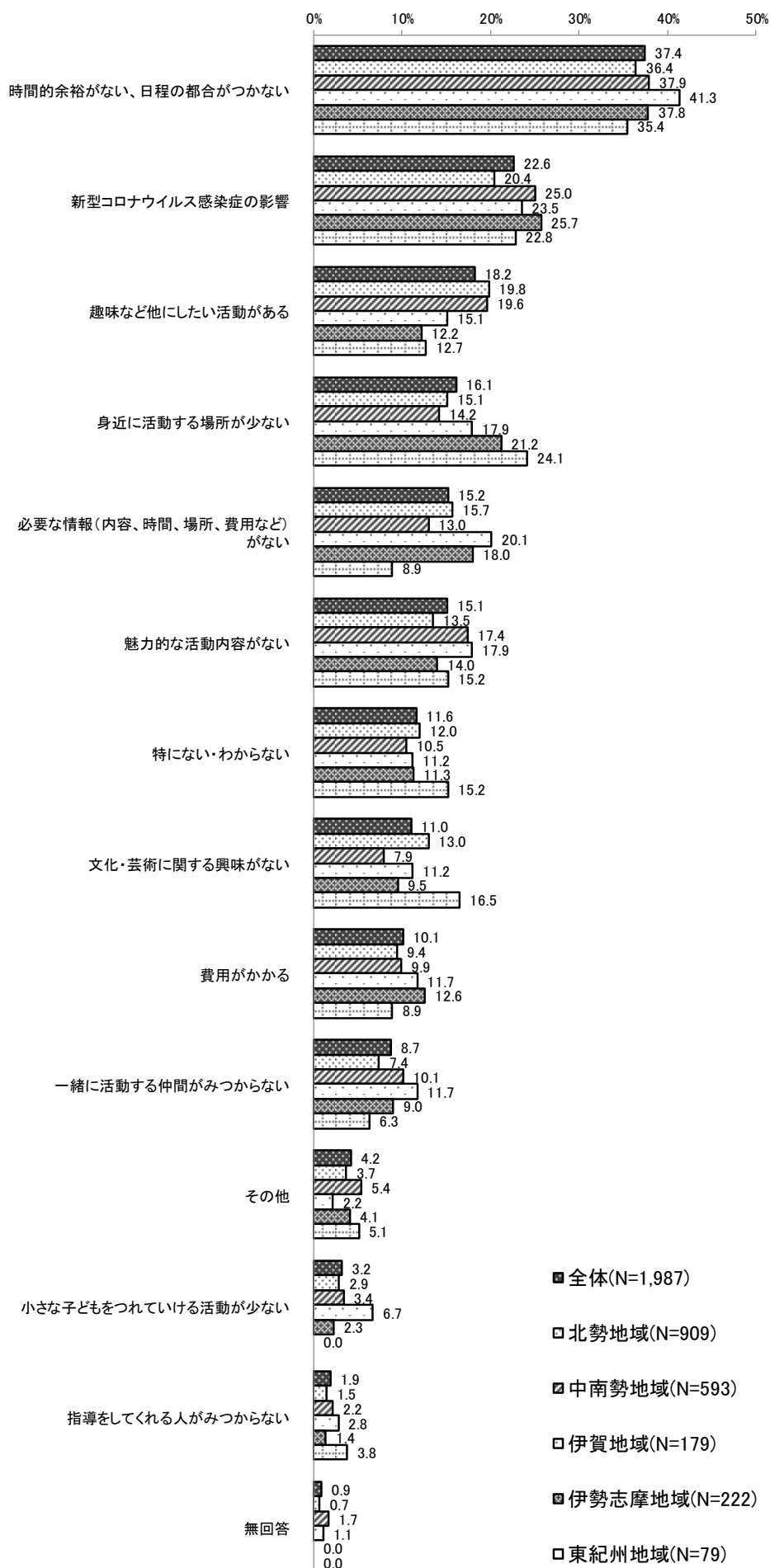
<年齢別>



年齢別にみると、69歳以下では「時間的余裕がない、日程の都合がつかない」が最も多くなっている。一方、70歳以上では「新型コロナウイルス感染症の影響」が最も多くなっている。

また、18歳～29歳では「身近に活動する場所が少ない」が27.3%と他の年代に比べ多くなっている。

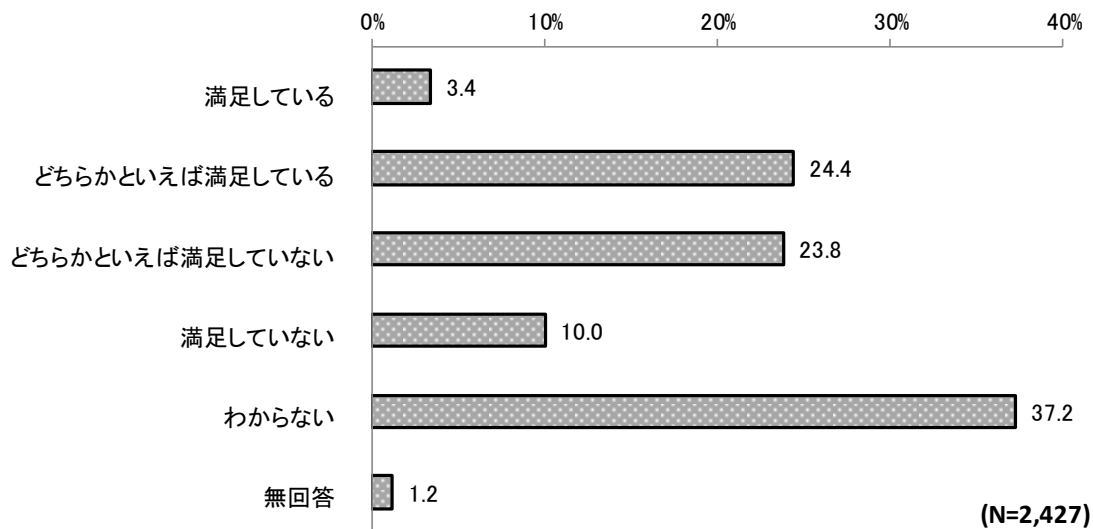
<地域別>



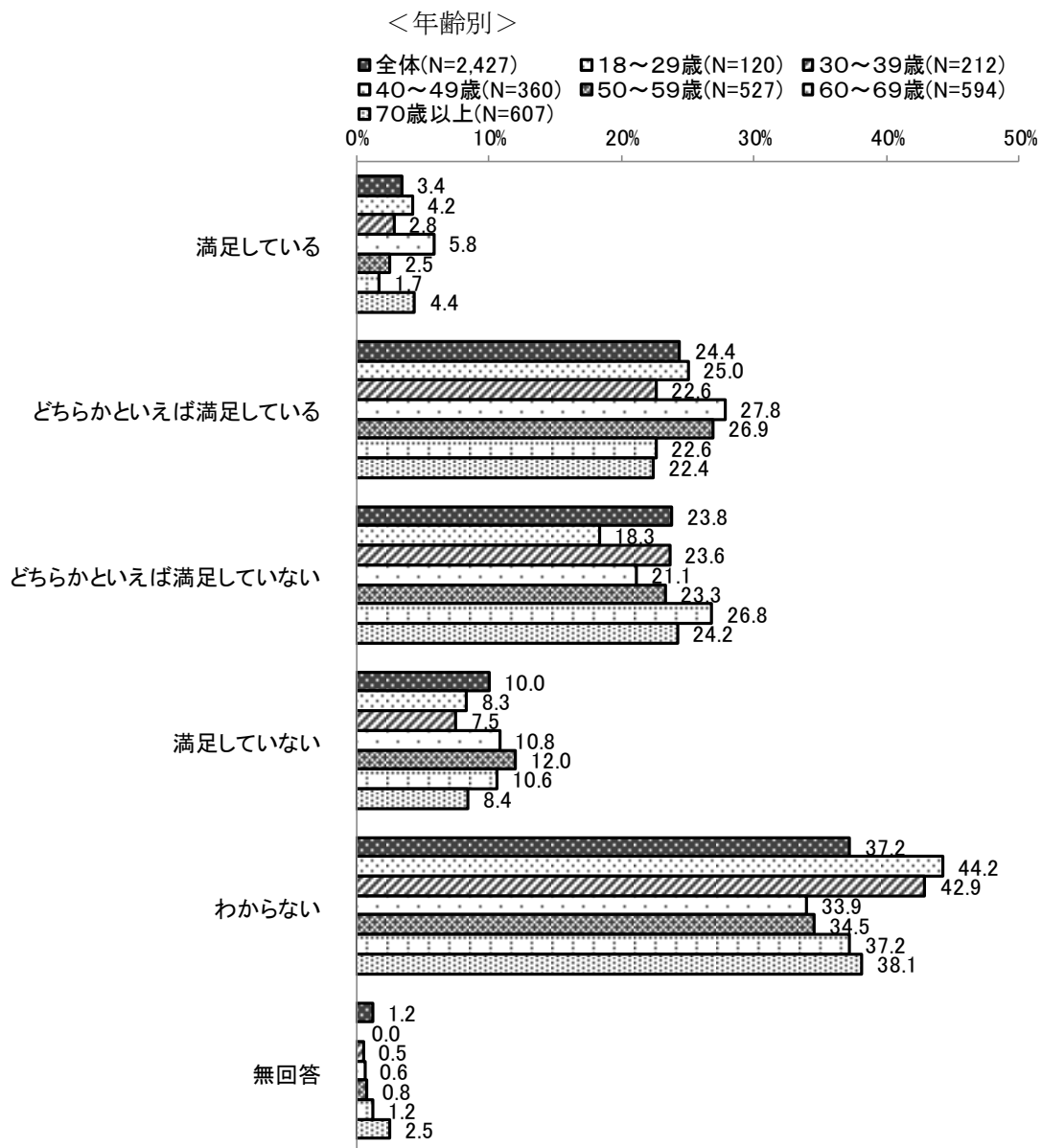
地域別にみると、全ての地域で「時間的余裕がない、日程の都合がつかない」が最も多くなっている。
また、「身近に活動する場所が少ない」は伊勢志摩地域と東紀州地域で2割を超え、他の地域と比較して多くなっている。

(3) 文化的環境について

問13 あなたは、三重県の文化的な環境(例えば、文化・芸術を鑑賞する機会、文化・芸術に関する活動をする機会、文化施設の整備状況 など)に満足していますか。(○は1つ)

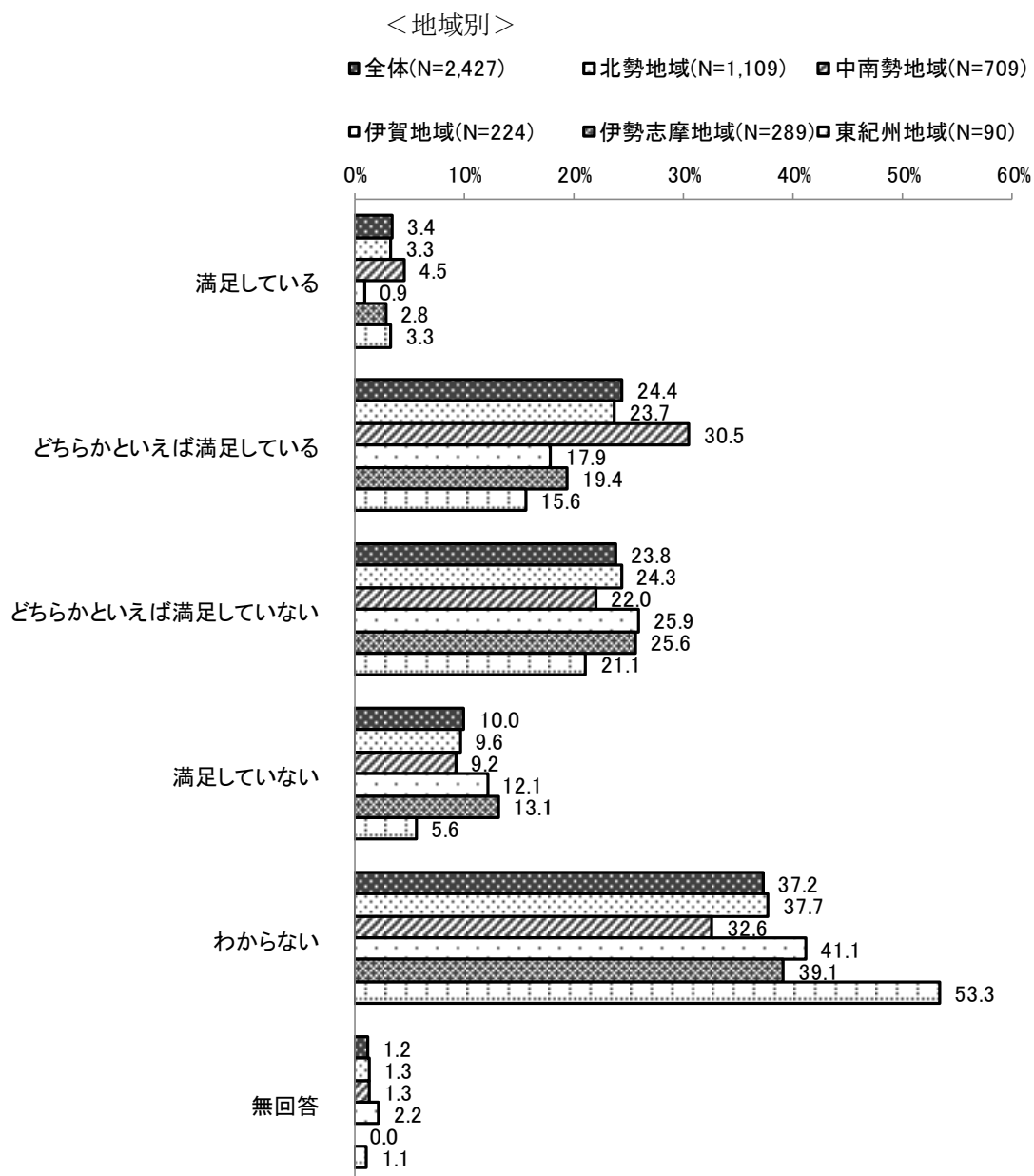


三重県の文化的な環境に満足しているかでは、「わからない」が37.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足している」が24.4%、「どちらかといえば満足していない」が23.8%となっている。



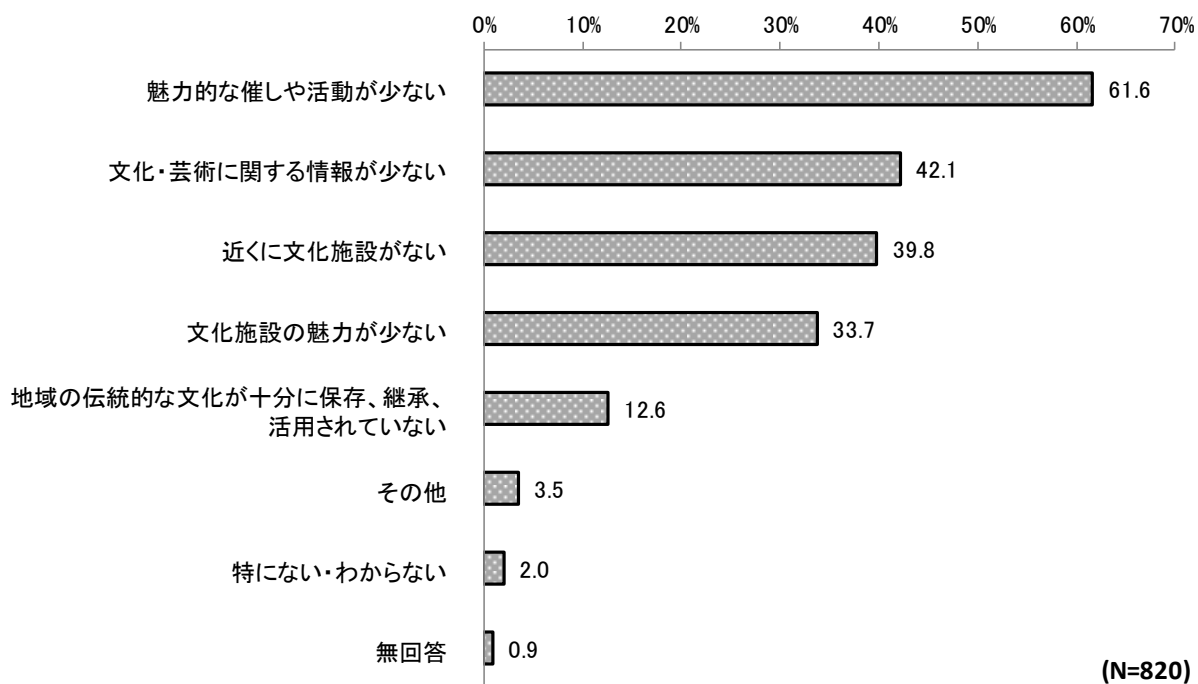
年齢別にみると、全ての年代で「わからない」が3～4割台と最も多くなっている。

また、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』の割合は40～49歳が33.6%と最も多くなっている。

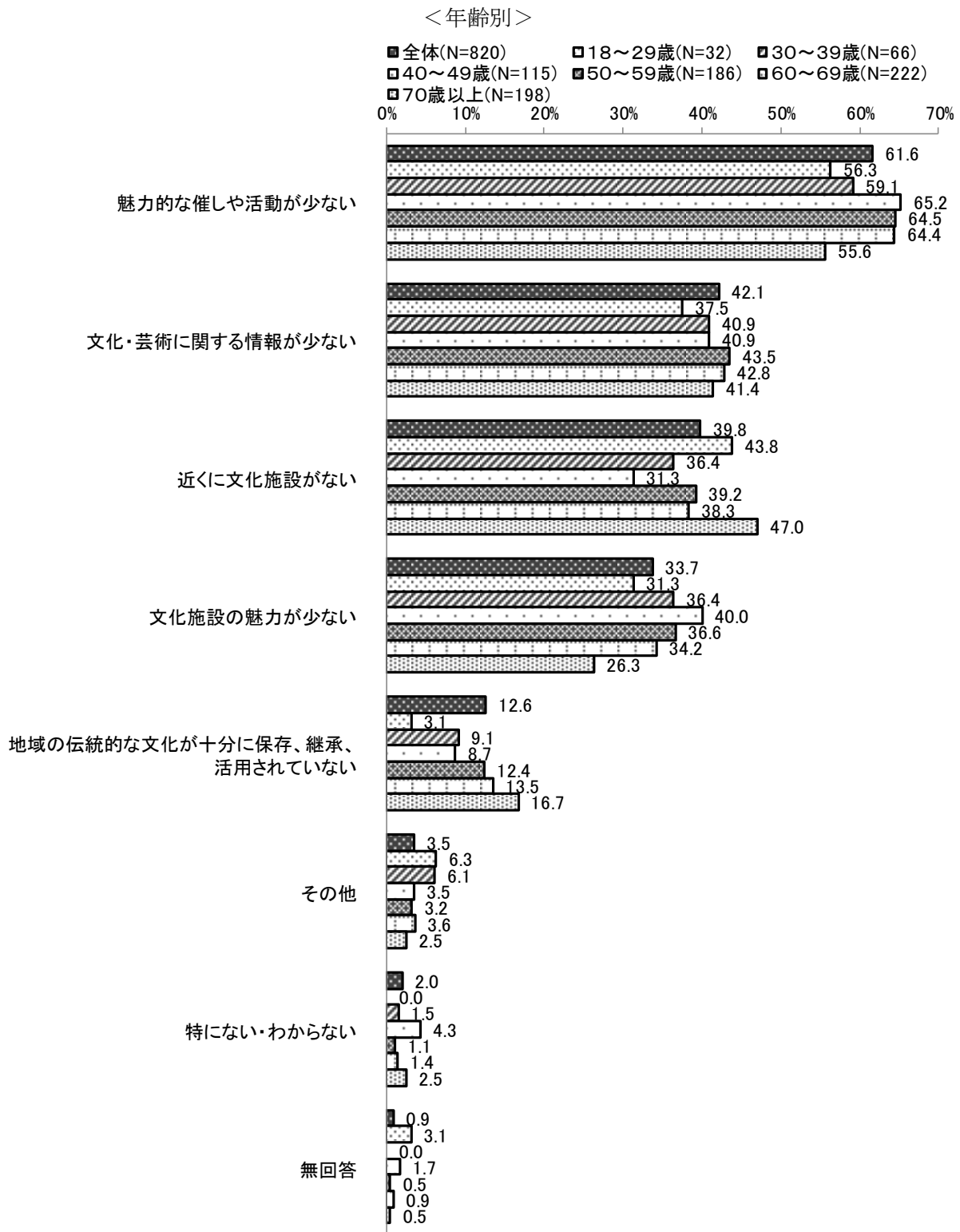


地域別にみると、全ての地域で「わからない」が最も多く、東紀州地域では5割を超えている。また、『満足』の割合は中南勢地域が35.0%と最も多くなっている。

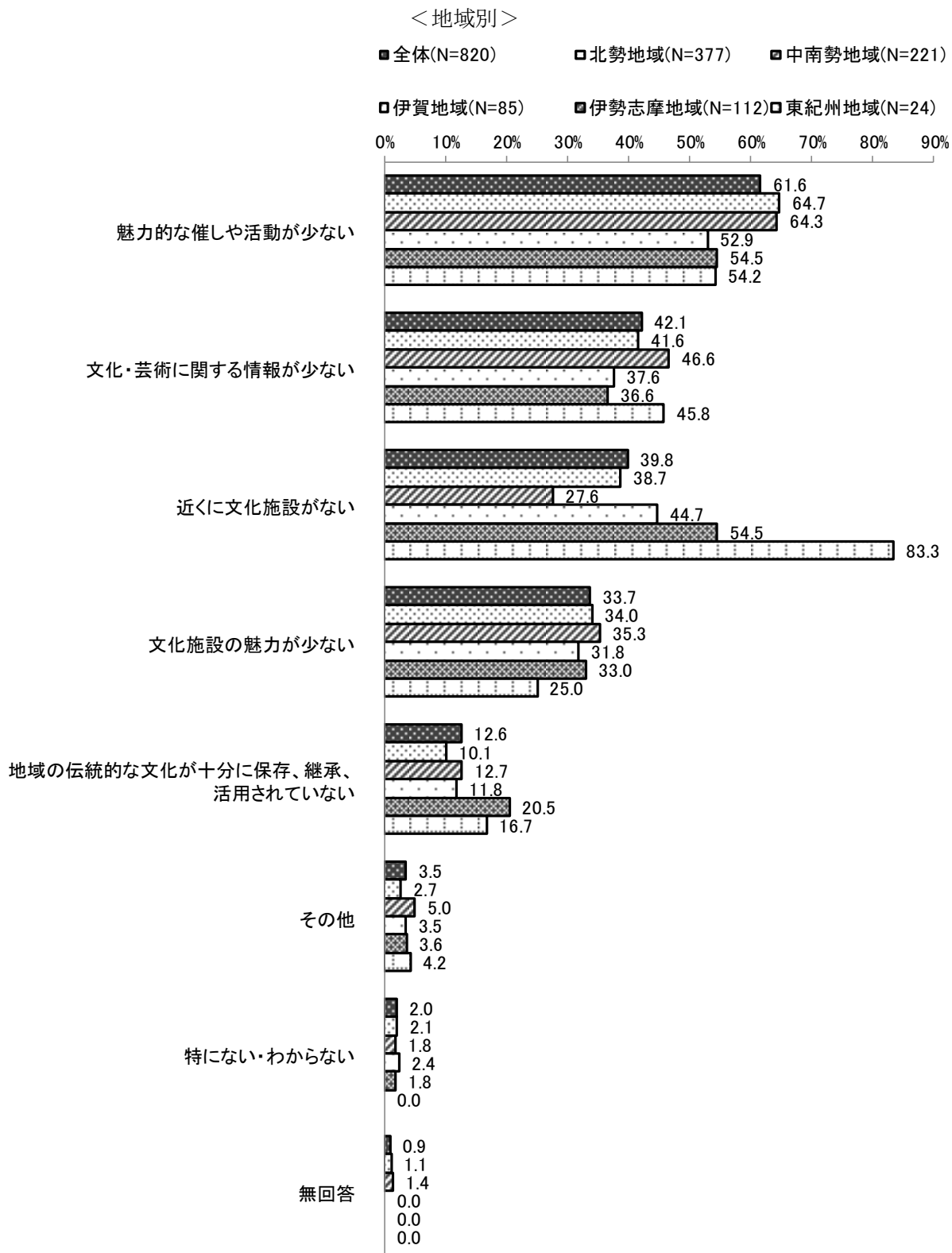
問14 問13で「3. どちらかといえば満足していない」又は「4. 満足していない」と回答された方に伺います。その主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



三重県の文化的な環境に「どちらかといえば満足していない」又は「満足していない」主な理由では、「魅力的な催しや活動が少ない」が61.6%と最も多く、次いで「文化・芸術に関する情報が少ない」が42.1%、「近くに文化施設がない」が39.8%となっている。

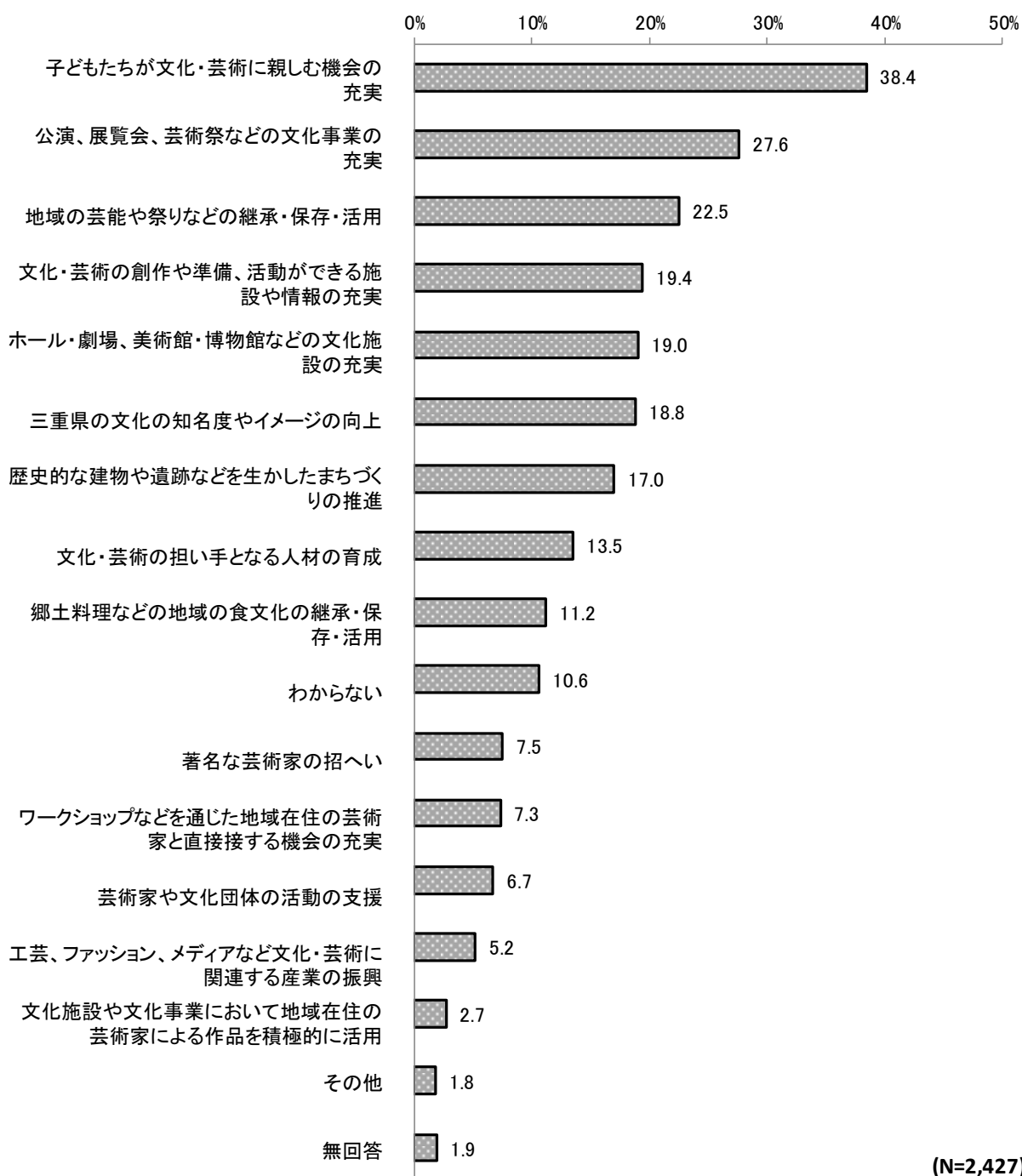


年齢別にみると、全ての年代で「魅力的な催しや活動が少ない」が5～6割台と最も多くなっている。また、18～29歳および70歳以上では「近くに文化施設がない」が4割を超え、他の年代と比較して多くなっている。



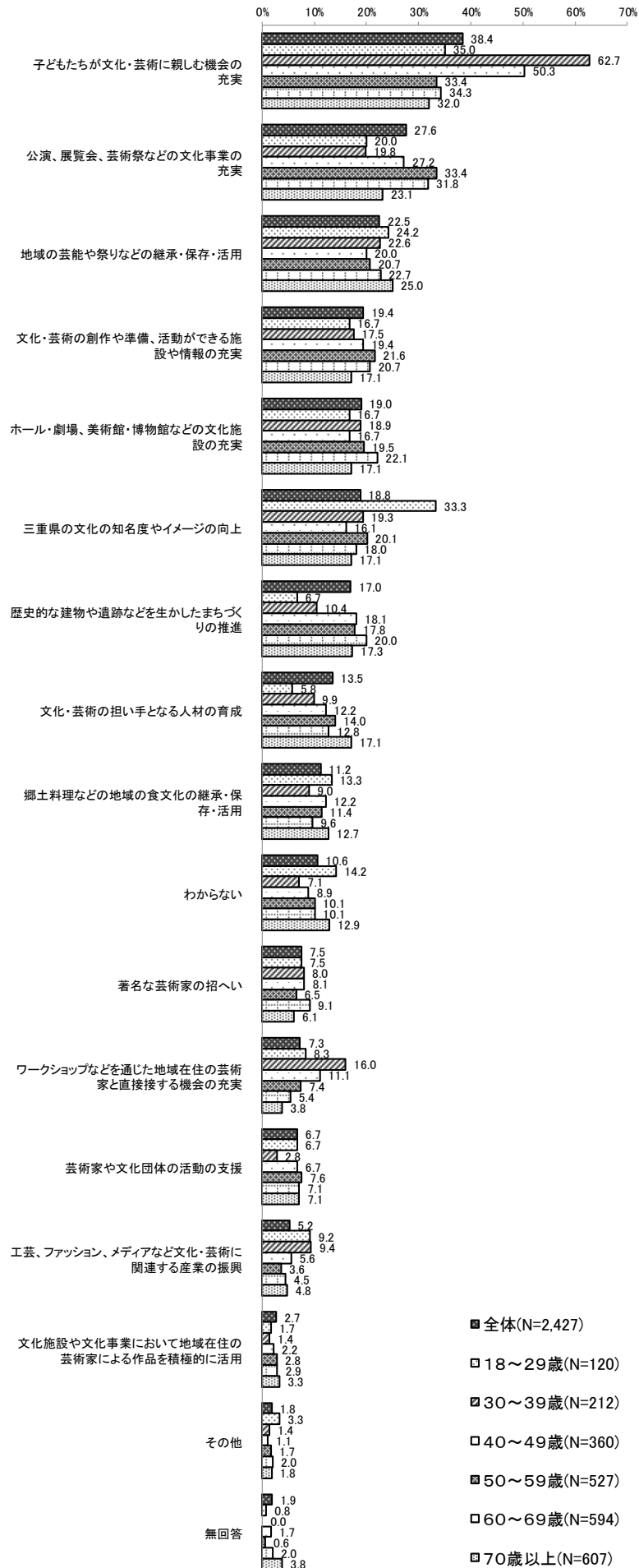
地域別にみると、東紀州地域以外の全ての地域では「魅力的な催しや活動が少ない」が最も多く、伊勢志摩地域では「近くに文化施設がない」も同率で最も多くなっている。一方、東紀州地域では「近くに文化施設がない」が最も多く8割を超えている。

問15 あなたは、三重県の文化的な環境を今よりも充実させるために、何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)



三重県の文化的な環境を今よりも充実させるために何が重要かでは、「子どもたちが文化・芸術に親しむ機会の充実」が38.4%と最も多く、次いで「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」が27.6%、「地域の芸能や祭りなどの継承・保存・活用」が22.5%となっている。

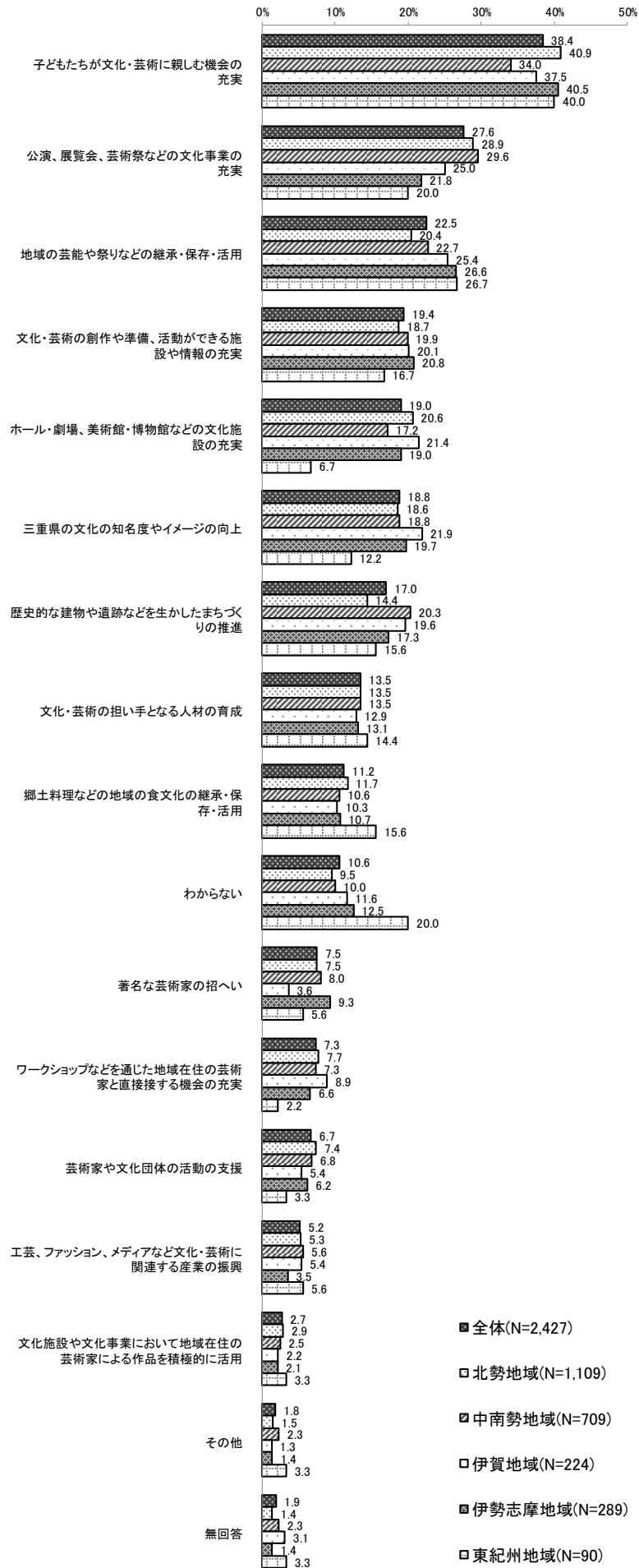
<年齢別>



年齢別にみると、全ての年代で「子どもたちが文化・芸術に親しむ機会の充実」が最も多く、50～59歳では「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」も同率で最も多くなっている。特に30～49歳の年代では5割を超え、他の年代と比較しても多くなっている。

また、18～29歳では「三重県の文化の知名度やイメージの向上」が33.3%と他の年代に比べ10ポイント以上多くなっている。

<地域別>

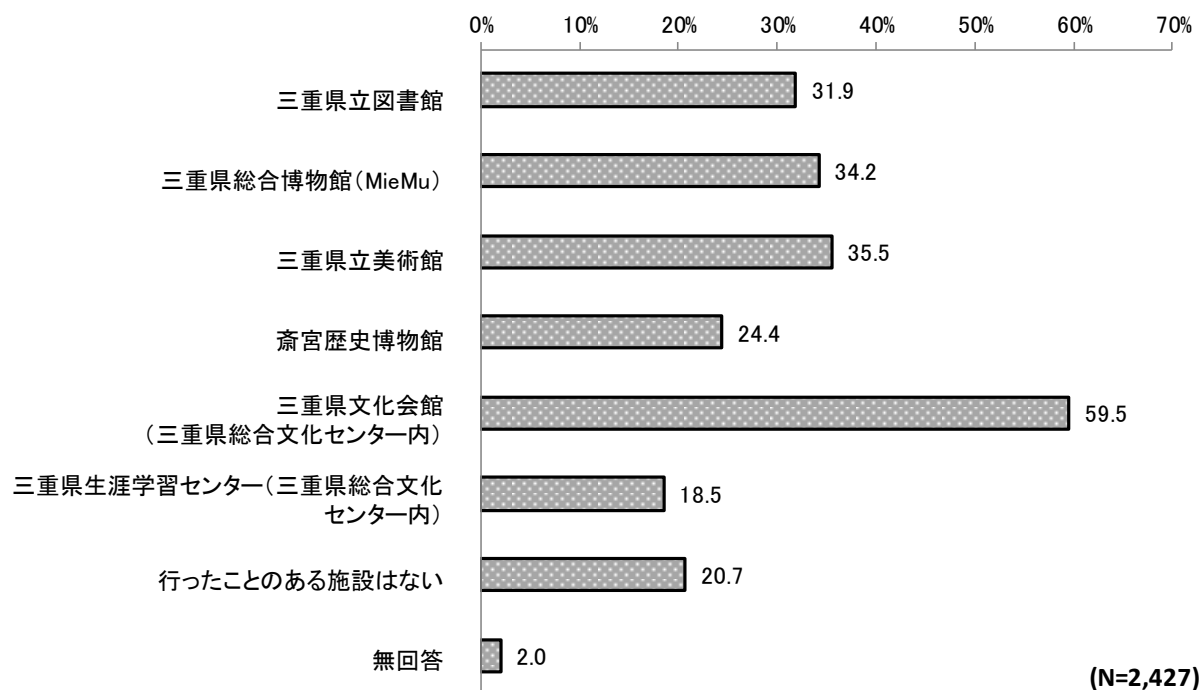


地域別にみると、全ての地域で「子どもたちが文化・芸術に親しむ機会の充実」が3～4割台と最も多く、北勢地域を除く全ての地域で「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」および「地域の芸能や祭りなどの継承・保存・活用」が概ね上位3項目となっている。また、北勢地域では「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」が第3位となっている。

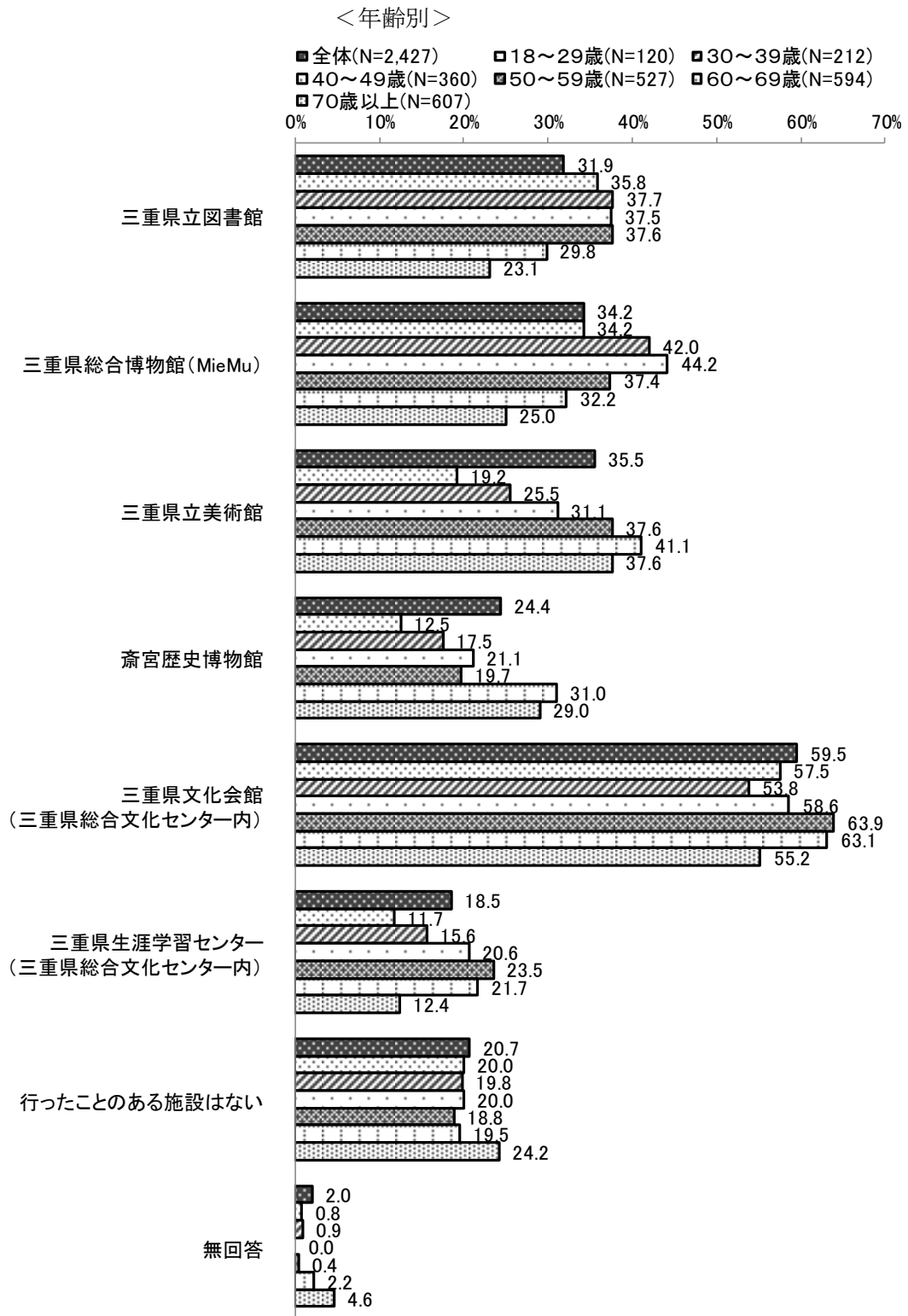
東紀州地域では「郷土料理などの地域の食文化の継承・保存・活用」が他の地域に比べ多くなっている。

(4) 県立の文化施設について

問16 次の県立の文化施設のうち、あなたがこれまでに行ったことのある施設を選んでください。
(〇はいくつでも)



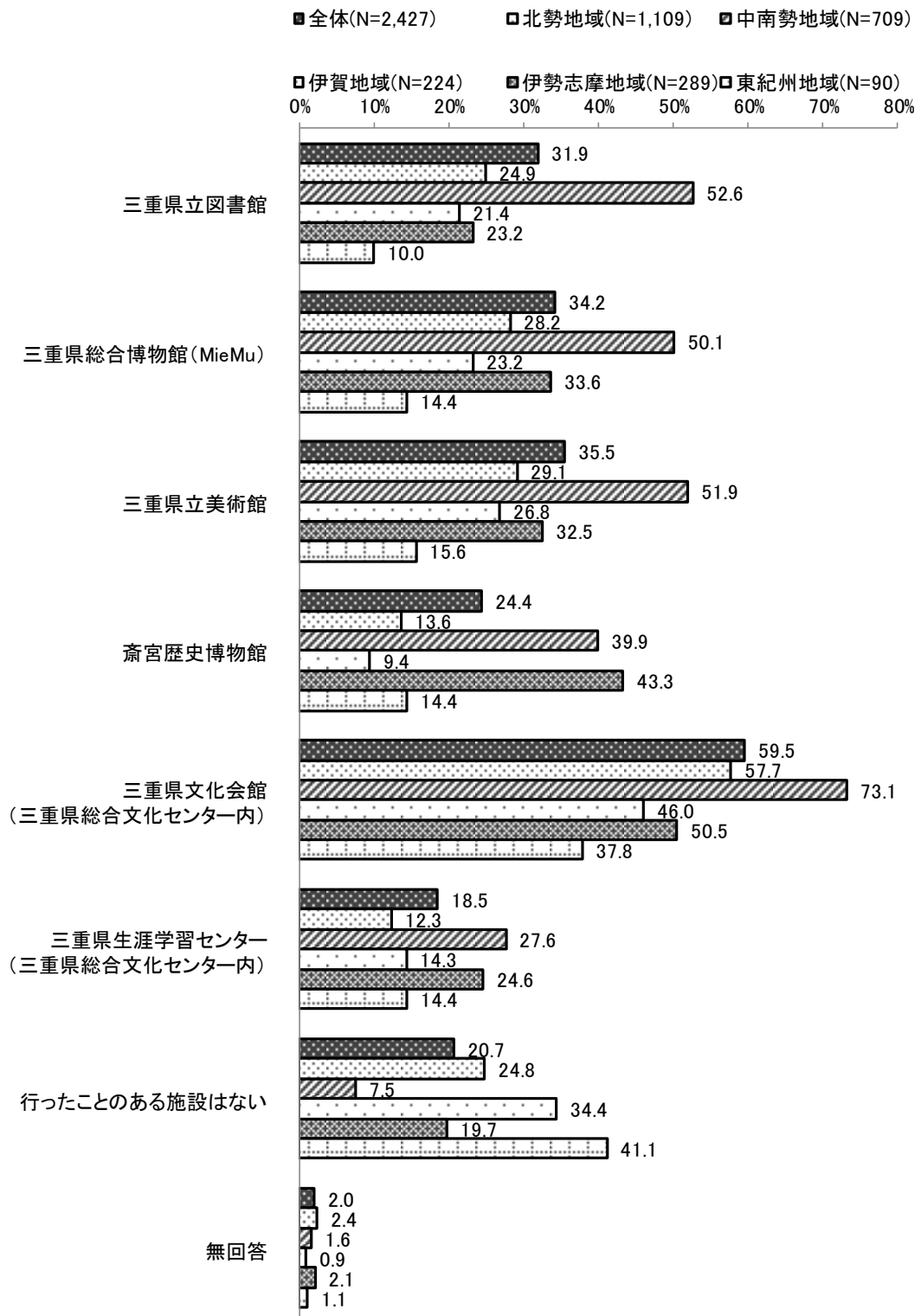
これまでに行ったことのある県立文化施設では、「三重県文化会館（三重県総合文化センター内）」が59.5%と最も多く、次いで「三重県立美術館」が35.5%、「三重県総合博物館（MieMu）」が34.2%となっている。一方、「行ったことのある施設はない」は20.7%となっている。



年齢別にみると、全ての年代で「三重県文化会館（三重県総合文化センター内）」が5～6割台と最も多くなっている。

また、60～69歳では「斎宮歴史博物館」が3割を超え、他の年代と比較して多くなっている。

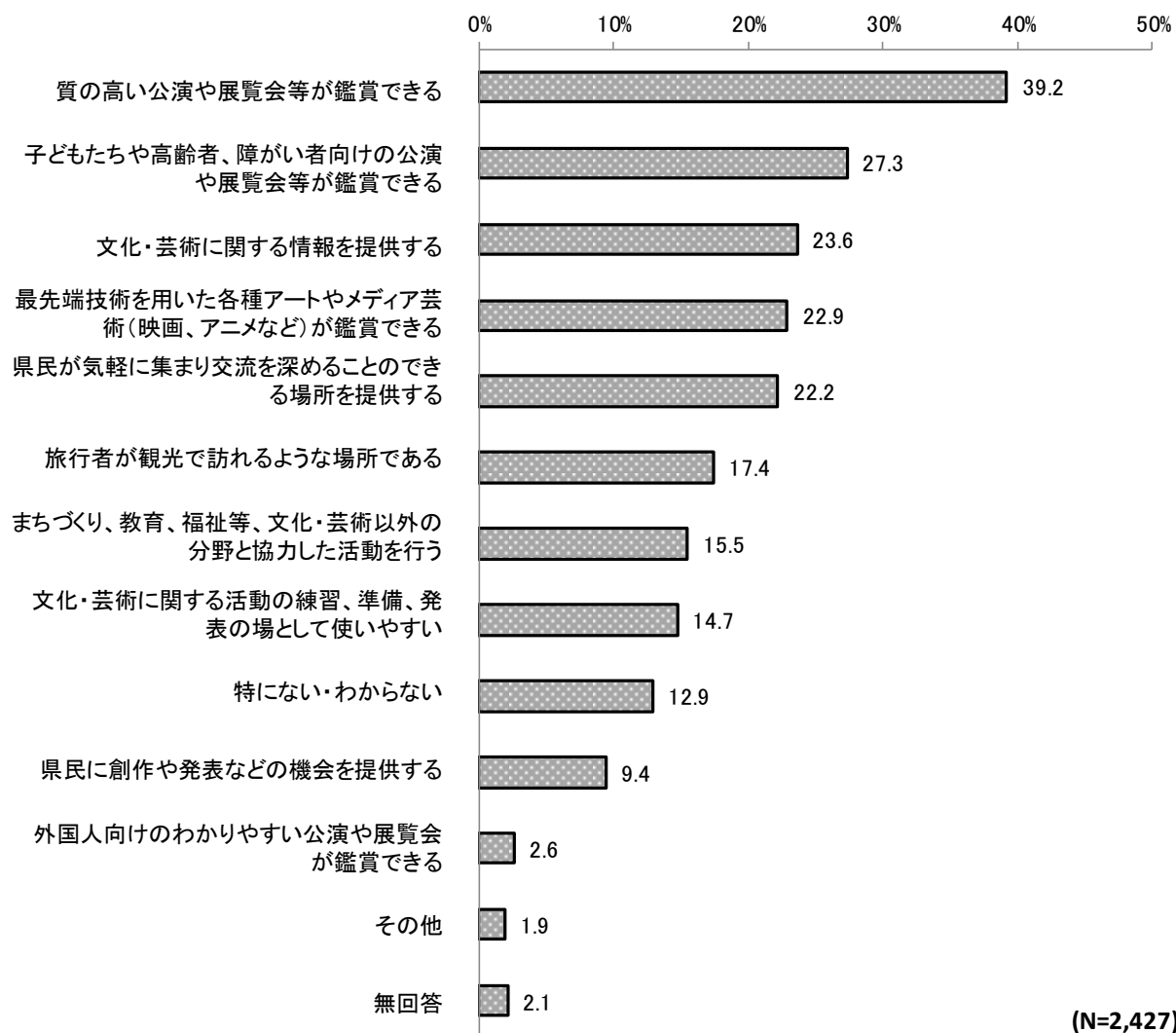
<地域別>



地域別にみると、東紀州地域を除く全ての地域で「三重県文化会館（三重県総合文化センター内）」が最も多く、東紀州地域では「行ったことのある施設はない」が最も多くなっている。

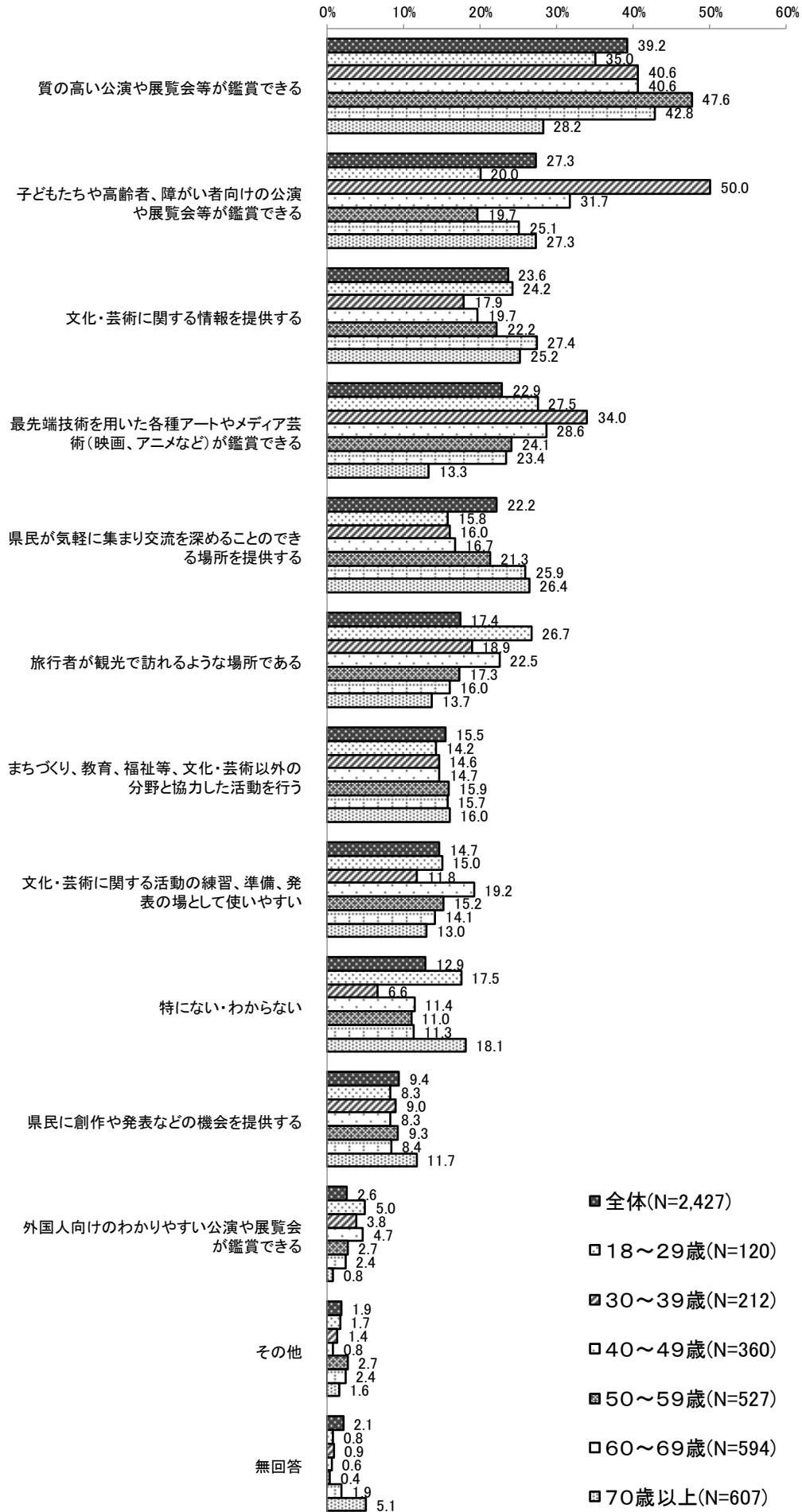
また、ほとんどの施設は中南勢地域からの来訪者が最も多く、「斎宮歴史博物館」は伊勢志摩地域からの来訪者が最も多くなっている。

問17 あなたが今後、県立の文化施設に期待することは何ですか。(〇は3つまで)



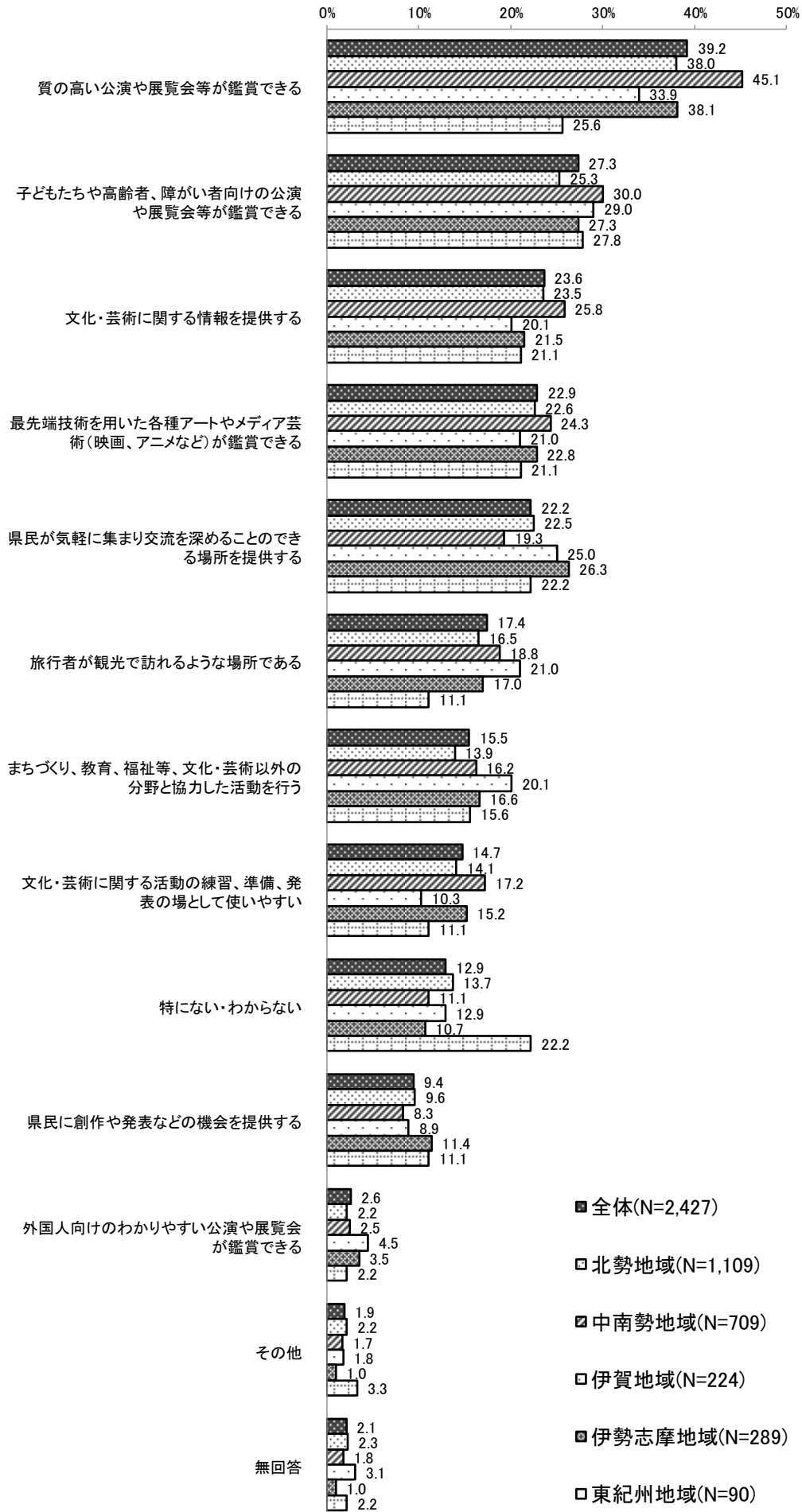
今後、県立の文化施設に期待することでは、「質の高い公演や展覧会等が鑑賞できる」が39.2%と最も多く、次いで「子どもたちや高齢者、障がい者向けの公演や展覧会等が鑑賞できる」が27.3%、「文化・芸術に関する情報を提供する」が23.6%となっている。

<年齢別>



年齢別にみると、30～39 歳を除く全ての年代で「質の高い公演や展覧会等が鑑賞できる」が最も多くなっている。一方、30～39 歳では「子どもたちや高齢者、障がい者向けの公演や展覧会等が鑑賞できる」が 50.0%と最も多くなっている。

<地域別>

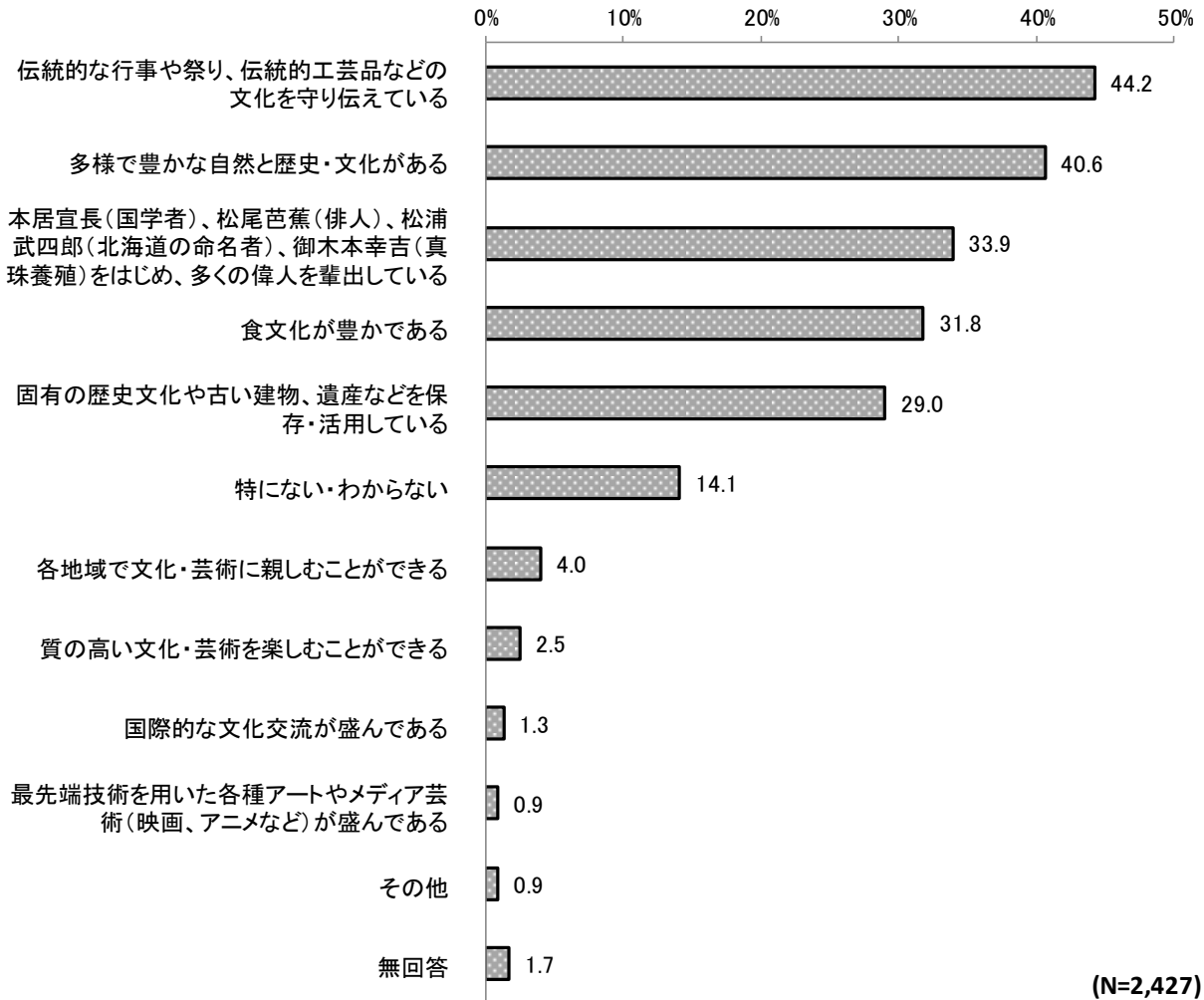


地域別にみると、東紀州地域を除く全ての地域で「質の高い公演や展覧会等が鑑賞できる」が最も多く、東紀州地域では「子どもたちや高齢者、障がい者向けの公演や展覧会等が鑑賞できる」が最も多くなっている。

また、東紀州地域では「特にない・わからない」が2割を超え、他の地域と比較して多くなっている。

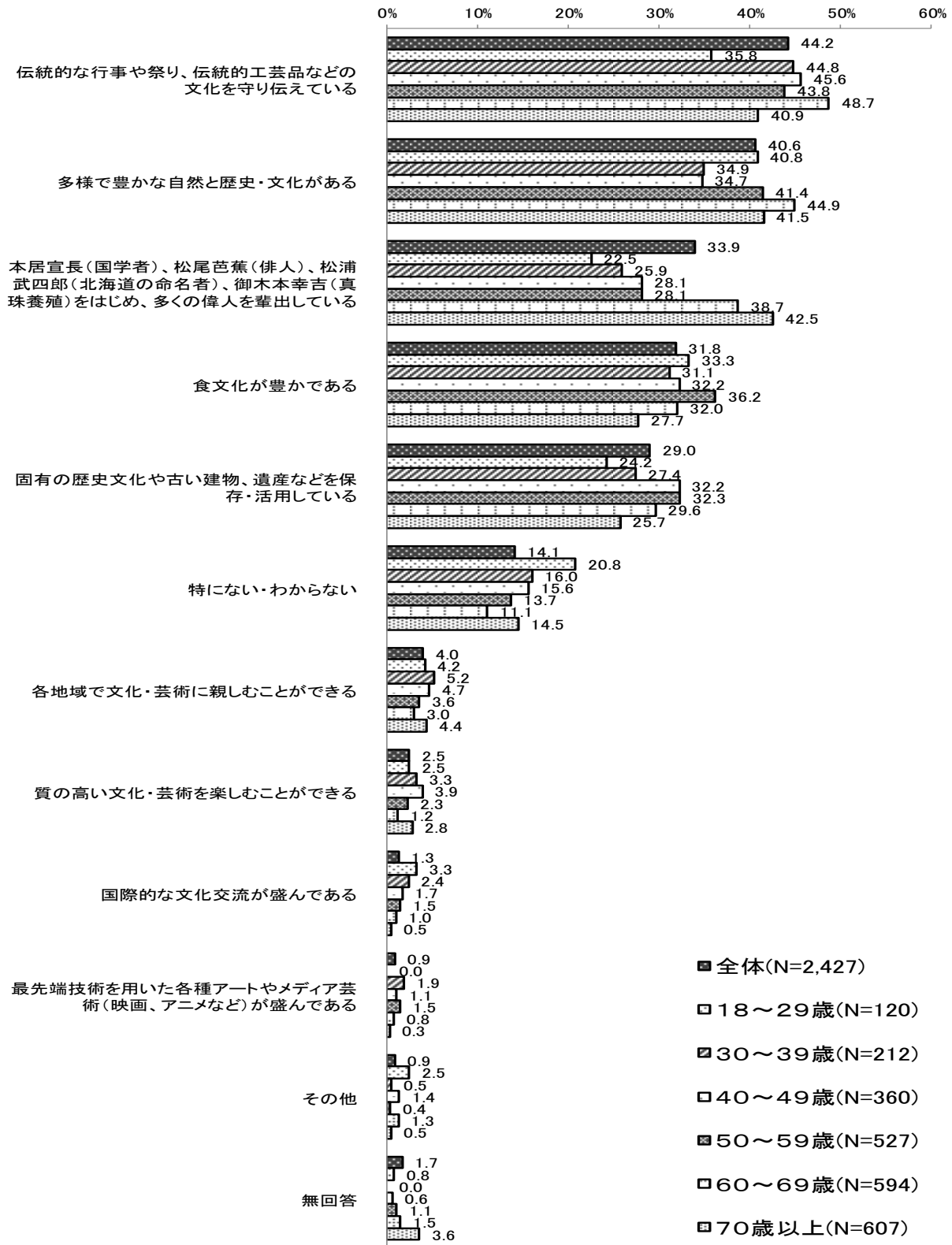
(5) 三重県の文化について

問18 あなたが三重県の文化の特徴だと思うものはどれですか。(〇は3つまで)



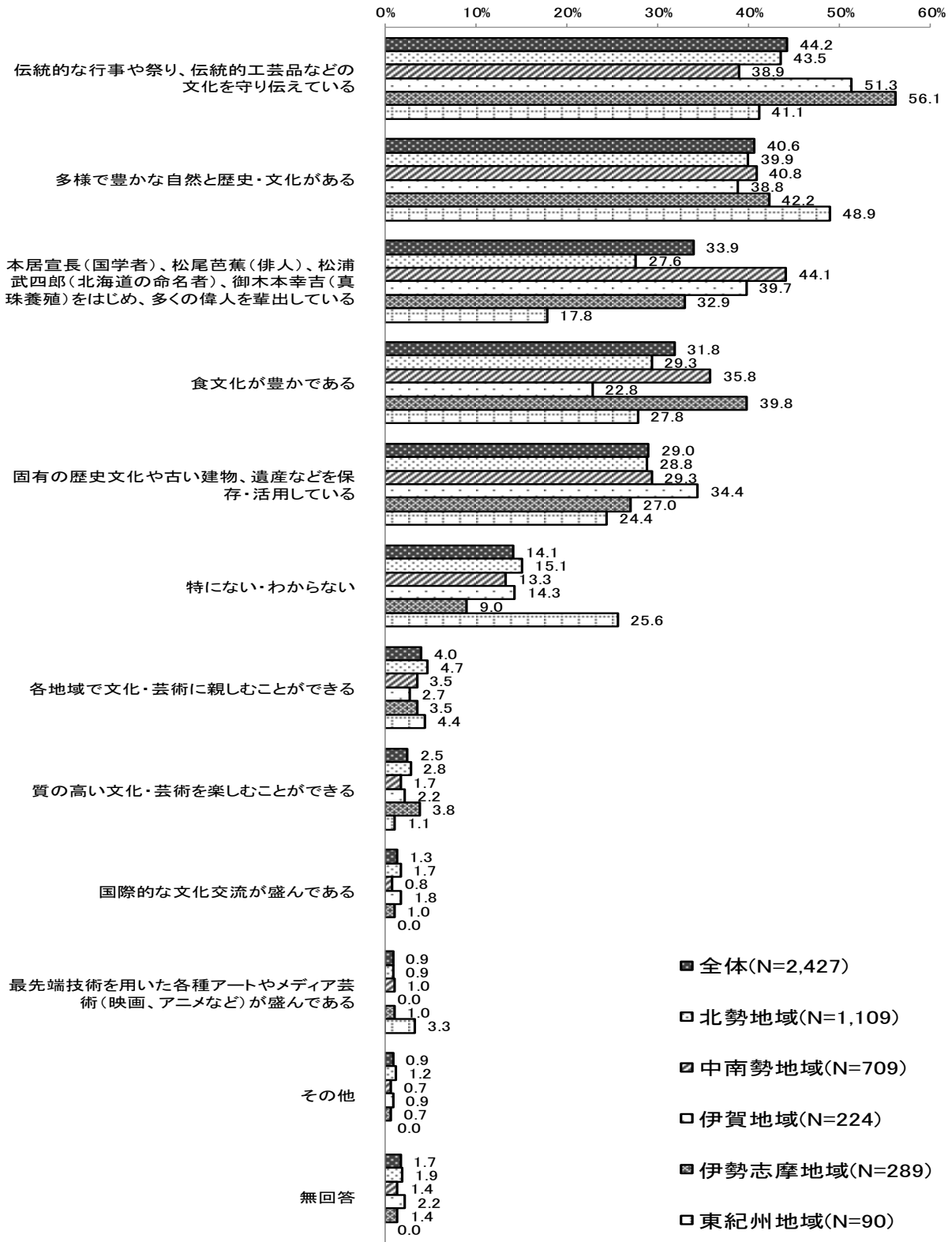
三重県の文化の特徴だと思うものでは、「伝統的な行事や祭り、伝統的工芸品などの文化を守り伝えている」が44.2%と最も多く、次いで「多様で豊かな自然と歴史・文化がある」が40.6%、「本居宣長(国学者)、松尾芭蕉(俳人)、松浦武四郎(北海道の命名者)、御木本幸吉(真珠養殖)をはじめ、多くの偉人を輩出している」が33.9%となっている。

<年齢別>



年齢別にみると、30~69歳の年代では「伝統的な行事や祭り、伝統的工芸品などの文化を守り伝えている」が最も多くなっている。一方、18~29歳では「多様で豊かな自然と歴史・文化がある」、70歳以上では「本居宣長(国学者)、松尾芭蕉(俳人)、松浦武四郎(北海道の命名者)、御木本幸吉(真珠養殖)をはじめ、多くの偉人を輩出している」が最も多くなっている。

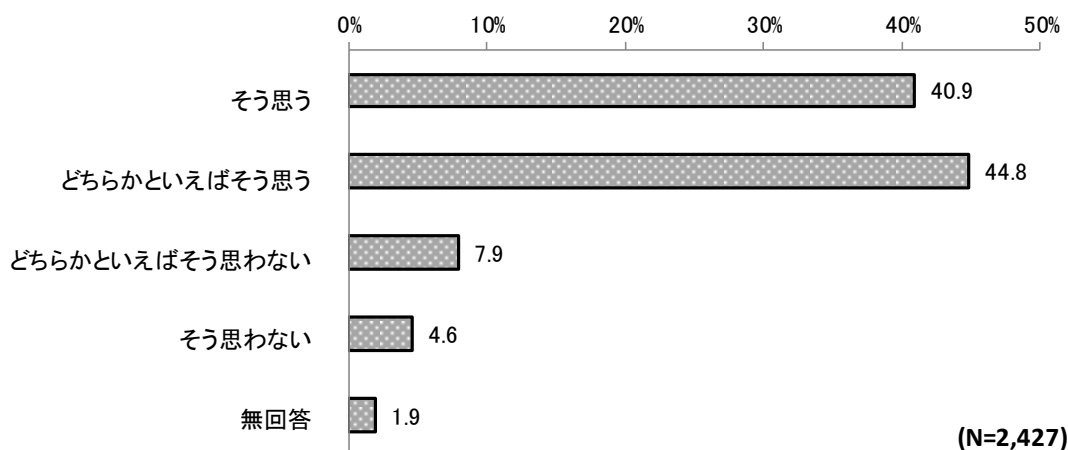
<地域別>



地域別にみると、北勢地域、伊賀地域および伊勢志摩地域では「伝統的な行事や祭り、伝統的工芸品などの文化を守り伝えている」が最も多くなっている。一方、中南勢地域では「本居宣長(国学者)、松尾芭蕉(俳人)、松浦武四郎(北海道の命名者)、御木本幸吉(真珠養殖)をはじめ、多くの偉人を輩出している」、東紀州地域では「多様で豊かな自然と歴史・文化がある」が最も多くなっている。

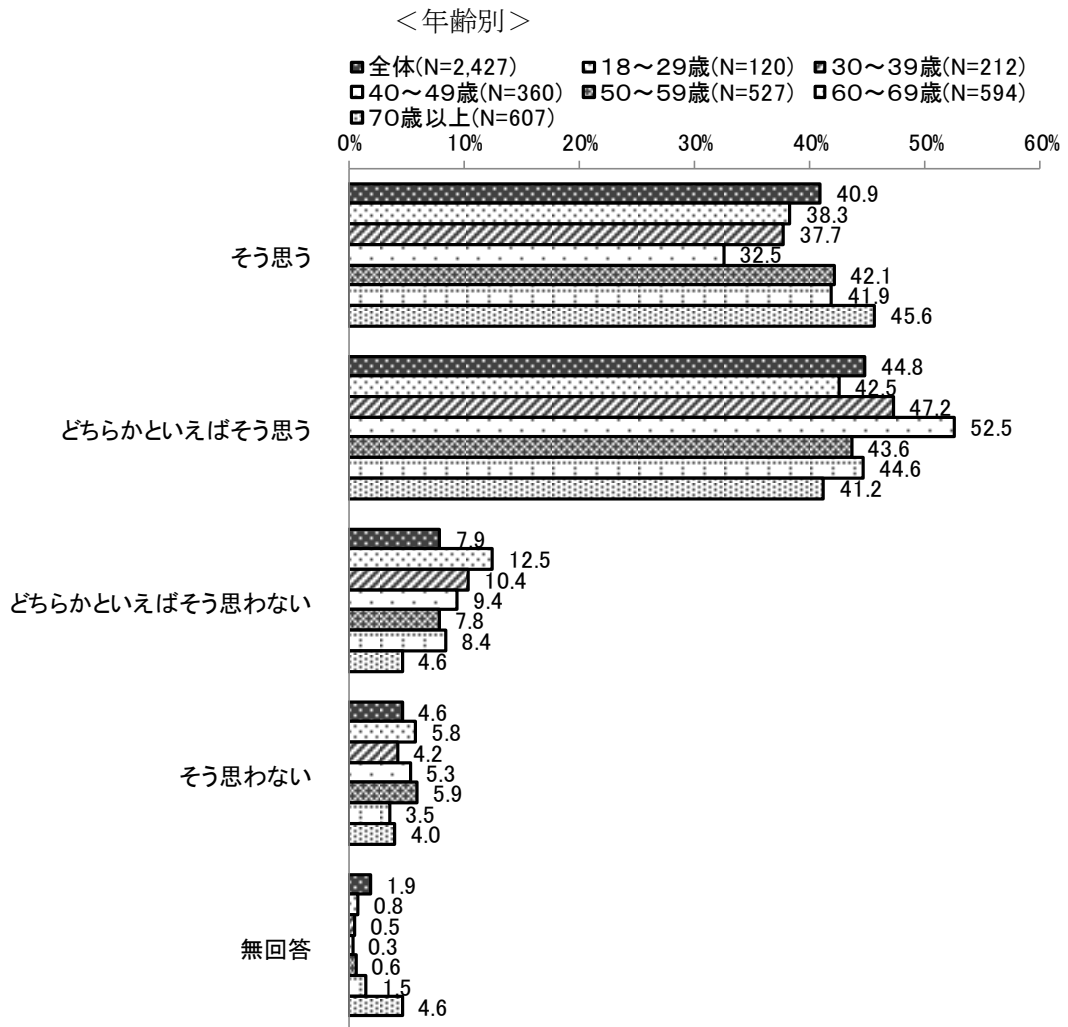
問19 あなたは、三重県にある全国的あるいは国際的に誇ることができる歴史的資産等(※)について、愛着を感じることができると思いますか。(○は1つ)

※「歴史的資産等」・・・伊勢神宮や熊野古道、世界から評価される偉人(俳聖「松尾芭蕉」、日本人の世界観・価値観を探究した「本居宣長」、世界で初めて真珠養殖を成功させた「御木本幸吉」、北海道の命名者「松浦武四郎」、映画監督の「小津安二郎」など)のほか、各地域で継承されている伝統的な芸能・祭り・行事や文化財などの歴史的な資産、地域独特の言葉遣いや衣服、食べ物、習慣などをいいます。

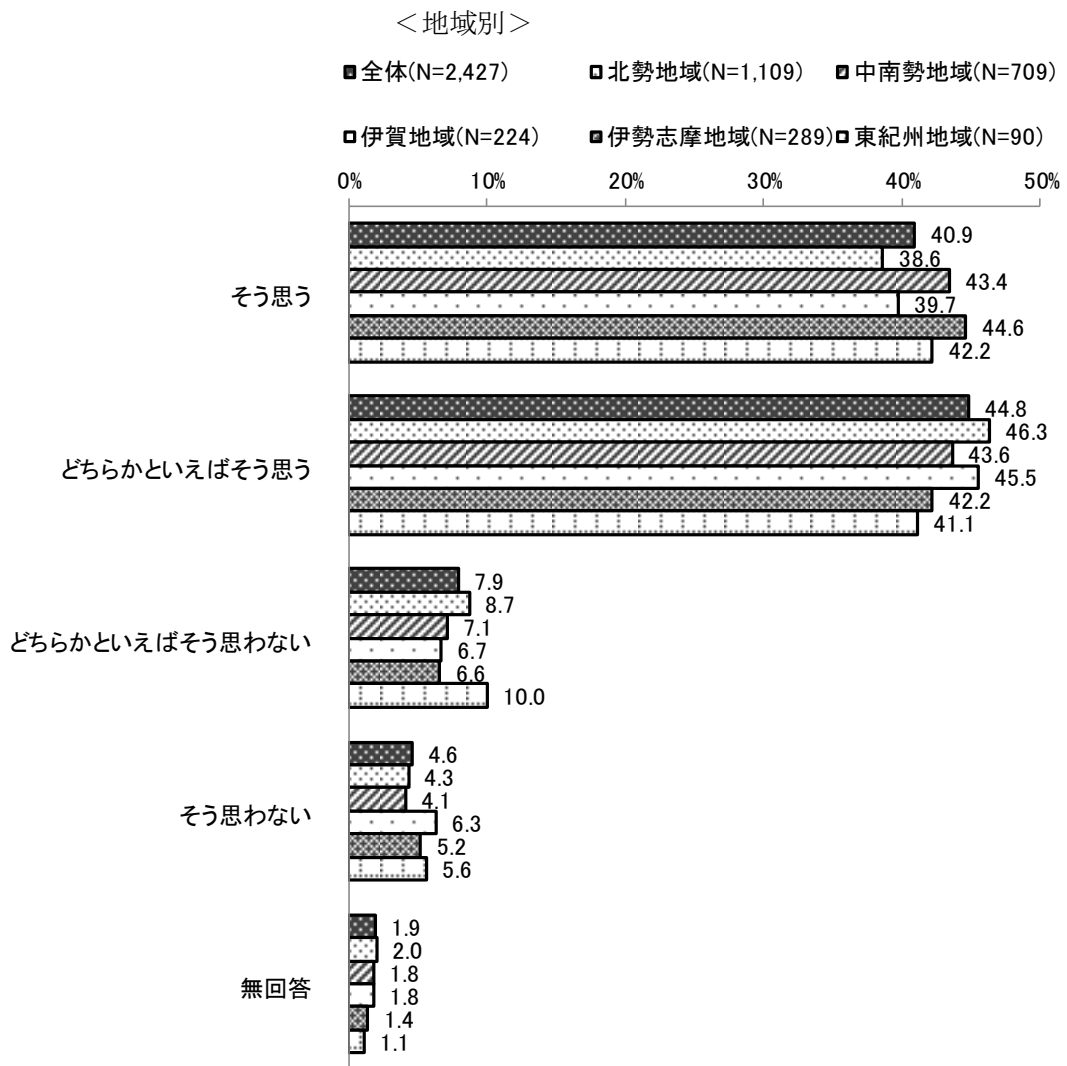


三重県にある全国的あるいは国際的に誇ることができる歴史的資産等について、愛着を感じることができるかでは、「どちらかといえばそう思う」が44.8%と最も多く、次いで「そう思う」が40.9%、「どちらかといえばそう思わない」が7.9%となっている。

また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合は85.7%となっている。



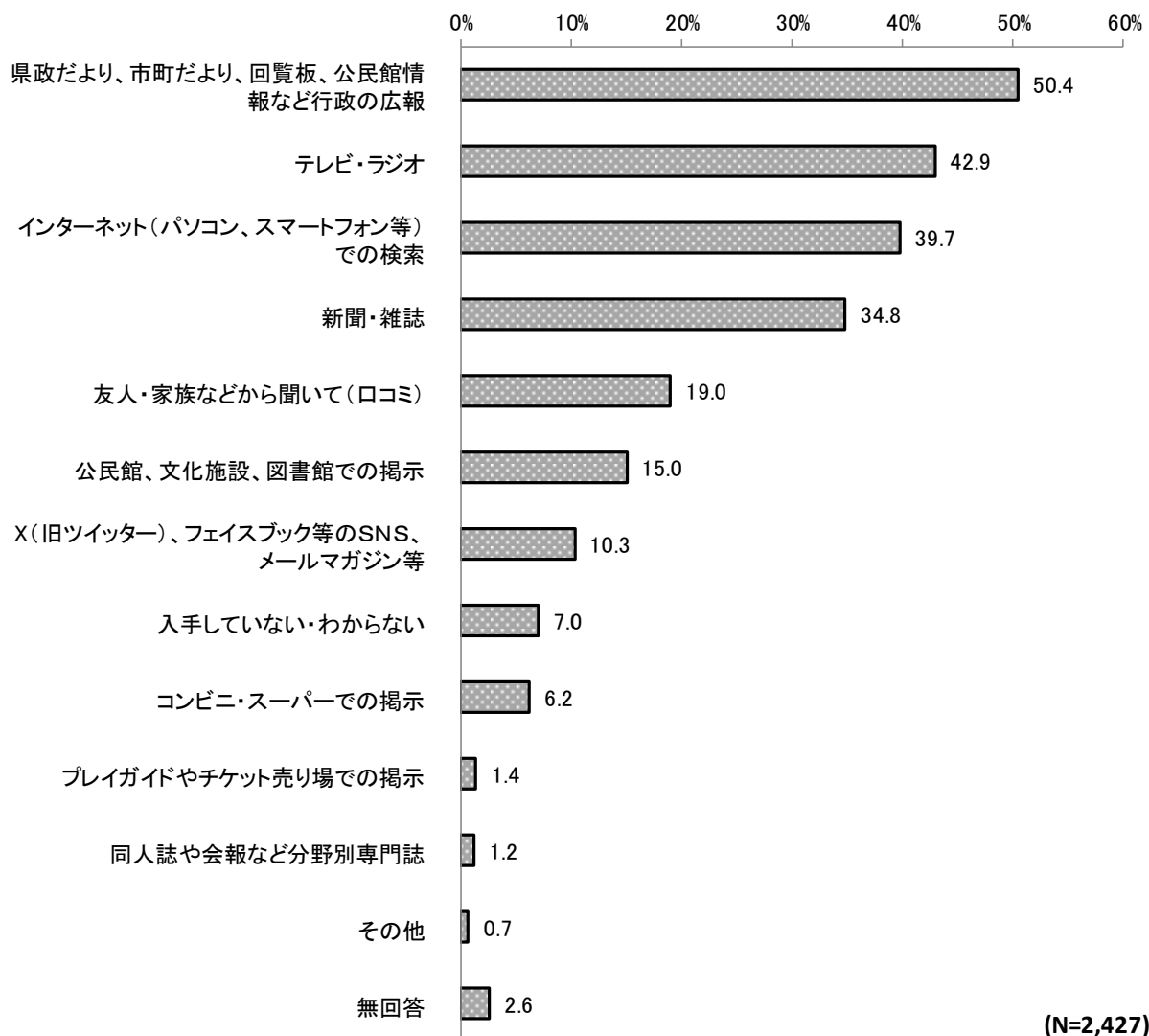
年齢別にみると、70歳以上を除き全ての年代で「どちらかといえばそう思う」が最も多く、40～49歳では5割を超えている。一方、70歳以上では「そう思う」が45.6%と最も多くなっている。また、全ての年代で『そう思う』の割合が8割以上となっている。



地域別にみると、北勢地域、中南勢地域および伊賀地域では「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっている。一方、伊勢志摩地域と東紀州地域では「そう思う」が最も多くなっている。
 また、全ての地域で『そう思う』の割合が8割以上となっている。

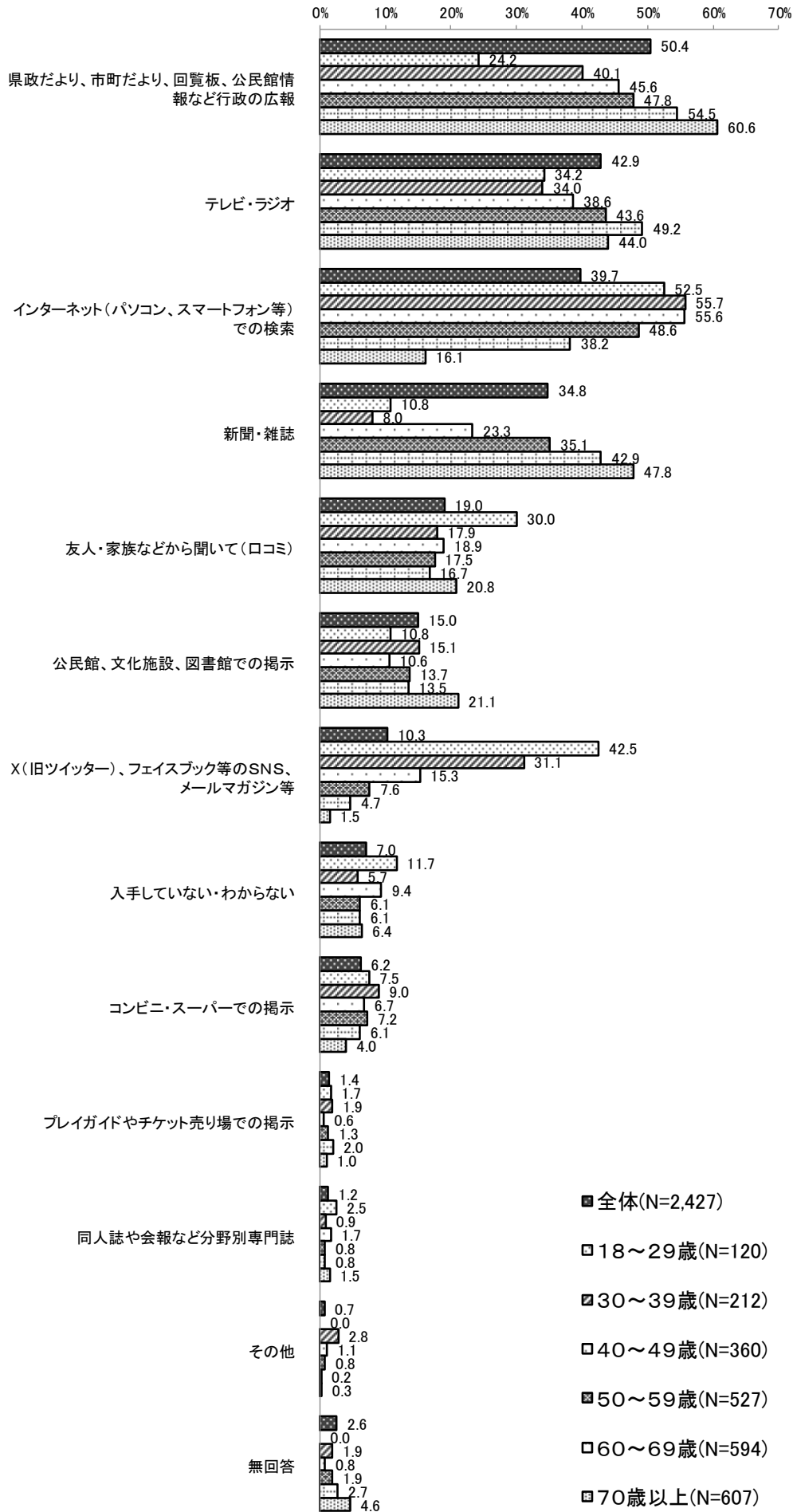
(6) 文化・芸術に関する情報の入手について

問20 あなたは、文化・芸術の鑑賞や活動への参加に関する情報をどのようなものから入手していますか。(〇は3つまで)



文化・芸術の鑑賞や活動への参加に関する情報をどのようなものから入手しているかでは、「県政だより、市町だより、回覧板、公民館情報など行政の広報」が50.4%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」が42.9%、「インターネット(パソコン、スマートフォン等)での検索」が39.7%となっている。

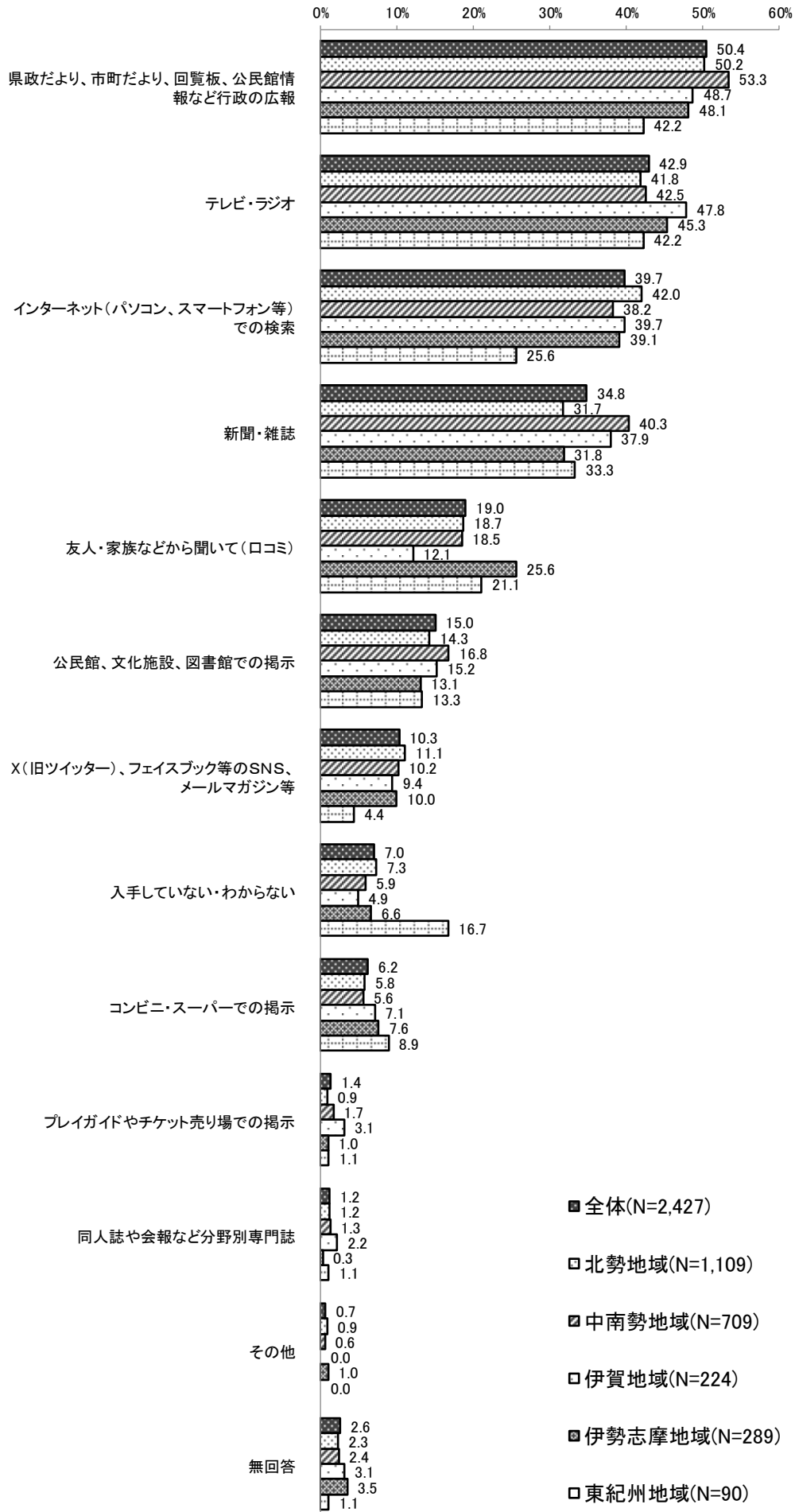
<年齢別>



年齢別にみると、59歳以下では「インターネットでの検索」が最も多く、60歳以上では「県政だより、市町だより、回覧板、公民館情報など行政の広報」が最も多くなっている。

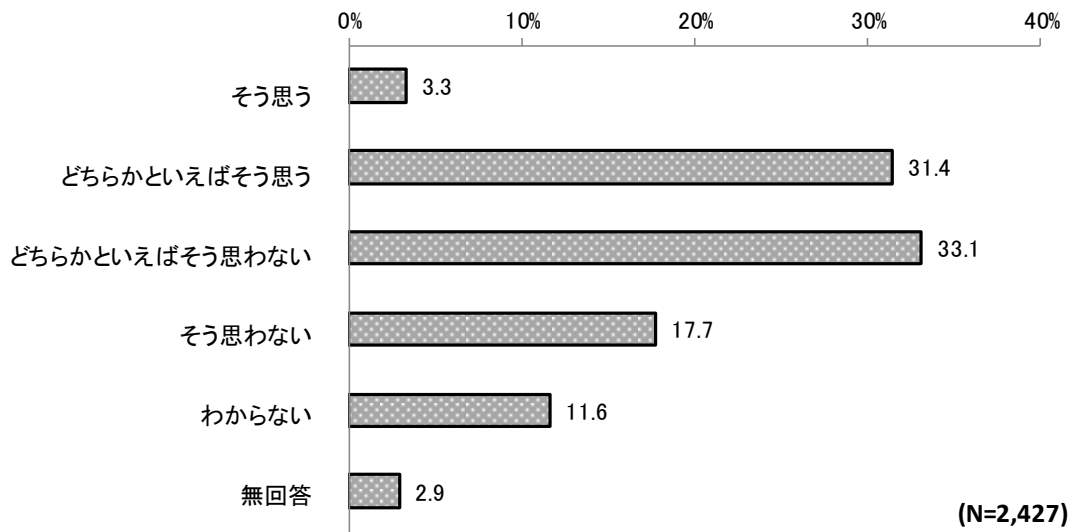
また、18～29歳では「X(旧ツイッター)、フェイスブック等のSNS、メールマガジン等」が42.5%と他の年代に比べ多くなっている。

<地域別>



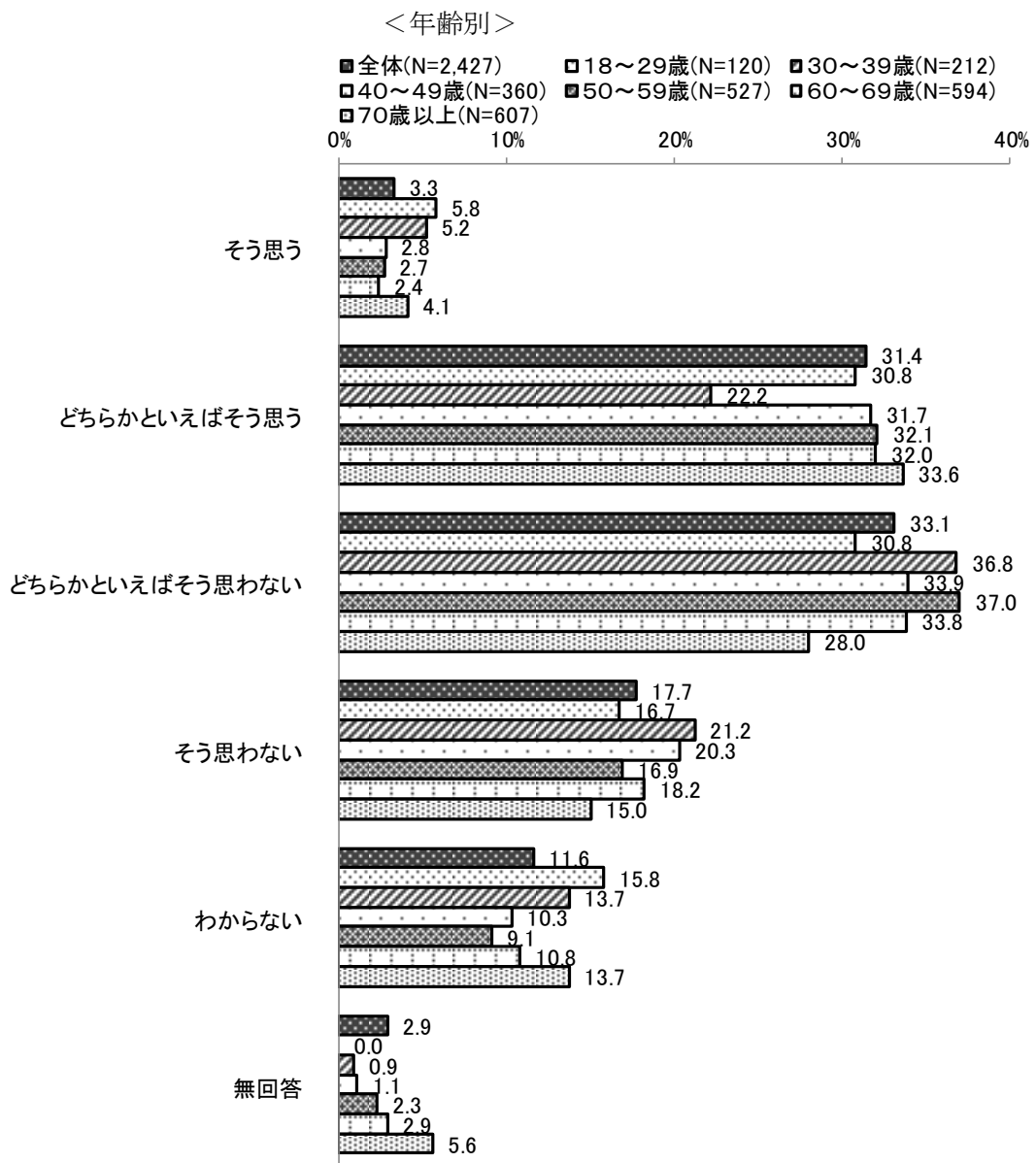
地域別にみると、東紀州地域以外の全ての地域で「県政だより、市町だより、回覧板、公民館情報など行政の広報」が最も多く、東紀州地域では「テレビ・ラジオ」も同率で最も多くなっている。

問21 あなたは、必要な文化・芸術の鑑賞や活動への参加に関する情報を十分に入手できていると思いますか。(○は1つ)



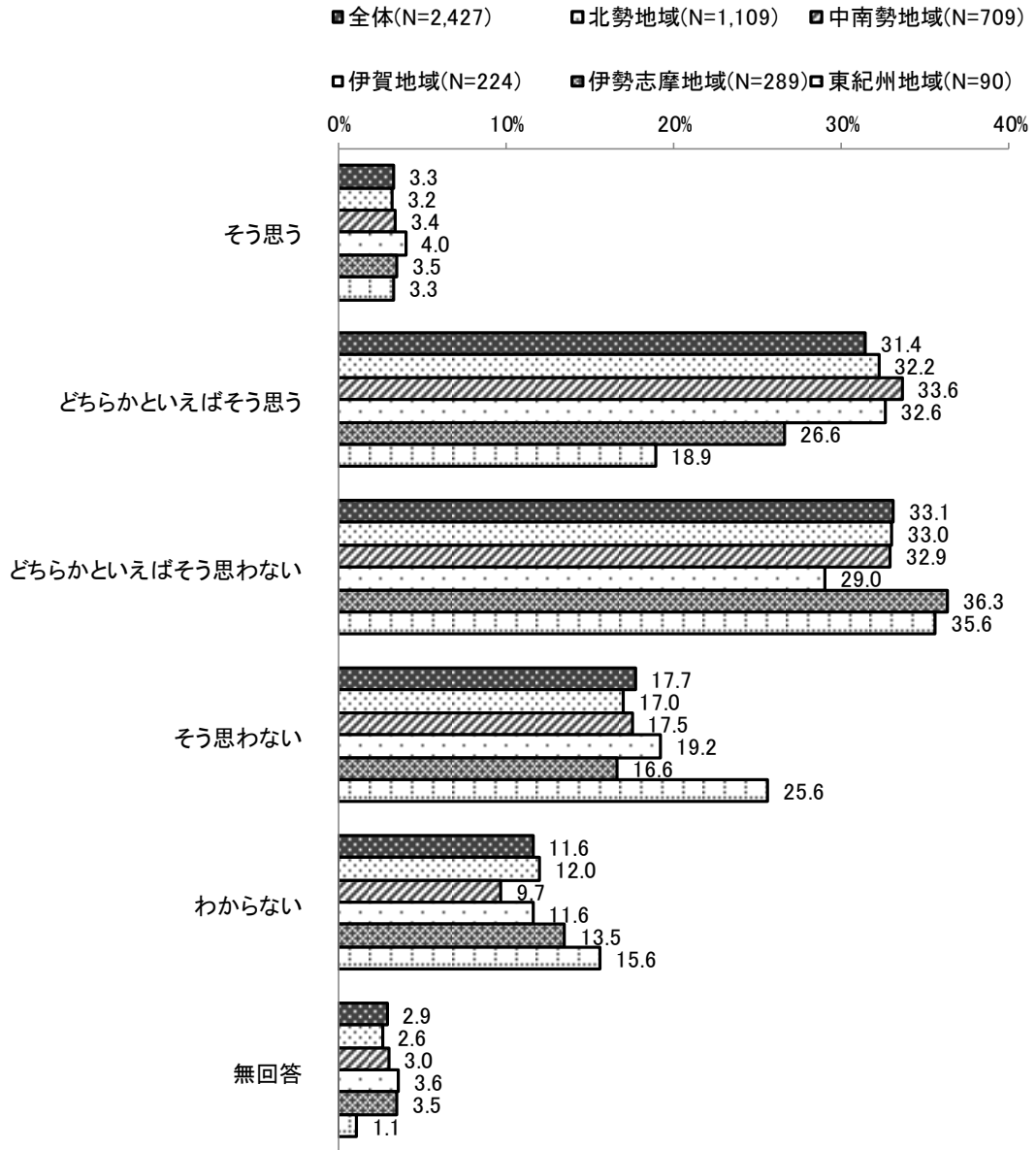
必要な文化・芸術の鑑賞や活動への参加に関する情報を十分に入手できていると思うかでは、「どちらかといえばそう思わない」が33.1%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.4%、「そう思わない」が17.7%となっている。

また、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合は5割以上となっている。



年齢別にみると、69歳以下では「どちらかといえばそう思わない」が最も多く、18～29歳では「どちらかといえばそう思う」も同率で最も多くなっている。また、70歳以上では「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっている。

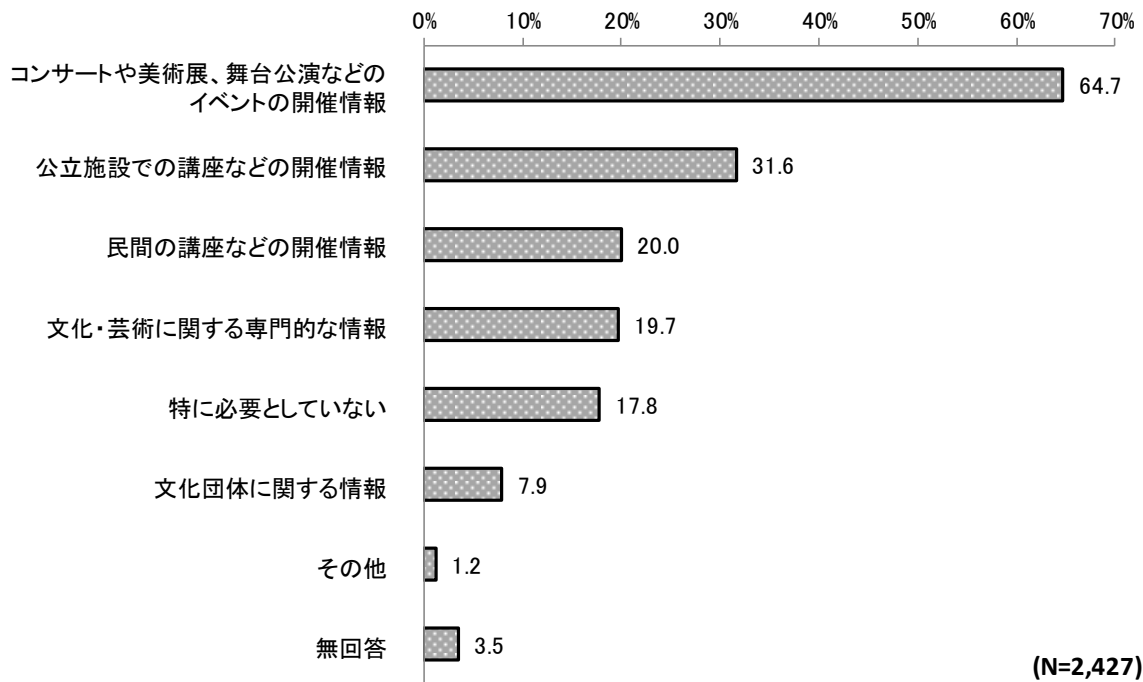
<地域別>



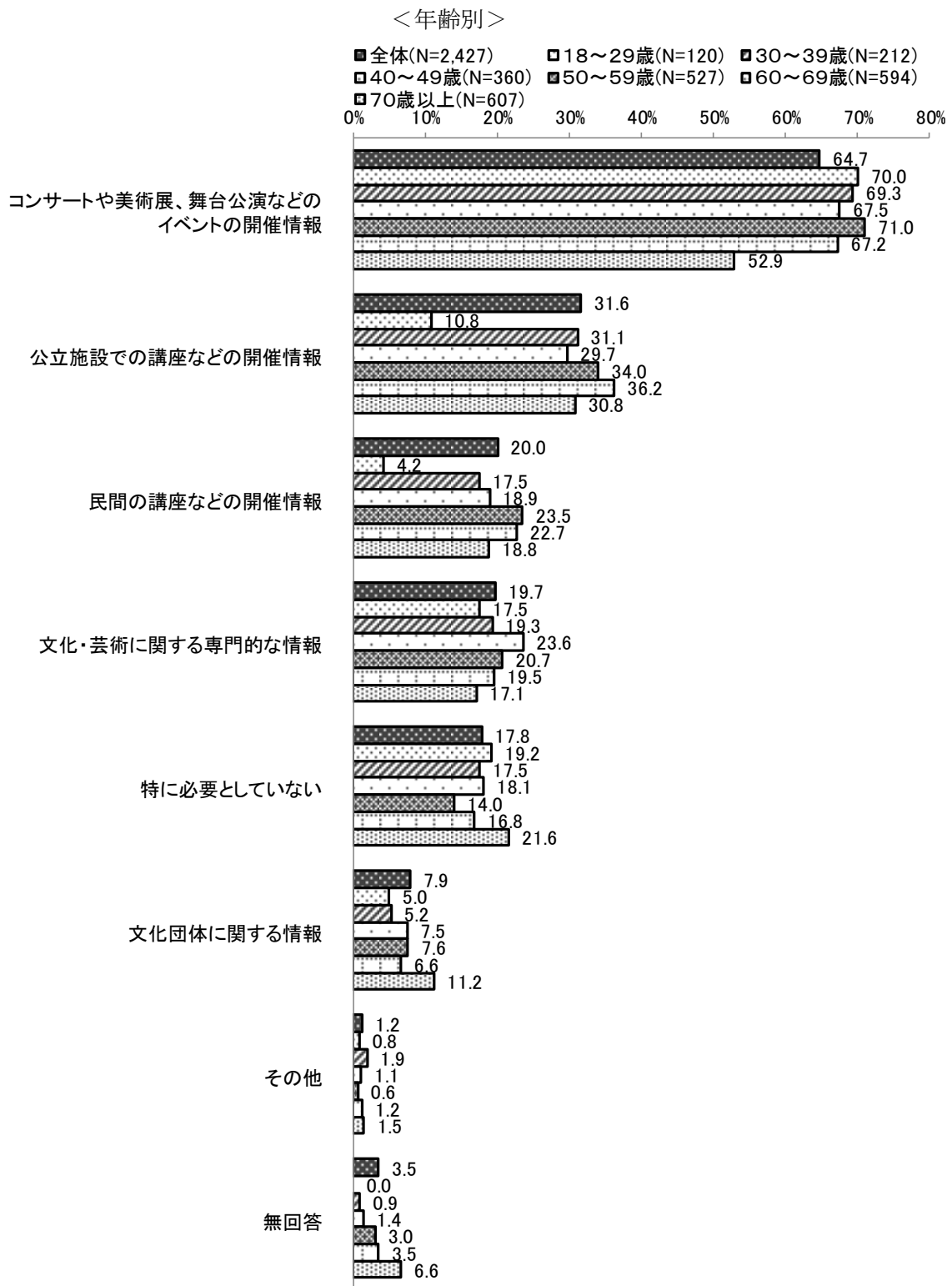
地域別にみると、北勢地域、伊勢志摩地域および東紀州地域では「どちらかといえばそう思わない」が最も多く、中南勢地域および伊賀地域では「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっている。

また、東紀州地域では『そう思わない』の割合が6割を超えている。

問22 あなたが必要としている文化・芸術に関する情報はどのようなものですか。
(〇はいくつでも)



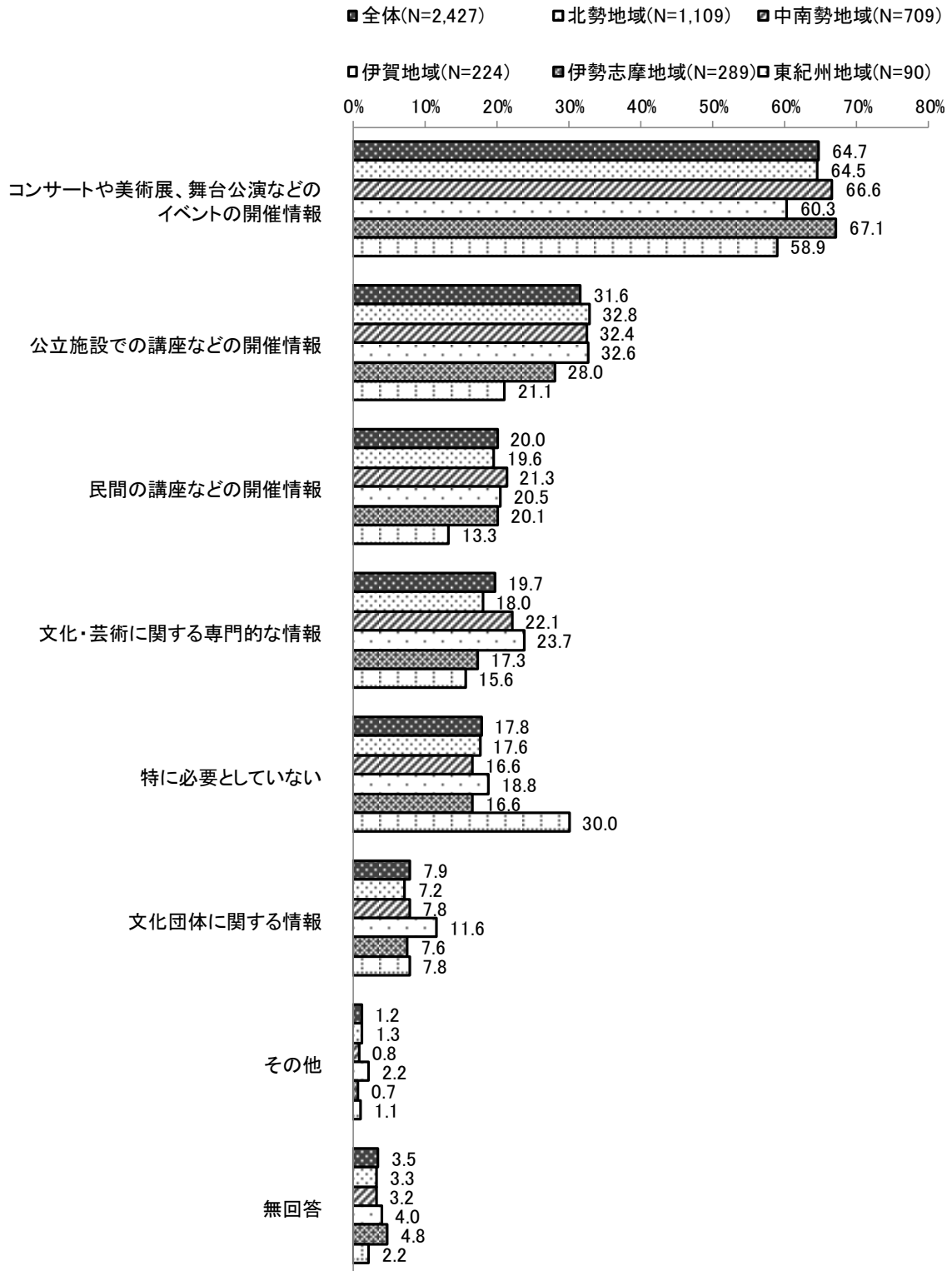
必要としている文化・芸術に関する情報はどのようなものかでは、「コンサートや美術展、舞台公演などのイベントの開催情報」が64.7%と最も多く、次いで「公立施設での講座などの開催情報」が31.6%、「民間の講座などの開催情報」が20.0%となっている。



年齢別にみると、全ての年代で「コンサートや美術展、舞台公演などのイベントの開催情報」が最も多く、5～7割台となっている。

また、18～29歳では「公立施設での講座などの開催情報」および「民間の講座などの開催情報」が他の年代に比べ少なくなっている。

<地域別>

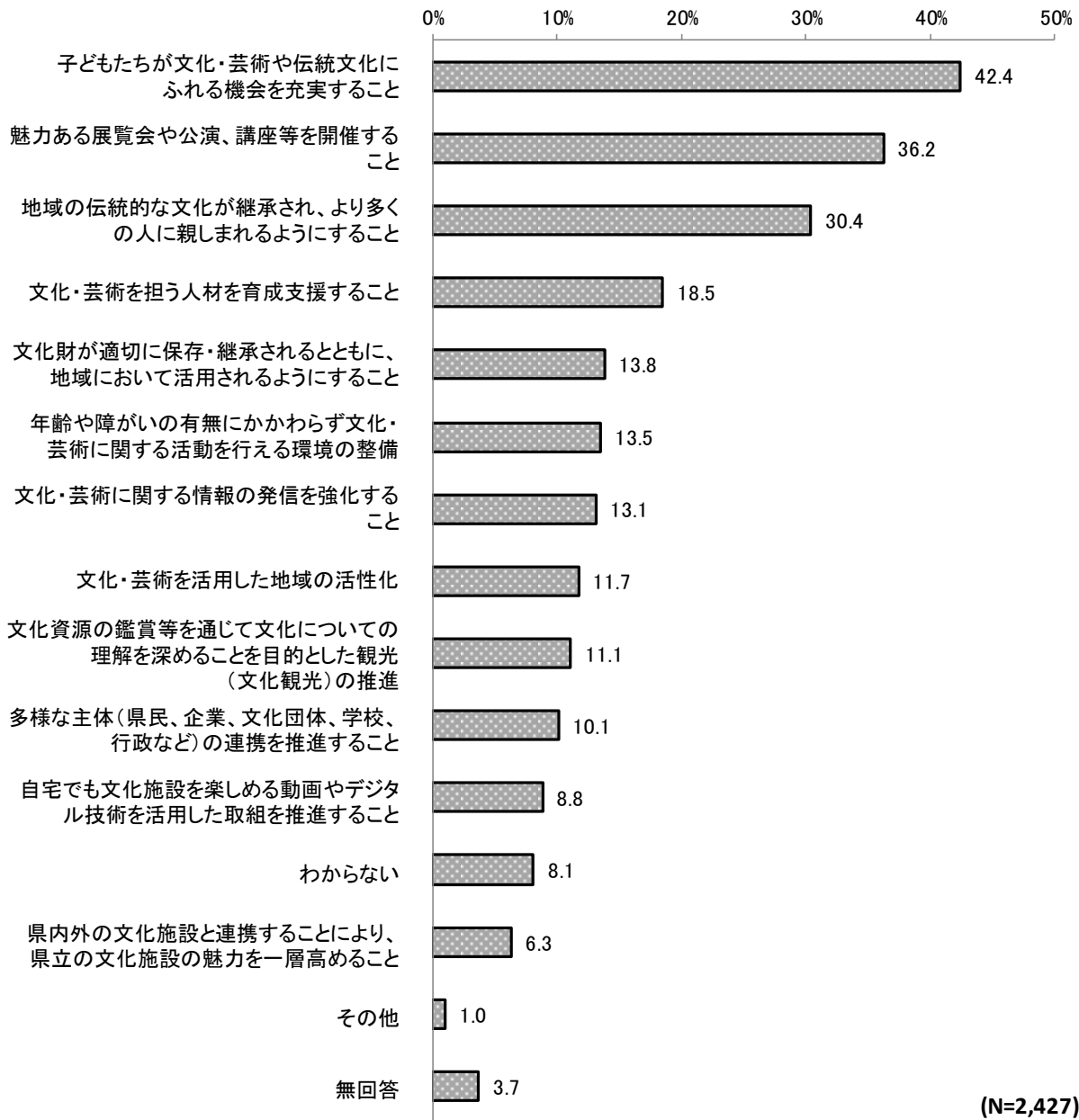


地域別にみると、全ての地域で「コンサートや美術展、舞台公演などのイベントの開催情報」が最も多く、5～6割台となっている。

また、東紀州地域では「特に必要としていない」が30.0%と他の地域に比べ10ポイント以上多くなっている。

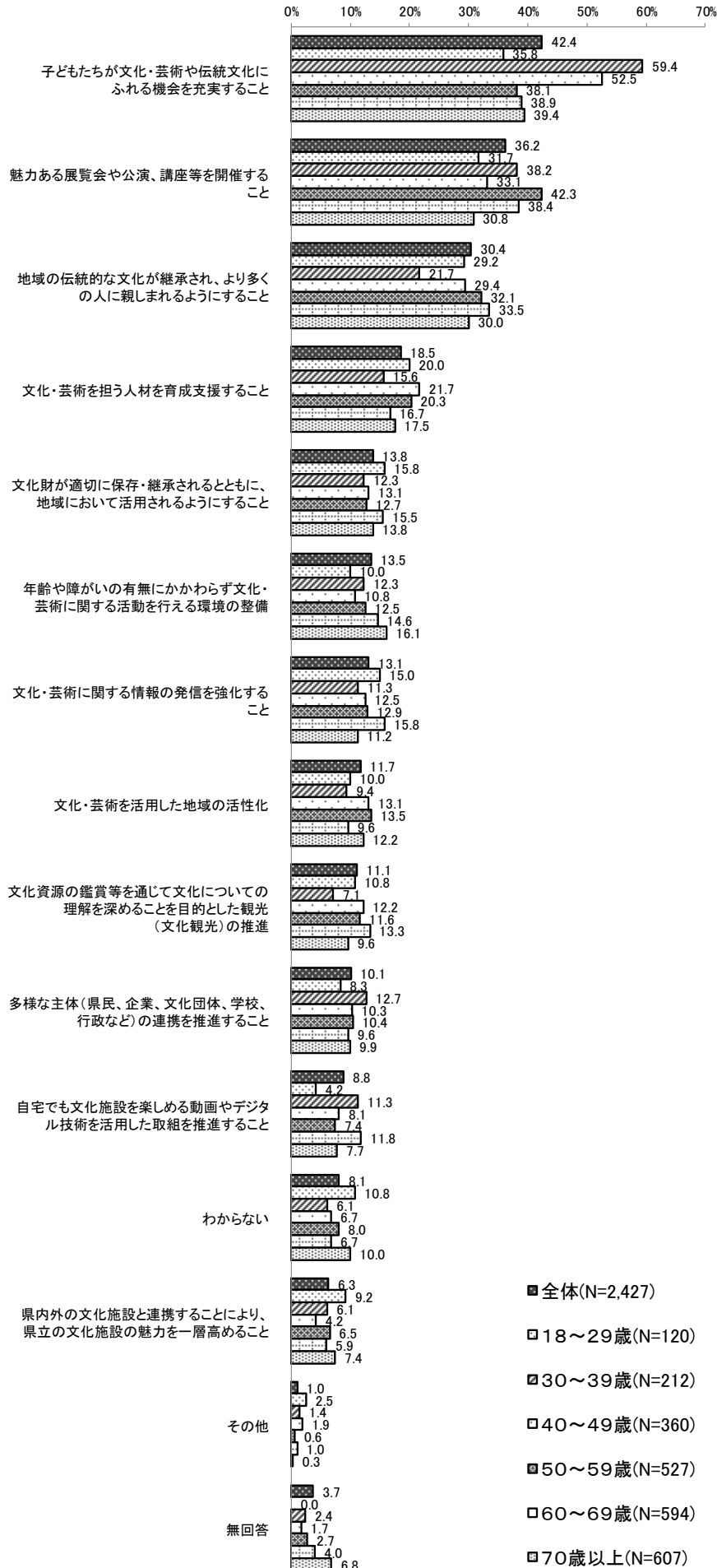
(7) 今後の県の文化行政のあり方について

問23 県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)



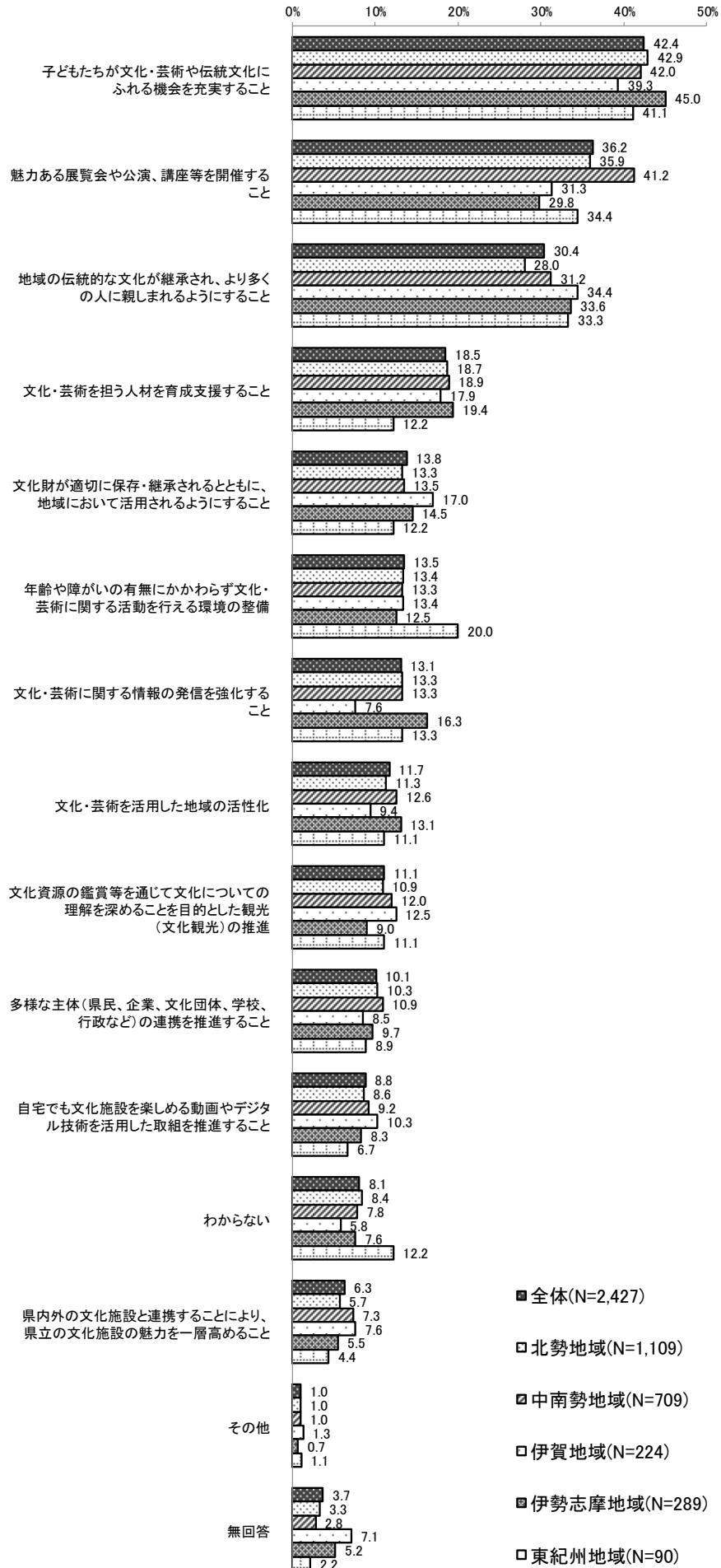
県は今後どのような文化振興策に力を入れるべきかでは、「子どもたちが文化・芸術や伝統文化にふれる機会を充実すること」が42.4%と最も多く、次いで「魅力ある展覧会や公演、講座等を開催すること」が36.2%、「地域の伝統的な文化が継承され、より多くの人に親しまれるようにすること」が30.4%となっている。

<年齢別>



年齢別にみると、50～59 歳を除く全ての年代で「子どもたちが文化・芸術や伝統文化にふれる機会を充実すること」が最も多くなっている。一方、50～59 歳では「魅力ある展览会や公演、講座等を開催すること」が4割台と最も多くなっている。

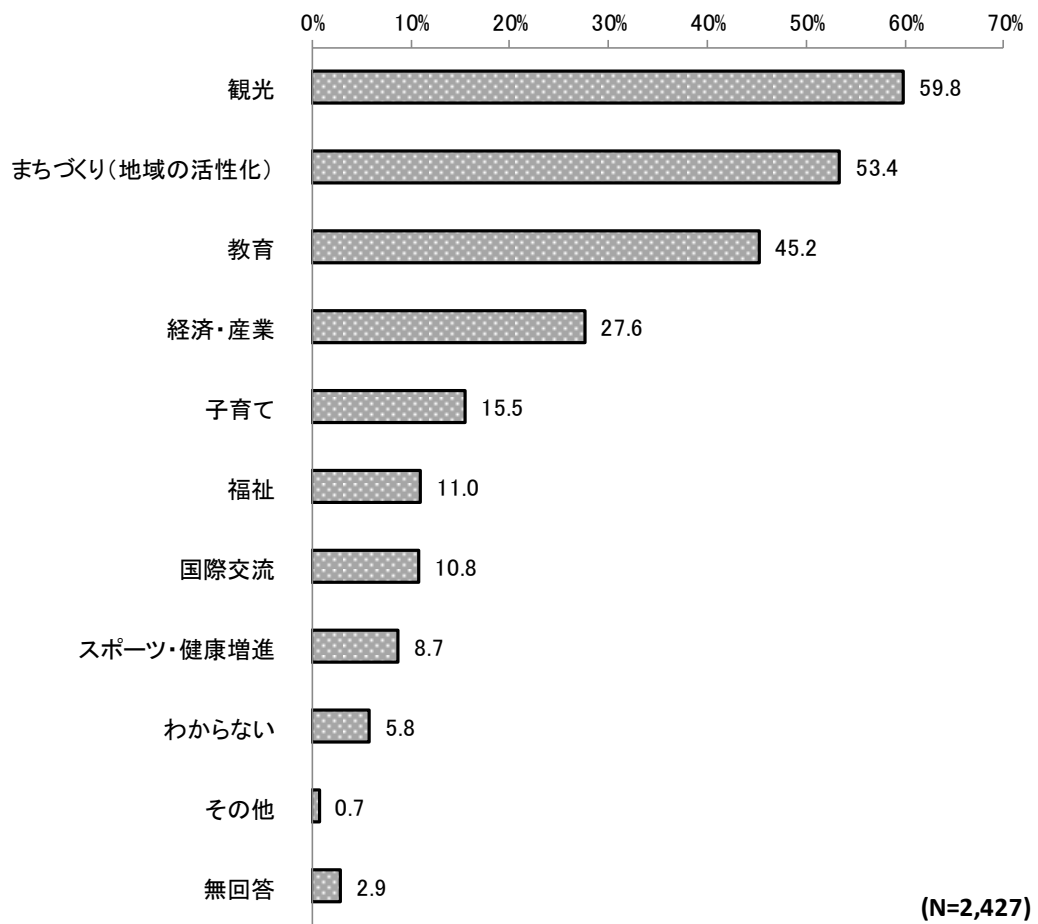
<地域別>



地域別にみると、全ての地域で「子どもたちが文化・芸術や伝統文化にふれる機会を充実すること」が最も多くなっている。

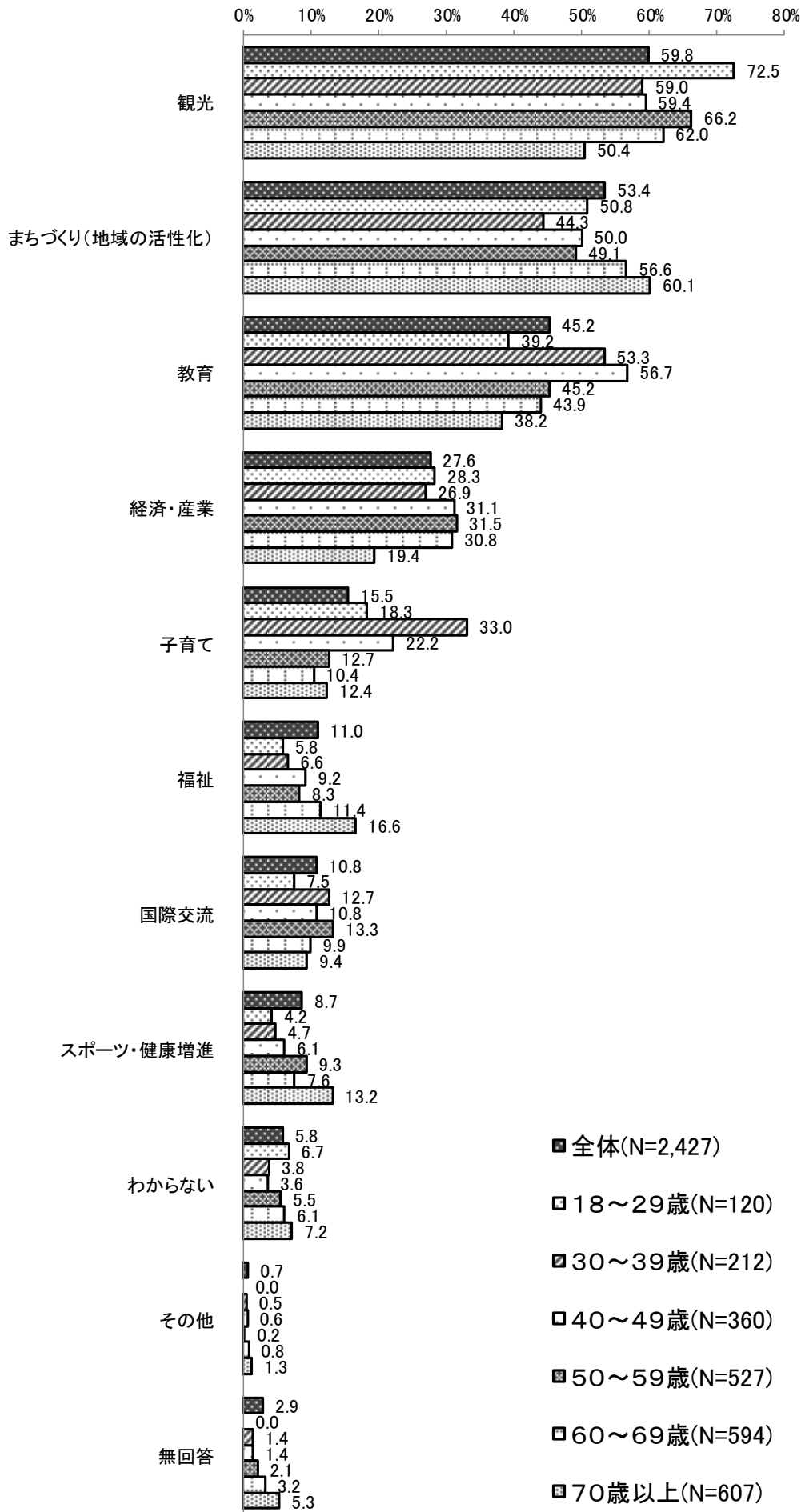
また、中南勢地域では「魅力ある展覧会や公演、講座等を開催すること」が41.2%と他の地域に比べ多くなっている。

問24 あなたは、文化・芸術をどのような分野に生かしたら良いと思いますか。(〇は3つまで)



文化・芸術をどのような分野に生かしたら良いかでは、「観光」が 59.8%と最も多く、次いで「まちづくり(地域の活性化)」が 53.4%、「教育」が 45.2%となっている。

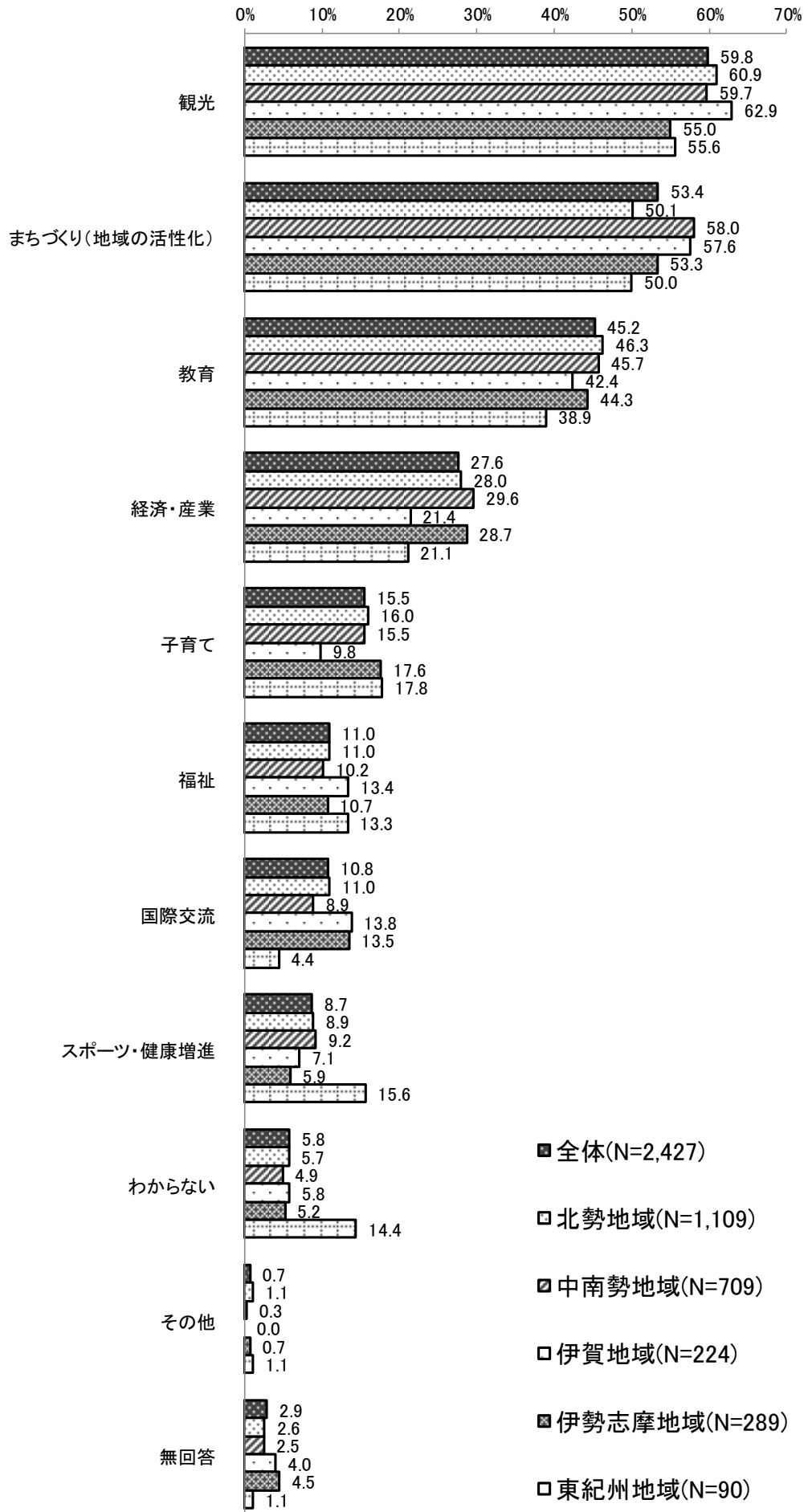
<年齢別>



年齢別にみると、69歳以下では「観光」が最も多く、特に18～29歳では7割を超えている。一方、70歳以上では「まちづくり（地域の活性化）」が最も多く6割以上となっている。但し、上位3項目は全ての年代で「観光」、「まちづくり（地域の活性化）」および「教育」となっている。

また、30～49歳の年代では「教育」および「子育て」が他の地域に比べ多くなっている。

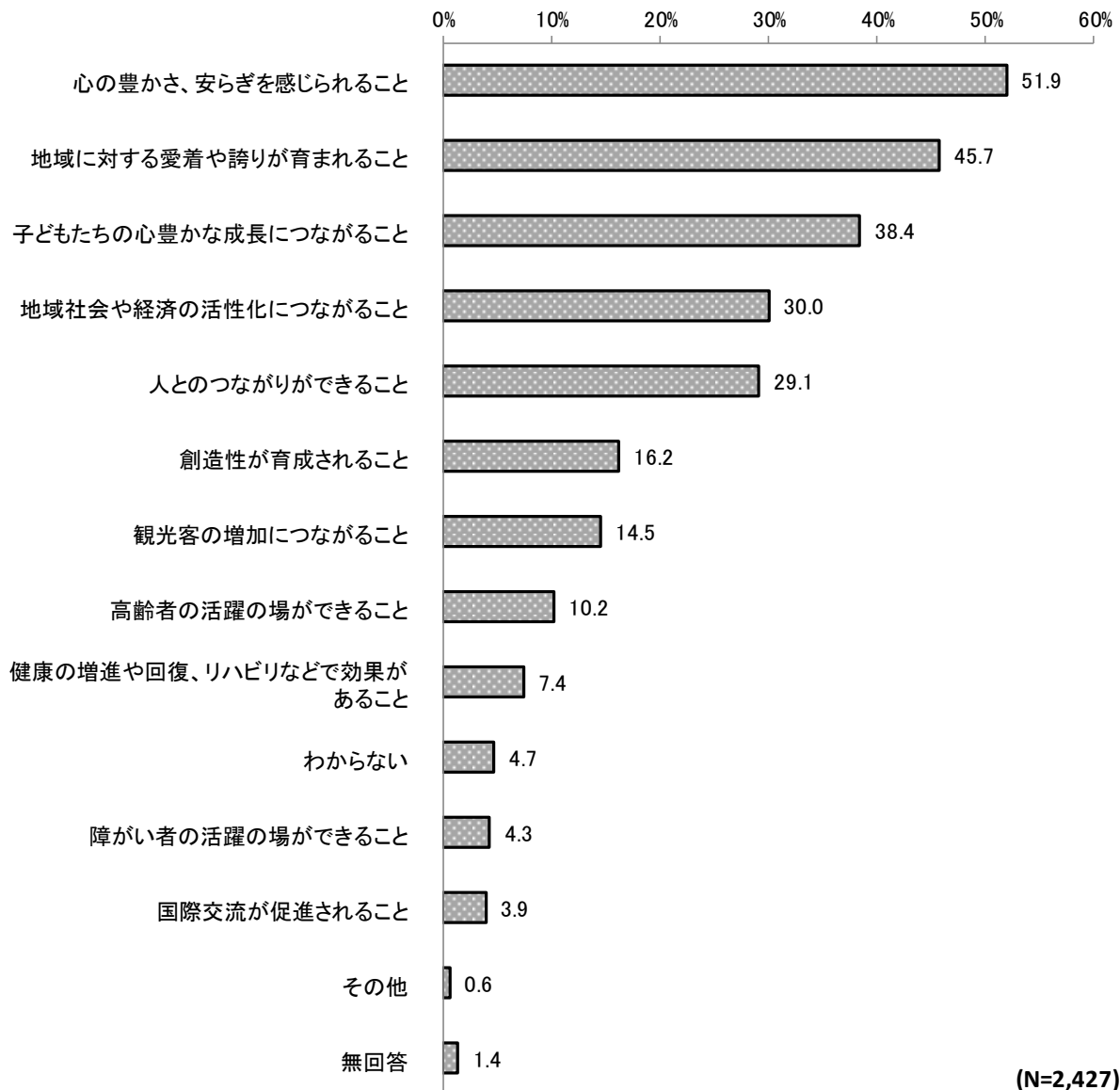
<地域別>



地域別にみると、全ての地域の上位 3 項目が同一で「観光」が最も多く、次いで「まちづくり（地域の活性化）」、「教育」となっている。

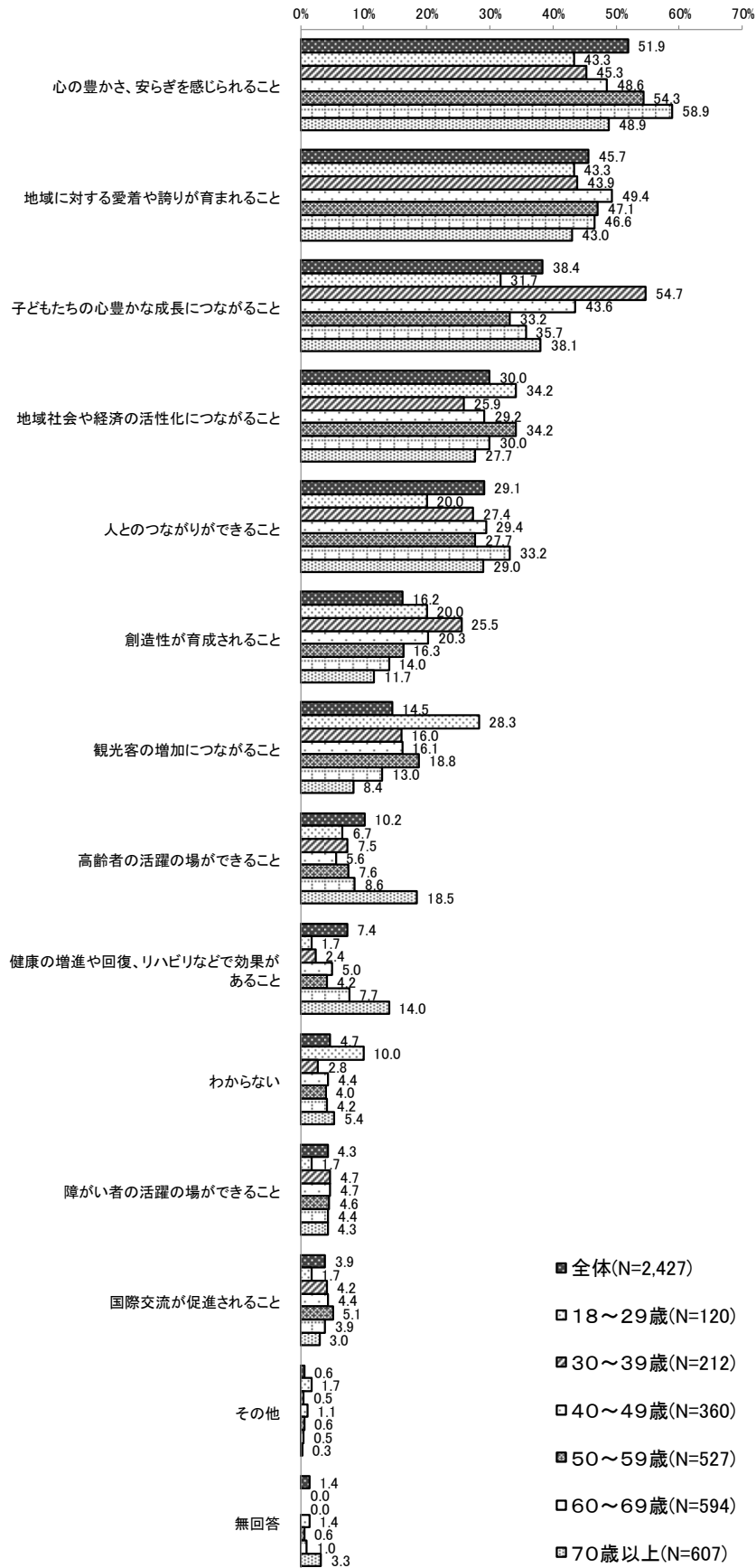
また、東紀州地域では「スポーツ・健康増進」が他の地域に比べ多くなっている。

問25 文化の振興が図られることによりもたらされる効果として、あなたが期待するものは次のうちどれですか。(〇は3つまで)



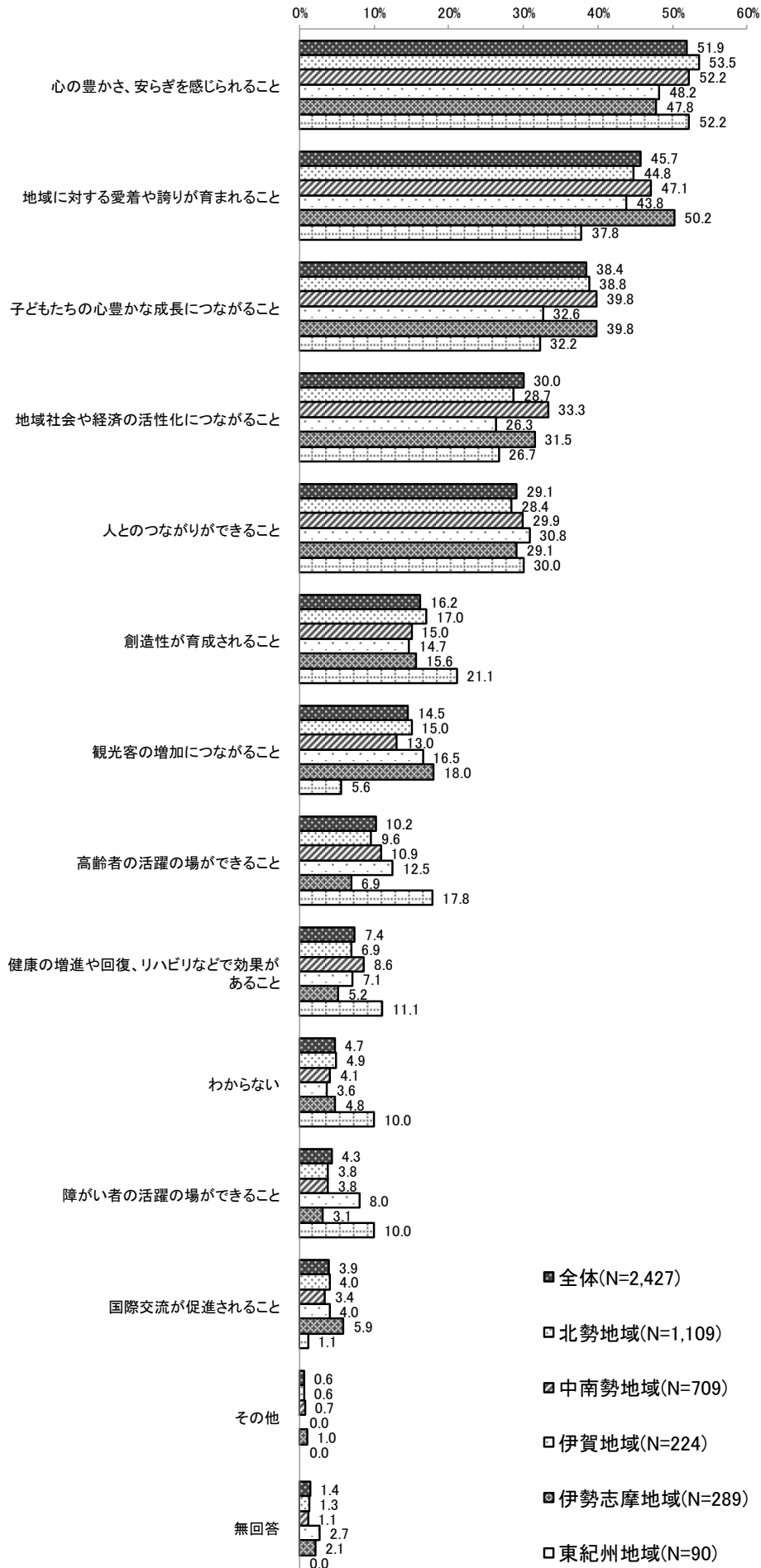
文化の振興が図られることによりもたらされる効果として、期待するものでは、「心の豊かさ、安らぎを感じられること」が51.9%と最も多く、次いで「地域に対する愛着や誇りが育まれること」が45.7%、「子どもたちの心豊かな成長につながる」が38.4%となっている。

<年齢別>



年齢別にみると、18～29 歳および 50 歳以上の年代では「心の豊かさ、安らぎを感じられること」が最も多く、18～29 歳では「地域に対する愛着や誇りが育まれること」も同率で最も多くなっている。また、30～39 歳では「子どもたちの心豊かな成長につながること」、40～49 歳では「地域に対する愛着や誇りが育まれること」が最も多くなっている。

<地域別>



地域別にみると、伊勢志摩地域を除く全ての地域で「心の豊かさ、安らぎを感じられること」が最も多く、次いで「地域に対する愛着や誇りが育まれること」、「子どもたちの心豊かな成長につながること」となっている。一方、伊勢志摩地域では「地域に対する愛着や誇りが育まれること」が最も多く、5割台となっている。

(8) その他

問26 本県の文化の振興について、ご意見があれば、自由に記入してください。

※当該設問には 376 件の意見が寄せられたが、紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないため、以下に意見の一部を抜粋して記載する。

<文化政策全般について>

- どの地域に住んでいても、等しく情報が受け取れたり、体験できたり、活動できるようにしてもらえたらと思います。
- これまでの三重県の文化行政に関しては全く評価できません。地域社会には様々な可能性を持った人的資源・物資資源があるのに全く活用できていません。行政の側に本当にやる気がないのであれば、このようなアンケートをしても無意味です。
- 文化振興に限らず、何事においても、東紀州地域は他の地域に比べ遅れをとっている印象強い。東紀州地域にももう少し注力していただけることを希望する。
- 三重県は地形によって自然に恵まれてはいますが、文化が結集することもなく、バラバラだと思います。文化行事も津でばかり行われ、北部や南部は、出かけるのも大変です。まん中ばかりに文化行事をしないで北部の拠点、南部の拠点を造り平等に考えて欲しいと思います。
- 高齢者や障害者、介護者など、ハンディのある方々にも、優しい取り組みも、今後とも、たくさんされていけるとさらに利用が高まると思う。
- 文化は大切との姿勢を貫く県でいてほしいです。
- 地域の文化、芸術を子ども達に体験させる場を増やして住んでいる地域に愛着、誇りを持ってもらいたいです。愛着、誇りは大人になった時に必ず心の支えになります。
- 県民がたくさん利用したり、盛り上がる機会がもっと増える活動を望みます。また県内の経済の活性化、観光客の増加につながるものになることを望みます。
- 三重県の文化について小中学生の教育から根づかせてほしいと思います。教科書では偉人の名前と功績はわかって背景にある苦労や失敗は伝わらず本当の努力が伝わってこない。地元の研究者たちから授業を受けるなど教育方法も検討してほしいと思います。
- 古いものも良いですし、守っていく必要があります。新しい文化も取り入れて三重県の活性化に繋がればよいなと思います。
- 人口減少、若年層減少の中、魅力的な県づくりになるようにお願いします。
- 都市で体感できる「文化」を三重県でも再現しようとしても、費用がかかり過ぎ、また対抗できないと思います。三重県ならではの独自性を活かした「文化」行政を期待致します。
- 文化財保護と、その人材育成に力をいれていただくことは、長期にわたることで、しかも目に見える成果の出にくいことではありますが、どうか息の長い政策を行ってください。
- 文化財をもっと観光産業に生かされると良いのになとずっと思っています。三重県には魅力的な文化財や食文化、祭りなどが多くある一方で、県外・海外での知名度はそう高くないように感じます。貴重な文化を残していくためにも、インターネットを用いた広報活動や、幅広い年齢層を呼び込める観光・体験施設作りを進めていくべきだと思います。

- 私を含め文化には興味がない若い人がほとんどで、観光として行ったとしても、食べ歩きがメインになっている。文化のみ振興するのは難しいかもしれないが、高齢者向けに客層を絞れば盛んになる可能性は十分に見込めます。若者向けならグルメを増やしてサブに文化を持ってくるしかない。

<文化施設について>

- 人口の多い北部に文化的な施設が多く南部には少ない印象が否めない。
- 県の施設、各市町村の施設共、会館使用料（ホール）が高く、発表の場が少なくなってしまう。会館等は、量は適量であるが、使用料を安価に願います。
- 生活を豊かにするために、バリアフリーなどの施設と交通機関の充実が、必要である。また、子供の頃から文化に親しめる環境を作る。
- 北中勢と東紀州地域との施設格差、ひいては文化格差を無くしていただきたい。
- 車に乗れないので活動場所への往復がとても大変です。音楽の場合楽器の重さで雨の日は参加出来ません。まわりに迷惑を掛けずに楽しみたいのですが・・・今はお休みしています。高齢者の参加できる楽しい場所が近くに出来ればと思います。
- 県立の博物館や美術館が津市に集中しており、子ども達が気軽に芸術作品を見られる環境にないと感じるので、津市以外にも文化的な施設をつくってほしい。歌舞伎などの伝統芸能に触れる機会を子どもたちにつくってあげてほしい。美術館でも、三重県にゆかりのある人物だけでなく、著名な芸術家や有名な美術品の展覧会などを招へいしてほしい。
- 文化活動を普段行っていますが、それを練習するための施設、また交流する機会が少ないと感じます。文化活動をもっと地域の魅力として伝え、活躍の場を広げることで文化活動がより盛んになると思います。今後の県の文化に対する政策に期待しています。

<情報発信について>

- 三重県には伝統的な文化も沢山残っているのもっともっとアピールして欲しいです。
- もっとインターネットをつかった情報発信をしてほしい。
- イベントの開催情報が入手しにくい様な気がします。もし情報が分かるSNSなどがあれば良いのではないのでしょうか？施設に足を運ぶ機会が増える事で新たなものに興味がわき、心に豊かさが感じられるのではないのでしょうか？
- コロナウイルス感染がおさまりつつある中で活動するのに必要な情報が少なくて動きにくい。
- ツイッターやインスタなど、SNSの活用を推進して若者達にもっと、三重県の文化行政を知ってもらう事で国内や外国の観光客も増え、県の活性化が図れると思います。

<文化活動・文化鑑賞について>

- 県有施設以外でも美術展などを開催してほしい。すでに有名な画家だけでなく、今から有名になっていくような人を取り上げたりなどはできないのか。
- 今の文化や歴史は大人向けのものが多すぎる。子供たちはむずかしすぎてあきるものばかり。保育園児でもわかるくらいもっとやわらかくふんわりした事から取り組めば、おのずと興味がある子供は深く知りたいと思うはずです。

- 皆が平等に、男女関係なく、年齢関係なく、参加できるイベントを期待しています。
- 都会では多様で質の高い文化芸術に触れられる機会がたくさんありますが、三重県では披露する施設はあるのにあまり活用されていないと思うので、たくさん誘致して欲しい。
- 文化活動を普段行っていますが、それを練習するための施設、また交流する機会が少ないと感じます。文化活動をもっと地域の魅力として伝え、活躍の場を広げることで文化活動がより盛んになると思います。今後の県の文化に対する政策に期待しています。
- 子どもたちに体験できる場の提供をしてほしいです。学校で伝統工芸の体験、演劇やミュージカルの指導など様々なイベントをして欲しいです。大人になるまでの体験は、子どもたちの視野を広げ、将来を豊かにしてくれると思います。

<その他>

- 昨年県外から引っ越してきたので三重県の文化について深く知っている訳ではありませんが、三重県には沢山の文化や交流がありとても素晴らしいと思います。
- 文化、芸術の事はよくわからない。

Ⅲ 調査票

今後の文化行政のあり方に関する県民意識調査

・・・・・・・・ 調査ご協力のお願い ・・・・・・・・

日頃から、三重県政に対しましてご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、県民の皆さんが「文化」について、どのような意識をお持ちになり、活動を行ってられるかなどについて広くお伺いし、今後の文化行政を進めていくうえでの大切な基礎資料とするため、アンケート調査を実施することとしました。

このアンケート調査は、県内市町の選挙人名簿から無作為に抽出させていただいた18歳以上の5,000人の県民の皆さんを対象に実施するものです。

ご回答は無記名でお願いするとともに、お答えいただいたアンケートの内容はすべて統計的に処理いたしますので、あなた個人のお名前やご意見が特定されることはありません。また、ご回答いただいた内容は、調査の目的以外には使用いたしません。

大変お忙しいところ恐れ入りますが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

令和5年10月

三重県環境生活部文化振興課

<ご回答にあたってのお願い>

ご記入いただきました調査票は、**令和5年10月27日（金）**までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご返送ください。（調査票及び返信用封筒に、お名前やご住所は記入不要です。）

なお、本調査は、パソコン・タブレット・スマートフォンでのオンライン回答も可能となっております。

詳細は、裏面の「アンケート回答方法」をご確認ください。

※裏面をご確認ください

＜アンケート回答方法＞


次の2つの方法からいずれか一つをお選びいただきご回答ください。

1 調査票（この冊子）で回答

- ① 調査票は、封筒あて名のご本人がご回答いただきますようお願いいたします。
（ご本人様が長期不在などでお答えできないご事情がある場合には、ご本人様に代わって、ご家族の方などがご自身の立場でご回答いただいてもかまいません。）
- ② 回答は、えんぴつ、ボールペンなどでご記入ください。
- ③ 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。○をつける数については「1つだけ」、「3つまで」などの案内に従ってください。
- ④ 一部の方だけに回答をお願いしている設問があります。その場合は説明文に従ってご回答ください。
- ⑤ ご記入いただきました調査票は、令和5年10月27日（金）までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご返送ください。（調査票及び返信用封筒に、お名前やご住所は記入不要です。）

2 パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答

- ① パソコン・タブレット・スマートフォンで下記 URL または 二次元コードへアクセスし、ログインID、パスワードを入力しご回答ください。

ログインID	
ログインパスワード	
オンライン回答 URL	オンライン回答二次元コード
https://tsrsurvey.jp/mie_bunka	

- ② 令和5年10月27日（金）までに、ご回答ください。
- ③ オンラインでご回答いただきましたら、調査票（この冊子）の返送は不要です。重複して回答されないようご注意ください。

このアンケート調査に関するご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

三重県環境生活部文化振興課（文化企画班）

TEL：059 - 224 - 2176（直通）

FAX：059 - 224 - 2408

e-mail：bunka@pref.mie.lg.jp

あなた自身についてお尋ねします

問1 あなたの満年齢は次のうちどれですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 | 4. 50～59歳 |
| 5. 60～69歳 | 6. 70歳以上 | | |

問2 あなたの主なご職業は次のうちどれですか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 農林水産業（家族従業者も含みます） | 2. 自営業、自由業（家族従業者も含みます） |
| 3. 企業、役所、団体などの正規職員 | 4. パート、アルバイト、派遣社員など |
| 5. その他、収入のある仕事 | 6. 学生（アルバイト等をしている方も含みます） |
| 7. 専業主婦、専業主夫 | 8. 無職 |

問3 あなたが住んでいる地域は次のうちのどの地域ですか。(〇は1つ)

- | |
|---|
| 1. 北勢地域（桑名市、いなべ市、四日市市、鈴鹿市、亀山市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町） |
| 2. 中南勢地域（津市、松阪市、多気町、明和町、大台町） |
| 3. 伊賀地域（伊賀市、名張市） |
| 4. 伊勢志摩地域（伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町） |
| 5. 東紀州地域（尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町） |

文化についての意識や活動についてお尋ねします

問4 あなたは、「文化」という言葉を聞いて、まず、何を思い浮かべますか。

次のうち、思い浮かべたものに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 美術、音楽、文学、演劇などの芸術 | 2. 茶道、華道、書道などの生活文化 |
| 3. 伝統的な芸能、祭り、行事 | 4. 文化財などの歴史的な資産 |
| 5. 地域独特の言葉遣いや衣服、食べ物、習慣など | 6. 高度な科学や技術 |
| 7. 豊かな教養や知識 | |
| 8. その他（具体的に： _____） | |
| 9. 何も思い浮かばなかった | |

問5～問12では文化・芸術(芸術、生活文化、伝統的な芸能、祭り、文化財等)について、「文化・芸術の鑑賞」と「文化・芸術に関する活動」の2つに分類して質問します。

この意識調査では、2つの意味を以下のとおりとします。

「文化・芸術の鑑賞」・・・文化・芸術作品などを観たり聴いたりして、その良さを味わうこと。

「文化・芸術に関する活動」・・・文化・芸術などに関して、主体的に創作、体験、発表、学習などの活動すること。(ボランティアとして活動することも含みます。)

問5 あなたが日常生活で文化・芸術にふれ親しむ方法として、最も近いものは次のうちどれですか。(〇は1つ)

1. 主に文化・芸術の鑑賞を行っている
2. 主に文化・芸術に関する活動を行っている
3. 文化・芸術の鑑賞、文化・芸術に関する活動のどちらも行っている
4. 文化・芸術の鑑賞、文化・芸術に関する活動のどちらも行っていない
5. わからない

問6 あなたは、日常生活の中で、文化・芸術を鑑賞したり、文化・芸術に関する活動を行ったりすることについて、どのように思いますか。(〇は1つ)

1. 非常に大切
2. ある程度大切
3. あまり大切でない
4. 全く大切でない
5. わからない

問7 昨年1年間にホールや劇場、美術館や博物館などで、直接鑑賞された文化・芸術はありますか。(〇は1つ)

1. 鑑賞した
2. 鑑賞していない

問8 問7で「1. 鑑賞した」と回答された方に伺います。直接鑑賞された文化・芸術の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

1. クラシック音楽(オーケストラ、合唱、吹奏楽 など)
2. ポピュラー音楽(ロック、ポップス、ジャズ など)
3. その他の音楽(長唄、箏曲など日本の伝統音楽、外国の民謡音楽 など)
4. メディア芸術(映画、アニメ、コンピューターグラフィック など)
5. 演劇(ミュージカル、人形劇 など)
6. 伝統芸能(歌舞伎、能、狂言 など)
7. 演芸等(落語、漫才、講談 など)
8. 美術(絵画、版画、彫刻、写真 など)
9. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊 など)
10. 文芸(短歌、俳句、詩 など)
11. 生活文化(茶道、華道、書道 など)
12. 地域の伝統的芸能や祭り
13. 文化財(建造物、遺跡 など)
14. その他(具体的に：)

問9 問7で「2. 鑑賞していない」と回答された方に伺います。その主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

1. 新型コロナウイルス感染症の影響
2. 時間的余裕がない、日程の都合がつかない
3. 文化・芸術に関する興味がない
4. 身近に鑑賞・観覧するところが少ない
5. 魅力的な催しが少ない
6. 必要な情報(内容、時間、場所、費用 など)がない
7. 費用がかかる
8. 一緒に鑑賞する仲間が見つからない
9. バリアフリーや高齢者・障がい者対応サービスが不十分
10. 小さな子どもを連れていける施設や催しが少ない
11. 趣味など他にしたい活動がある
12. その他(具体的に：)
13. 特にない・わからない

問10 昨年1年間に文化・芸術に関する活動を行いましたか。(〇は1つ)

※「文化・芸術に関する活動」・・・文化・芸術などに関して、主体的に創作、体験、発表、学習などの活動をする事。(ボランティアとして活動することも含みます。)

1. 活動した
2. 活動していない

問11 問10で「1. 活動した」と回答された方に伺います。どのような種類の活動を行いましたか。(〇はいくつでも)

1. クラシック音楽(オーケストラ、合唱、吹奏楽 など)
2. ポピュラー音楽(ロック、ポップス、ジャズ など)
3. その他の音楽(長唄、^{そうきょく}箏曲など日本の伝統音楽、外国の民謡音楽 など)
4. メディア芸術(映画、アニメ、コンピューターグラフィック など)
5. 演劇(ミュージカル、人形劇 など)
6. 伝統芸能(歌舞伎、能、狂言 など)
7. 演芸等(落語、漫才、講談 など)
8. 美術(絵画、版画、彫刻、写真 など)
9. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊 など)
10. 文芸(短歌、俳句、詩 など)
11. 生活文化(茶道、華道、書道 など)
12. 地域の伝統的芸能や祭り
13. 文化財(建造物、遺跡 など)
14. その他(具体的に：)

問12 問10で「2. 活動していない」と回答された方に伺います。その主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

1. 新型コロナウイルス感染症の影響
2. 時間的余裕がない、日程の都合がつかない
3. 文化・芸術に関する興味がない
4. 身近に活動する場所が少ない
5. 魅力的な活動内容がない
6. 必要な情報(内容、時間、場所、費用 など)がない
7. 費用がかかる
8. 一緒に活動する仲間が見つからない
9. 指導をしてくれる人が見つからない
10. 小さな子どもをつれていける活動が少ない
11. 趣味など他にしたい活動がある
12. その他(具体的に：)
13. 特にない・わからない

文化的環境についてお尋ねします

問13 あなたは、三重県の文化的な環境（例えば、文化・芸術を鑑賞する機会、文化・芸術に関する活動をする機会、文化施設の整備状況 など）に満足していますか。（○は1つ）

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば満足していない
4. 満足していない
5. わからない

問14 問13で「3. どちらかといえば満足していない」又は「4. 満足していない」と回答された方に伺います。その主な理由は何ですか。（○は3つまで）

1. 魅力的な催しや活動が少ない
2. 近くに文化施設がない
3. 文化施設の魅力が少ない
4. 文化・芸術に関する情報が少ない
5. 地域の伝統的な文化が十分に保存、継承、活用されていない
6. その他（具体的に：)
7. 特にない・わからない

問15 あなたは、三重県の文化的な環境を今よりも充実させるために、何が重要だと思いますか。（○は3つまで）

1. 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
2. 文化・芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実
3. 子どもたちが文化・芸術に親しむ機会の充実
4. 芸術家や文化団体の活動の支援
5. 著名な芸術家の招へい
6. 地域の芸能や祭りなどの継承・保存・活用
7. 郷土料理などの地域の食文化の継承・保存・活用
8. 歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進
9. 文化施設や文化事業において地域在住の芸術家による作品を積極的に活用
10. ワークショップなどを通じた地域在住の芸術家と直接接する機会の充実
11. ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実
12. 工芸、ファッション、メディアなど文化・芸術に関連する産業の振興
13. 三重県の文化の知名度やイメージの向上
14. 文化・芸術の担い手となる人材の育成
15. その他（具体的に：)
16. わからない

県立の文化施設についてお尋ねします

問16 次の県立の文化施設のうち、あなたがこれまでに行ったことのある施設を選んでください。
(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| 1. 三重県立図書館 | 2. 三重県総合博物館 (MieMu) |
| 3. 三重県立美術館 | 4. 斎宮歴史博物館 |
| 5. 三重県文化会館
(三重県総合文化センター内) | 6. 三重県生涯学習センター
(三重県総合文化センター内) |
| 7. 行ったことのある施設はない | |

問17 あなたが今後、県立の文化施設に期待することは何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|--|---|
| 1. 質の高い公演や展覧会等が鑑賞できる | |
| 2. 子どもたちや高齢者、障がい者向けの公演や展覧会等が鑑賞できる | |
| 3. 文化・芸術に関する活動の練習、準備、発表の場として使いやすい | |
| 4. 県民に創作や発表などの機会を提供する | |
| 5. 最先端技術を用いた各種アートやメディア芸術(映画、アニメなど)が鑑賞できる | |
| 6. 外国人向けのわかりやすい公演や展覧会が鑑賞できる | |
| 7. 文化・芸術に関する情報を提供する | |
| 8. まちづくり、教育、福祉等、文化・芸術以外の分野と協力した活動を行う | |
| 9. 県民が気軽に集まり交流を深めることのできる場所を提供する | |
| 10. 旅行者が観光で訪れるような場所である | |
| 11. その他(具体的に： |) |
| 12. 特にない・わからない | |

三重県の文化についてお尋ねします

問18 あなたが三重県の文化の特徴だと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

1. 伝統的な行事や祭り、伝統的工芸品などの文化を守り伝えている
2. 固有の歴史文化や古い建物、遺産などを保存・活用している
3. 本居宣長(国学者)、松尾芭蕉(俳人)、松浦武四郎(北海道の命名者)、御木本幸吉(真珠養殖)をはじめ、多くの偉人を輩出している
4. 多様で豊かな自然と歴史・文化がある
5. 質の高い文化・芸術を楽しむことができる
6. 最先端技術を用いた各種アートやメディア芸術(映画、アニメなど)が盛んである
7. 国際的な文化交流が盛んである
8. 食文化が豊かである
9. 各地域で文化・芸術に親しむことができる
10. その他(具体的に：)
11. 特にない・わからない

問19 あなたは、三重県にある全国的あるいは国際的に誇ることができる歴史的資産等(※)について、愛着を感じることができるとおもいますか。(〇は1つ)

※「歴史的資産等」・・・伊勢神宮や熊野古道、世界から評価される偉人(俳聖「松尾芭蕉」、日本人の世界観・価値観を探求した「本居宣長」、世界で初めて真珠養殖を成功させた「御木本幸吉」、北海道の命名者「松浦武四郎」、映画監督の「小津安二郎」など)のほか、各地域で継承されている伝統的な芸能・祭り・行事や文化財などの歴史的な資産、地域独特の言葉遣いや衣服、食べ物、習慣などをいいます。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

文化・芸術に関する情報の入手についてお尋ねします

問20 あなたは、文化・芸術の鑑賞や活動への参加に関する情報をどのようなものから入手していますか。(〇は3つまで)

1. テレビ・ラジオ
2. 新聞・雑誌
3. 県政だより、市町だより、回覧板、公民館情報など行政の広報
4. 同人誌や会報など分野別専門誌
5. インターネット（パソコン、スマートフォン等）での検索
6. X（旧ツイッター）、フェイスブック等のSNS、メールマガジン等
7. プレイガイドやチケット売り場での掲示
8. コンビニ・スーパーでの掲示
9. 公民館、文化施設、図書館での掲示
10. 友人・家族などから聞いて（口コミ）
11. その他（具体的に： _____）
12. 入手していない・わからない

問21 あなたは、必要な文化・芸術の鑑賞や活動への参加に関する情報を十分に入手できていると思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問22 あなたが必要としている文化・芸術に関する情報はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

1. コンサートや美術展、舞台公演などのイベントの開催情報
2. 公立施設での講座などの開催情報
3. 民間の講座などの開催情報
4. 文化・芸術に関する専門的な情報
5. 文化団体に関する情報
6. その他（具体的に： _____）
7. 特に必要としていない

今後の県の文化行政のあり方についてお尋ねします

問23 県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 魅力ある展覧会や公演、講座等を開催すること
2. 子どもたちが文化・芸術や伝統文化にふれる機会を充実すること
3. 地域の伝統的な文化が継承され、より多くの人に親しまれるようにすること
4. 文化・芸術を担う人材を育成支援すること
5. 年齢や障がいの有無にかかわらず文化・芸術に関する活動を行える環境の整備
6. 文化資源の鑑賞等を通じて文化についての理解を深めることを目的とした観光（文化観光）の推進
7. 多様な主体（県民、企業、文化団体、学校、行政 など）の連携を推進すること
8. 文化・芸術を活用した地域の活性化
9. 文化財が適切に保存・継承されるとともに、地域において活用されるようにすること
10. 県内外の文化施設と連携することにより、県立の文化施設の魅力を一層高めること
11. 文化・芸術に関する情報の発信を強化すること
12. 自宅でも文化施設を楽しめる動画やデジタル技術を活用した取組を推進すること
13. その他（具体的に： _____)
14. わからない

問24 あなたは、文化・芸術をどのような分野に生かしたら良いと思いますか。(〇は3つまで)

1. 観光
2. 教育
3. 経済・産業
4. 福祉
5. 子育て
6. まちづくり（地域の活性化）
7. スポーツ・健康増進
8. 国際交流
9. その他（具体的に： _____)
10. わからない

問25 文化の振興が図られることによりもたらされる効果として、あなたが期待するものは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 心の豊かさ、安らぎを感じられること2. 地域に対する愛着や誇りが育まれること3. 創造性が育成されること4. 子どもたちの心豊かな成長につながる5. 人とのつながりができること6. 高齢者の活躍の場ができること7. 障がい者の活躍の場ができること8. 地域社会や経済の活性化につながる9. 観光客の増加につながる10. 国際交流が促進されること11. 健康の増進や回復、リハビリなどで効果があること12. その他(具体的に： _____)13. わからない |
|--|

その他

問26 本県の文化の振興について、ご意見があれば、自由に記入してください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

調査にご協力いただきましてありがとうございました。

お手数ですが、ご記入いただきました調査票は、令和5年10月27日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご返送ください。(調査票及び返信用封筒に、お名前やご住所は記入不要です。)

パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答いただきましたら、調査票(この冊子)の返信は不要です。重複して回答されないようご注意ください。

今後の文化行政のあり方に関する県民意識調査報告書

令和6年1月

発行 三重県 環境生活部 文化振興課

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

電話：059-224-2176 / F A X：059-224-2408

E-mail：bunka@pref.mie.jp